岸和田市
人権問題に関する市民意識調査
報告書

令和３年３月

目次

１．調査概要 1

（１）調査目的 1
（２）調査の実施について 1
（３）調査票の回収状況 1
（４）留意点 1
（５）調査票の設計と結果の分析 1

２．調査結果 2

（１）人権に関する考え方について 2
（２）障害のある人の人権について 15
（３）地域で暮らす外国籍の人の人権について 19
（４）被差別部落（同和地区）出身者の人権について 25
（５）性的マイノリティ（少数者）の人権について 38
（６）インターネットによる人権侵害について 41
（７）住まいを選ぶときの考え方について 45
（８）様々な人権について 48
（９）あなた自身の体験・経験について 52
（１０）人権に関する市の取り組みについて 61
（１１）あなた自身のことについて 65

３．分析編 67

人権問題に関する市民意識調査結果に関する考察 67
１．年齢別比較からみえてくるもの 67
２．憲法に明記されている国民の権利 69
３．マイノリティとの接触程度と人権意識 73
調査結果に見る人権意識 85
１．人権のとらえ方 85
２．人権問題についての意識 85
３．人権教育・啓発の課題 86

４．資料編 88

調査票 88

１．調査概要

（１）調査目的

この調査は、様々な人権問題に関する市民の皆様のご意見をお聞きして、これからのまちづくりに生かしていくために実施しました。「岸和田市人権施策推進プラン」を改訂するための基礎資料とします。

（２）調査の実施について

調査種類	人権問題に関する市民意識調査
対象者	岸和田市在住の 18 歳以上の市民 3,000 人 ※令和２年 10 月 23 日現在 ※無作為抽出による
実施期間	令和２年 11 月５日（木）～令和２年 11 月 25 日（水）
実施方法	郵送配付、郵送回収

（３）調査票の回収状況

配付数	有効回収数	有効回収率
3,000 件	1,263 件	42.1%

（４）留意点

分析結果を見る際の留意点は以下のとおりとなっています。

１．「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。

２．単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第２位以下を四捨五入し、小数点第１位までを表記。このため、百分率の合計が 100.0%とならない場合があります。

３．複数回答の場合、図中に MA（＝いくつでも回答可）と記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。

４．表中の　　は一番目に多い割合の項目、　　は二番目に多い割合の項目を示しています。

５．今回の調査では、回答者の性別を問う設問の選択肢を「男」「女」「その他」としました。「その他」を加えたのは、自分の性別を「男」でも「女」でもないと考える市民がいることを配慮したためです。回収した調査票で、性別を「その他」とした回答者は２人いましたが、分析の対象とするには数が少ないことに加え、調査結果を「男」「女」「その他」で表示すると、性別を「その他」とした回答者の各質問への回答状況がそのまま出てしまうため、性別による調査結果の表示は「男」「女」とし、「その他」はあげないことにしました。

６．本報告書では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせたものを“そう思う”、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせたものを“そう思わない”と表記しています。

（５）調査票の設計と結果の分析

調査票の設計については、「岸和田市人権尊重のまちづくり審議会」に調査項目について意見を求め検討を行いました。

調査結果については、上杉孝實さん（京都大学名誉教授・岸和田市人権尊重のまちづくり審議会会長）、石元清英さん（関西大学名誉教授・岸和田市人権尊重のまちづくり審議会副会長）に分析をお願いしました。

２．調査結果

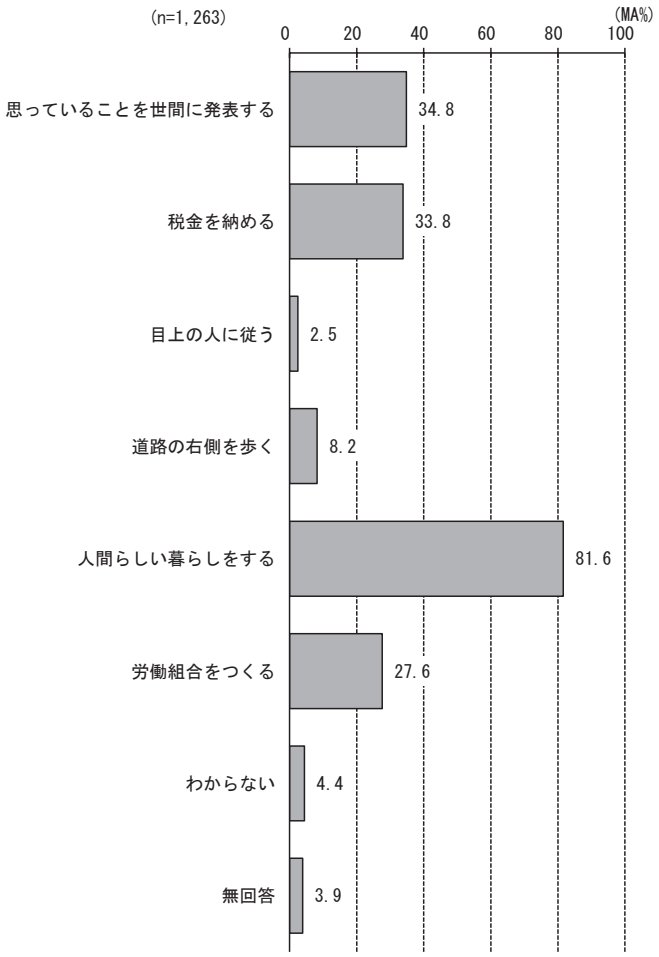
（１）人権に関する考え方について

●問１　あなたは憲法によって、義務ではなく、国民の権利と決められているのはどれだと思いますか。（○はいくつでも）

【全体】

○　国民の権利について、「人間らしい暮らしをする」が 81.6％で最も多く、次いで「思っていることを世間に発表する」が 34.8％、「税金を納める」が 33.8％となっています。

【国民の権利(MA)】



単位：％

		母数(n)	国民の権利(MA)							
			思っていることを世間に発表する	税金を納める	目上の人に従う	道路の右側を歩く	人間らしい暮らしをする	労働組合をつくる	わからない	無回答
全体		1,263	34.8	33.8	2.5	8.2	81.6	27.6	4.4	3.9
性別	男	548	36.7	33.2	2.6	5.7	83.2	29.6	4.6	3.5
	女	672	34.4	33.0	2.5	9.5	81.1	27.1	4.5	3.6
年齢	30歳代未満	126	45.2	17.5	4.8	3.2	69.0	34.9	8.7	9.5
	30歳代	115	40.9	24.3	4.3	4.3	77.4	33.9	10.4	3.5
	40歳代	207	34.8	24.2	1.0	2.9	81.6	27.5	4.8	2.4
	50歳代	237	34.2	30.4	0.4	3.8	86.1	27.4	3.4	3.0
	60歳代	265	34.3	38.1	3.4	7.5	86.8	27.5	1.1	1.9
	70歳代以上	278	29.9	49.6	2.9	18.7	82.0	23.7	4.0	3.6

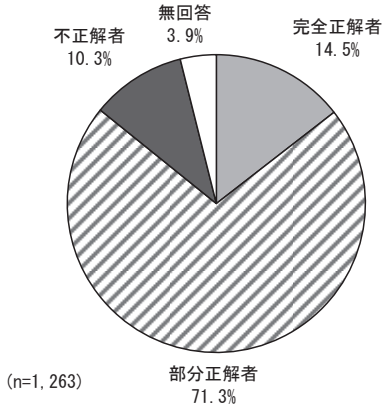
【全体】

○　国民の権利の正解結果について、「部分正解者」が 71.3%で最も多く、次いで「完全正解者」が 14.5%、「不正解者」が 10.3%となっています。

【年齢】

○　どの年代も「部分正解者」が最も多くなっています。

【国民の権利の正解結果】



単位：%

		母数(n)	国民の権利の正解結果			
			完全正解者	部分正解者	不正解者	無回答
全体		1,263	14.5	71.3	10.3	3.9
性別	男	548	15.0	72.3	9.3	3.5
	女	672	14.9	70.2	11.3	3.6
年齢	30歳代未満	126	19.8	59.5	11.1	9.5
	30歳代	115	17.4	65.2	13.9	3.5
	40歳代	207	15.9	71.0	10.6	2.4
	50歳代	237	17.3	70.0	9.7	3.0
	60歳代	265	12.8	77.7	7.5	1.9
	70歳代以上	278	10.4	74.1	11.9	3.6

※完全正解者：正答である「思っていることを世間に発表する」「人間らしい暮らしをする」「労働組合をつくる」の３つだけを選択した回答者

※部分正解者：３つの正答のうちの一部だけを選択するか、３つの全部または一部を選択した上で、他の項目も選択した回答者

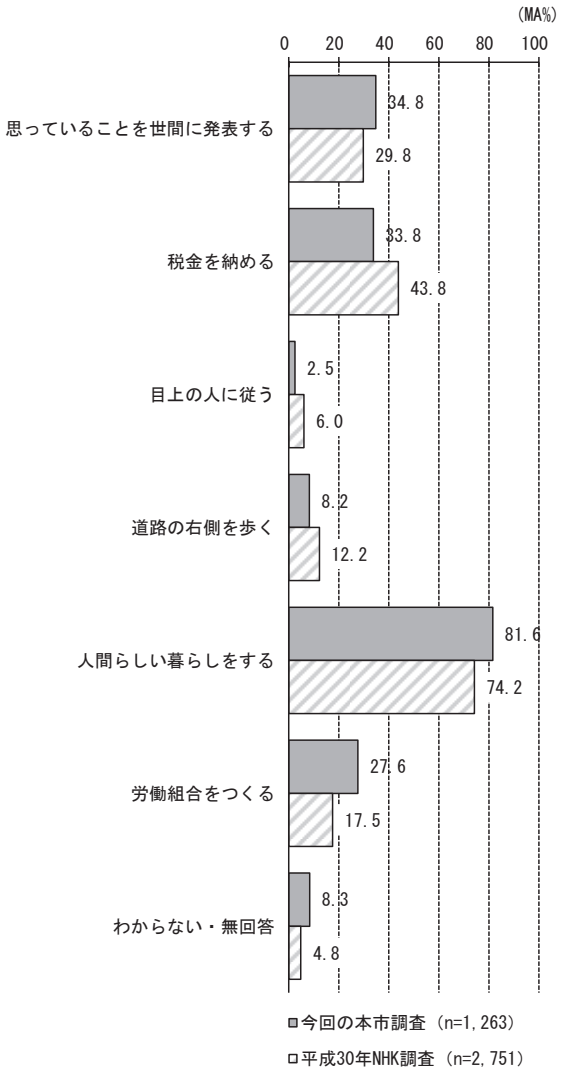
※不正解者　：３つの正答以外の項目だけを選択した回答者

【参考：平成 30 年ＮＨＫ調査との比較】

○　平成 30 年に行われたＮＨＫによる調査の同設問の結果と比較すると、今回の本市調査ではＮＨＫの調査に比べ、「労働組合をつくる」で約 10 ポイント、「思っていることを世間に発表する」、「人間らしい暮らしをする」で約５ポイント多くなっています。

○　「税金を納める」では 10 ポイント、「道路の右側を歩く」、「目上の人に従う」では約４ポイント少なくなっています。

【参考：平成 30 年ＮＨＫ調査との比較】



※比較のため、今回の本市調査の「わからない」「無回答」の件数を合計して表示しています。

※ＮＨＫ調査とは、ＮＨＫ放送文化研究所が平成 30 年に実施した全国の 16 歳以上の国民 5,400 人を対象とする「日本人の意識調査」のことです。

●問２　次のような意見について、あなたはどう思いますか。それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。

【全体】

○　各意見について、「そう思う」が最も多いのは「⑤皆が集まりやすければ、仏滅に結婚式をしてもかまわない」（33.3％）で、次いで「①葬儀の際の「清め塩」は必要だ」（26.0％）、「②女性が土俵にあがれないのは、しきたりだから仕方がない」（23.8％）となっています。

○　一方で、「そう思わない」が最も多いのは「④結婚相手を決める時は、本人本位でなく、やはり家のことを考えて決めたほうがよい」（35.7％）で、次いで「⑥だんじりに女性（子ども以外）が乗るのはいけないことだ」（29.8％）となっています。

○　「②女性が土俵にあがれないのは、しきたりだから仕方がない」は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”と、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”がほぼ同率となっています。

【性別】

○　「②女性が土俵にあがれないのは、しきたりだから仕方がない」については、男性では「そう思わない」が最も多いのに対し、女性では「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。

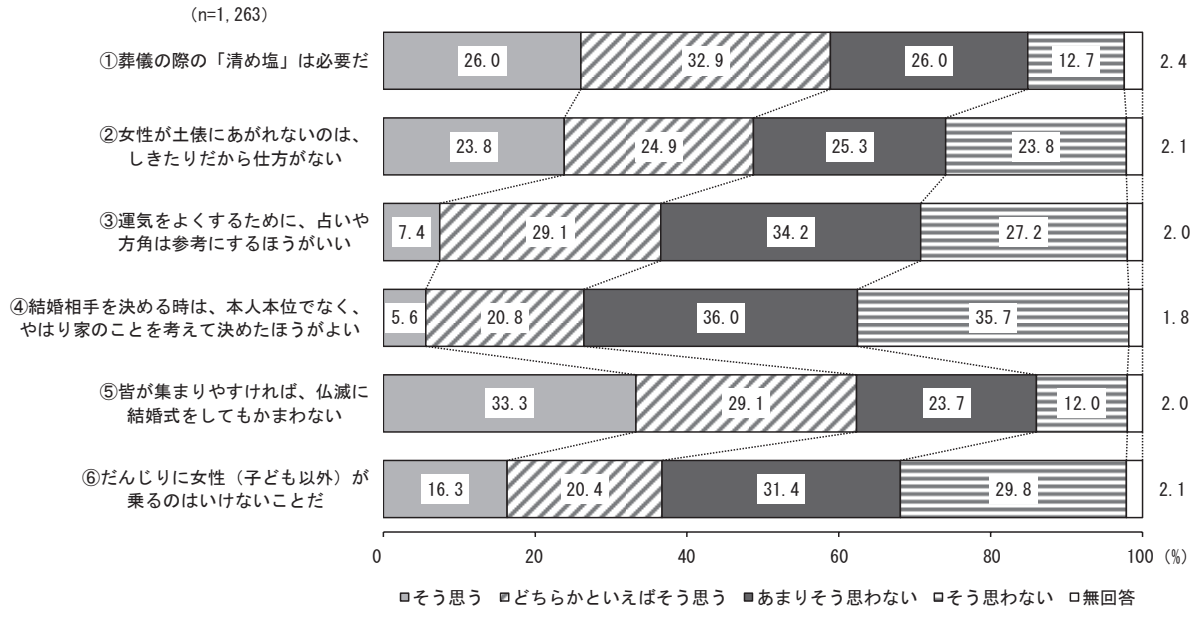
○　「③運気をよくするために、占いや方角は参考にするほうがいい」、「⑥だんじりに女性（子ども以外）が乗るのはいけないことだ」について“そう思う”割合は、いずれも男性では約３割であるのに対し、女性では約４割となっています。

【年齢】

○　「③運気をよくするために、占いや方角は参考にするほうがいい」については、60歳代以上で“そう思わない”が７割を超えています。

○　「④結婚相手を決める時は、本人本位でなく、やはり家のことを考えて決めたほうがよい」については、すべての年代で“そう思わない”が６割から８割となっていますが、30歳代、70歳代以上では“そう思う”が約３割となっています。

○　「⑥だんじりに女性（子ども以外）が乗るのはいけないことだ」について、70歳代以上では“そう思う”と“そう思わない”はともに約５割ですが、それ以外の年代はいずれも“そう思わない”が６割以上となっています。



単位：%

		母数(n)	①葬儀の際の「清め塩」は必要だ そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	26.0	32.9	26.0	12.7	2.4
性別	男	548	26.3	29.0	26.6	16.2	1.8
	女	672	25.3	35.9	26.3	10.3	2.2
年齢	30歳代未満	126	31.0	37.3	20.6	9.5	1.6
	30歳代	115	24.3	43.5	22.6	7.8	1.7
	40歳代	207	26.6	36.7	27.1	9.2	0.5
	50歳代	237	26.2	30.8	27.8	13.5	1.7
	60歳代	265	21.5	32.5	28.7	15.1	2.3
	70歳代以上	278	27.3	25.2	26.6	17.3	3.6

単位：%

		母数(n)	②女性が土俵にあがれないのは、しきたりだから仕方がない そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	23.8	24.9	25.3	23.8	2.1
性別	男	548	26.5	19.2	23.7	28.8	1.8
	女	672	20.7	30.1	27.4	20.1	1.8
年齢	30歳代未満	126	12.7	21.4	33.3	31.7	0.8
	30歳代	115	21.7	23.5	28.7	24.3	1.7
	40歳代	207	22.7	25.6	26.6	24.2	1.0
	50歳代	237	22.4	28.7	23.2	24.5	1.3
	60歳代	265	25.3	18.5	30.2	24.5	1.5
	70歳代以上	278	27.3	30.9	18.3	19.8	3.6

単位：%

		母数(n)	③運気をよくするために、占いや方角は参考にするほうがいい そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	7.4	29.1	34.2	27.2	2.0
性別	男	548	7.5	24.5	33.2	33.0	1.8
	女	672	7.4	33.6	34.8	22.6	1.5
年齢	30歳代未満	126	7.9	30.2	36.5	24.6	0.8
	30歳代	115	7.8	43.5	29.6	17.4	1.7
	40歳代	207	8.2	34.3	35.7	21.3	0.5
	50歳代	237	8.9	35.9	32.9	21.1	1.3
	60歳代	265	4.2	24.2	36.2	34.0	1.5
	70歳代以上	278	8.3	18.0	33.5	36.7	3.6

単位：%

		母数(n)	④結婚相手を決める時は、本人本位でなく、やはり家のことを考えて決めたほうがよい そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	5.6	20.8	36.0	35.7	1.8
性別	男	548	5.5	18.6	31.8	42.5	1.6
	女	672	5.5	22.9	40.2	30.2	1.2
年齢	30歳代未満	126	3.2	16.7	34.9	44.4	0.8
	30歳代	115	7.0	27.0	40.0	24.3	1.7
	40歳代	207	3.9	23.2	38.6	33.8	0.5
	50歳代	237	4.6	22.4	35.0	36.7	1.3
	60歳代	265	4.5	18.1	37.0	39.2	1.1
	70歳代以上	278	9.4	20.1	34.2	34.2	2.2

単位：%

		母数(n)	⑤皆が集まりやすければ、仏滅に結婚式をしてもかまわない そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	33.3	29.1	23.7	12.0	2.0
性別	男	548	32.7	28.5	23.2	14.1	1.6
	女	672	34.4	29.5	24.6	10.3	1.3
年齢	30歳代未満	126	31.7	25.4	28.6	13.5	0.8
	30歳代	115	36.5	29.6	18.3	13.9	1.7
	40歳代	207	35.3	27.5	27.5	9.2	0.5
	50歳代	237	27.8	34.2	26.6	9.7	1.7
	60歳代	265	33.2	33.2	21.9	10.6	1.1
	70歳代以上	278	36.7	24.8	20.9	15.5	2.2

単位：%

		母数(n)	⑥だんじりに女性（子ども以外）が乗るのはいけないことだ そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	16.3	20.4	31.4	29.8	2.1
性別	男	548	17.5	14.6	29.7	36.5	1.6
	女	672	14.9	25.0	33.5	24.7	1.9
年齢	30歳代未満	126	15.9	11.9	27.8	43.7	0.8
	30歳代	115	13.0	17.4	36.5	31.3	1.7
	40歳代	207	9.7	21.7	32.9	34.8	1.0
	50歳代	237	16.9	20.3	30.4	30.8	1.7
	60歳代	265	14.7	20.0	36.2	27.2	1.9
	70歳代以上	278	22.7	25.2	28.1	21.6	2.5

②と⑥について、土俵に女性があがれないしきたりは、だんじりと女性の関係に通じるものがあります。土俵のしきたりを「仕方がない」と思う人の割合は約５割です。一方で、だんじりに女性が乗るのを「いけないことだ」と思う人（しきたりの肯定派）は約４割で、「いけないことだ」と思わない人（しきたりの否定派）は約６割となっています。

今回、問い方がやや異なるものの、国技である大相撲と身近な地域の伝統文化であるだんじり祭りのしきたりについて、はじめて調査をしました。今後、人々の意識がどのような変遷をたどるかを注視します。

●問３　人権について、いろいろな考え方がありますが、あなたはどう思いますか。それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。

【全体】

○　人権の考え方について、「そう思う」が最も多いのは「⑭差別されている人の話をきちんと聴く必要がある」（49.6％）で、次いで「①権利ばかり主張して、がまんすることのできない人が増えている」（38.7％）、「③思いやりややさしさをみんなが持てば人権問題は解決する」（34.1％）となっています。「⑭差別されている人の話をきちんと聴く必要がある」は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”が約９割となっています。

○　一方で、「そう思わない」が最も多いのは「②人権問題とは、差別を受けている人の問題であって、自分とは関係がない」（60.1％）で、次いで「⑨結婚に際して、相手が同和地区出身者かどうか調べるほうがいい」（40.3％）となっています。

○　「⑤子どものしつけのために、時には保護者の体罰も必要だ」、「⑩差別をなくすには、差別を禁止する法律が必要だ」、「⑫社会福祉を含め、行政が実施する様々な支援策に頼るより、個人がもっと努力する必要がある」は、“そう思う”と、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”がほぼ同率となっています。

【性別】

○　「④人権には必ず義務がともなう」、「⑤子どものしつけのために、時には保護者の体罰も必要だ」、「⑥教師が児童・生徒を指導するために、ときには体罰を加えることも必要だ」、「⑦個人の権利より、地域のみんなの利益を優先することが大切だ」、「⑧差別する人だけでなく、差別される人にも問題がある」、「⑪介護や介助を受ける高齢者や障害者が、あまりあれこれ自己主張するのはよくない」、「⑫社会福祉を含め、行政が実施する様々な支援策に頼るより、個人がもっと努力する必要がある」、「⑮今の日本では、女性差別はもはや深刻な問題ではない」は、女性よりも男性のほうが“そう思う”が５ポイント以上多くなっています。

【年齢】

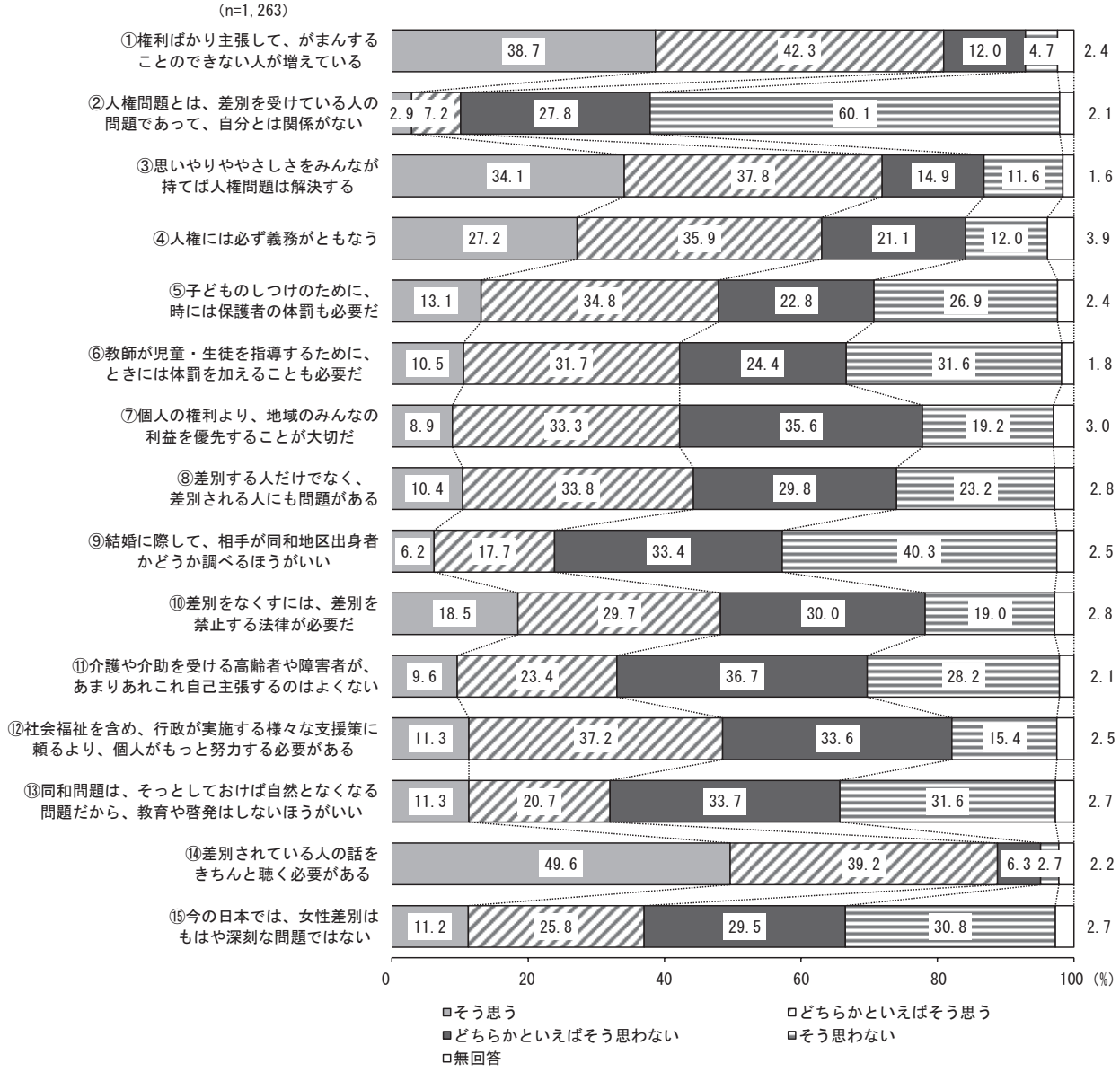
○　「③思いやりややさしさをみんなが持てば人権問題は解決する」について“そう思う”割合は、40 歳代以下では約６割であるのに対し、50 歳代以上では増加し、70 歳代以上で約８割となっています。

○　「⑤子どものしつけのために、時には保護者の体罰も必要だ」、「⑥教師が児童・生徒を指導するために、ときには体罰を加えることも必要だ」については、30 歳代未満のみ「そう思わない」がそれぞれ３割、４割を超えています。

○　「⑪介護や介助を受ける高齢者や障害者が、あまりあれこれ自己主張するのはよくない」について「そう思う」割合は、60 歳代以下が１割未満であるのに対し、70 歳代以上では約２割となっています。

○　「⑬同和問題は、そっとしておけば自然となくなる問題だから、教育や啓発はしないほうがいい」について“そう思う”割合は、60 歳代以下が３割未満であるのに対し、70 歳代以上では約５割となっています。

○　「⑮今の日本では、女性差別はもはや深刻な問題ではない」について“そう思う”割合は、60 歳代以下が約３～４割であるのに対し、70 歳代以上では約５割となっています。


（n=1,263）
①権利ばかり主張して、がまんすることのできない人が増えている
38.7
42.3
12.0
4.7
2.4
②人権問題とは、差別を受けている人の問題であって、自分とは関係がない
2.9
7.2
27.8
60.1
2.1
③思いやりややさしさをみんなが持てば人権問題は解決する
34.1
37.8
14.9
11.6
1.6
④人権には必ず義務がともなう
27.2
35.9
21.1
12.0
3.9
⑤子どものしつけのために、時には保護者の体罰も必要だ
13.1
34.8
22.8
26.9
2.4
⑥教師が児童・生徒を指導するために、ときには体罰を加えることも必要だ
10.5
31.7
24.4
31.6
1.8
⑦個人の権利より、地域のみんなの利益を優先することが大切だ
8.9
33.3
35.6
19.2
3.0
⑧差別する人だけでなく、差別される人にも問題がある
10.4
33.8
29.8
23.2
2.8
⑨結婚に際して、相手が同和地区出身者かどうか調べるほうがいい
6.2
17.7
33.4
40.3
2.5
⑩差別をなくすには、差別を禁止する法律が必要だ
18.5
29.7
30.0
19.0
2.8
⑪介護や介助を受ける高齢者や障害者が、あまりあれこれ自己主張するのはよくない
9.6
23.4
36.7
28.2
2.1
⑫社会福祉を含め、行政が実施する様々な支援策に頼るより、個人がもっと努力する必要がある
11.3
37.2
33.6
15.4
2.5
⑬同和問題は、そっとしておけば自然となくなる問題だから、教育や啓発はしないほうがいい
11.3
20.7
33.7
31.6
2.7
⑭差別されている人の話をきちんと聴く必要がある
49.6
39.2
6.3
2.7
2.2
⑮今の日本では、女性差別はもはや深刻な問題ではない
11.2
25.8
29.5
30.8
2.7
0
20
40
60
80
100（%）
そう思う
どちらかといえばそう思う
どちらかといえばそう思わない
そう思わない
無回答

単位：%

		母数(n)	①権利ばかり主張して、がまんすることのできない人が増えている				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	38.7	42.3	12.0	4.7	2.4
性別	男	548	44.7	38.9	9.1	5.1	2.2
	女	672	33.3	46.3	14.4	4.2	1.8
年齢	30歳代未満	126	31.7	38.9	23.0	6.3	−
	30歳代	115	44.3	32.2	16.5	5.2	1.7
	40歳代	207	42.0	45.9	7.7	3.9	0.5
	50歳代	237	38.4	46.8	10.1	3.4	1.3
	60歳代	265	35.1	48.7	11.3	3.0	1.9
	70歳代以上	278	39.6	37.8	11.2	6.8	4.7

単位：%

		母数(n)	②人権問題とは、差別を受けている人の問題であって、自分とは関係がない				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	2.9	7.2	27.8	60.1	2.1
性別	男	548	3.1	8.0	28.1	59.1	1.6
	女	672	2.5	6.5	27.8	61.5	1.6
年齢	30歳代未満	126	4.0	8.7	25.4	61.9	−
	30歳代	115	3.5	7.0	35.7	52.2	1.7
	40歳代	207	3.4	5.3	30.0	60.9	0.5
	50歳代	237	1.3	5.5	32.9	59.1	1.3
	60歳代	265	0.4	7.5	26.4	64.5	1.1
	70歳代以上	278	4.3	9.4	22.7	59.7	4.0

単位：%

		母数(n)	③思いやりややさしさをみんなが持てば人権問題は解決する				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	34.1	37.8	14.9	11.6	1.6
性別	男	548	35.6	35.2	13.9	13.9	1.5
	女	672	33.3	40.0	16.2	9.5	0.9
年齢	30歳代未満	126	27.8	34.1	23.0	15.1	−
	30歳代	115	24.3	41.7	20.9	11.3	1.7
	40歳代	207	27.1	36.2	22.2	13.5	1.0
	50歳代	237	33.8	38.4	14.3	12.7	0.8
	60歳代	265	30.2	44.5	13.2	10.9	1.1
	70歳代以上	278	50.4	33.8	5.8	8.3	1.8

単位：%

		母数(n)	④人権には必ず義務がともなう				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	27.2	35.9	21.1	12.0	3.9
性別	男	548	33.4	34.5	16.6	13.0	2.6
	女	672	22.0	38.1	24.9	10.9	4.2
年齢	30歳代未満	126	22.2	40.5	24.6	11.9	0.8
	30歳代	115	28.7	41.7	19.1	7.0	3.5
	40歳代	207	20.3	39.1	27.1	12.1	1.4
	50歳代	237	24.9	38.0	22.8	12.2	2.1
	60歳代	265	29.8	37.4	19.2	10.9	2.6
	70歳代以上	278	32.7	29.5	15.8	14.0	7.9

単位：%

		母数(n)	⑤子どものしつけのために、時には保護者の体罰も必要だ				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	13.1	34.8	22.8	26.9	2.4
性別	男	548	15.0	37.2	19.7	25.9	2.2
	女	672	11.3	33.6	26.0	27.2	1.8
年齢	30歳代未満	126	11.9	27.8	27.0	33.3	−
	30歳代	115	8.7	40.0	27.8	21.7	1.7
	40歳代	207	12.1	38.2	24.6	24.2	1.0
	50歳代	237	13.1	41.8	16.9	26.6	1.7
	60歳代	265	9.8	33.6	26.0	28.7	1.9
	70歳代以上	278	19.4	30.2	20.1	26.3	4.0

単位：%

		母数(n)	⑥教師が児童・生徒を指導するために、ときには体罰を加えることも必要だ				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	10.5	31.7	24.4	31.6	1.8
性別	男	548	14.2	35.6	21.9	26.8	1.5
	女	672	7.3	29.2	27.1	35.0	1.5
年齢	30歳代未満	126	10.3	19.0	24.6	46.0	−
	30歳代	115	7.8	30.4	30.4	28.7	2.6
	40歳代	207	9.2	36.7	26.1	27.5	0.5
	50歳代	237	12.7	40.1	21.5	24.5	1.3
	60歳代	265	6.8	34.0	22.6	34.7	1.9
	70歳代以上	278	15.1	25.9	25.9	30.9	2.2

単位：%

		母数(n)	⑦個人の権利より、地域のみんなの利益を優先することが大切だ				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	8.9	33.3	35.6	19.2	3.0
性別	男	548	11.1	35.2	32.3	19.7	1.6
	女	672	6.7	31.7	39.3	19.0	3.3
年齢	30歳代未満	126	8.7	28.6	43.7	18.3	0.8
	30歳代	115	5.2	42.6	40.0	7.8	4.3
	40歳代	207	6.3	28.0	40.6	23.7	1.4
	50歳代	237	7.2	35.9	34.2	21.5	1.3
	60歳代	265	8.3	34.0	35.1	19.6	3.0
	70歳代以上	278	13.7	33.5	29.9	18.7	4.3

単位：%

		母数(n)	⑧差別する人だけでなく、差別される人にも問題がある				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	10.4	33.8	29.8	23.2	2.8
性別	男	548	13.0	34.3	27.2	23.0	2.6
	女	672	7.9	33.9	32.3	23.7	2.2
年齢	30歳代未満	126	12.7	26.2	34.9	25.4	0.8
	30歳代	115	5.2	33.9	35.7	23.5	1.7
	40歳代	207	9.2	35.7	31.9	22.2	1.0
	50歳代	237	9.3	32.9	32.9	22.8	2.1
	60歳代	265	7.9	36.6	28.3	24.5	2.6
	70歳代以上	278	14.7	34.5	24.1	21.9	4.7

単位：%

		母数(n)	⑨結婚に際して、相手が同和地区出身者かどうか調べるほうがいい				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	6.2	17.7	33.4	40.3	2.5
性別	男	548	6.0	15.9	29.4	46.9	1.8
	女	672	6.0	19.0	37.6	35.1	2.2
年齢	30歳代未満	126	7.9	11.1	27.0	54.0	－
	30歳代	115	6.1	19.1	35.7	37.4	1.7
	40歳代	207	4.8	21.3	39.6	32.9	1.4
	50歳代	237	5.9	16.5	35.4	40.1	2.1
	60歳代	265	4.9	20.0	29.4	43.0	2.6
	70歳代以上	278	6.8	15.8	34.9	39.2	3.2

単位：%

		母数(n)	⑩差別をなくすには、差別を禁止する法律が必要だ				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	18.5	29.7	30.0	19.0	2.8
性別	男	548	23.0	27.6	26.8	21.0	1.6
	女	672	15.0	32.7	32.6	16.8	2.8
年齢	30歳代未満	126	17.5	36.5	27.8	17.5	0.8
	30歳代	115	14.8	37.4	30.4	14.8	2.6
	40歳代	207	20.8	25.6	30.9	21.7	1.0
	50歳代	237	18.1	29.1	32.9	18.6	1.3
	60歳代	265	14.0	31.7	31.3	20.0	3.0
	70歳代以上	278	23.4	27.3	27.0	18.0	4.3

単位：%

		母数(n)	⑪介護や介助を受ける高齢者や障害者が、あまりあれこれ自己主張するのはよくない				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	9.6	23.4	36.7	28.2	2.1
性別	男	548	13.5	23.7	34.7	26.1	2.0
	女	672	6.0	23.4	39.1	30.1	1.5
年齢	30歳代未満	126	8.7	20.6	38.1	32.5	－
	30歳代	115	7.0	18.3	47.8	24.3	2.6
	40歳代	207	6.8	22.2	40.1	30.4	0.5
	50歳代	237	5.9	22.4	35.9	34.2	1.7
	60歳代	265	6.0	25.3	41.5	25.7	1.5
	70歳代以上	278	18.0	25.9	29.5	23.4	3.2

単位：%

		母数(n)	⑫社会福祉を含め、行政が実施する様々な支援策に頼るより、個人がもっと努力する必要がある				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	11.3	37.2	33.6	15.4	2.5
性別	男	548	15.1	38.7	31.6	13.0	1.6
	女	672	8.2	36.3	36.3	16.8	2.4
年齢	30歳代未満	126	17.5	31.7	31.7	19.0	－
	30歳代	115	6.1	40.9	40.9	10.4	1.7
	40歳代	207	9.2	40.6	33.3	15.9	1.0
	50歳代	237	6.8	33.8	38.4	19.4	1.7
	60歳代	265	7.9	40.8	35.1	14.0	2.3
	70歳代以上	278	19.4	36.0	28.4	12.2	4.0

単位：%

		母数(n)	⑬同和問題は、そっとしておけば自然となくなる問題だから、教育や啓発はしないほうがいい				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	11.3	20.7	33.7	31.6	2.7
性別	男	548	12.0	19.3	32.3	34.5	1.8
	女	672	10.6	21.6	35.7	29.3	2.8
年齢	30歳代未満	126	10.3	14.3	42.9	32.5	－
	30歳代	115	9.6	17.4	33.9	37.4	1.7
	40歳代	207	8.7	16.4	41.1	32.4	1.4
	50歳代	237	7.2	20.3	38.4	31.6	2.5
	60歳代	265	7.5	21.5	31.7	36.2	3.0
	70歳代以上	278	21.2	27.7	24.5	23.0	3.6

単位：%

		母数(n)	⑭差別されている人の話をきちんと聴く必要がある				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	49.6	39.2	6.3	2.7	2.2
性別	男	548	50.2	38.0	7.3	2.7	1.8
	女	672	50.4	40.0	5.4	2.2	1.9
年齢	30歳代未満	126	57.9	38.1	1.6	2.4	－
	30歳代	115	54.8	36.5	6.1	0.9	1.7
	40歳代	207	44.0	44.9	7.2	2.4	1.4
	50歳代	237	54.4	36.7	6.3	0.8	1.7
	60歳代	265	46.4	40.4	6.8	4.5	1.9
	70歳代以上	278	50.0	36.7	7.2	2.9	3.2

単位：%

		母数(n)	⑮今の日本では、女性差別はもはや深刻な問題ではない				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	11.2	25.8	29.5	30.8	2.7
性別	男	548	14.1	26.6	27.2	29.7	2.4
	女	672	8.3	25.4	31.7	32.3	2.2
年齢	30歳代未満	126	15.1	16.7	33.3	34.1	0.8
	30歳代	115	11.3	27.8	26.1	32.2	2.6
	40歳代	207	8.2	28.0	30.4	32.9	0.5
	50歳代	237	6.8	21.1	32.5	38.4	1.3
	60歳代	265	7.9	26.4	35.1	28.7	1.9
	70歳代以上	278	17.6	30.6	22.3	24.1	5.4

「④人権には必ず義務がともなう」について、人権は一人ひとりが『幸せになるための権利』です。権利の行使には責任がともなうことがありますが、権利は何らかの条件があって与えられるものではありません。

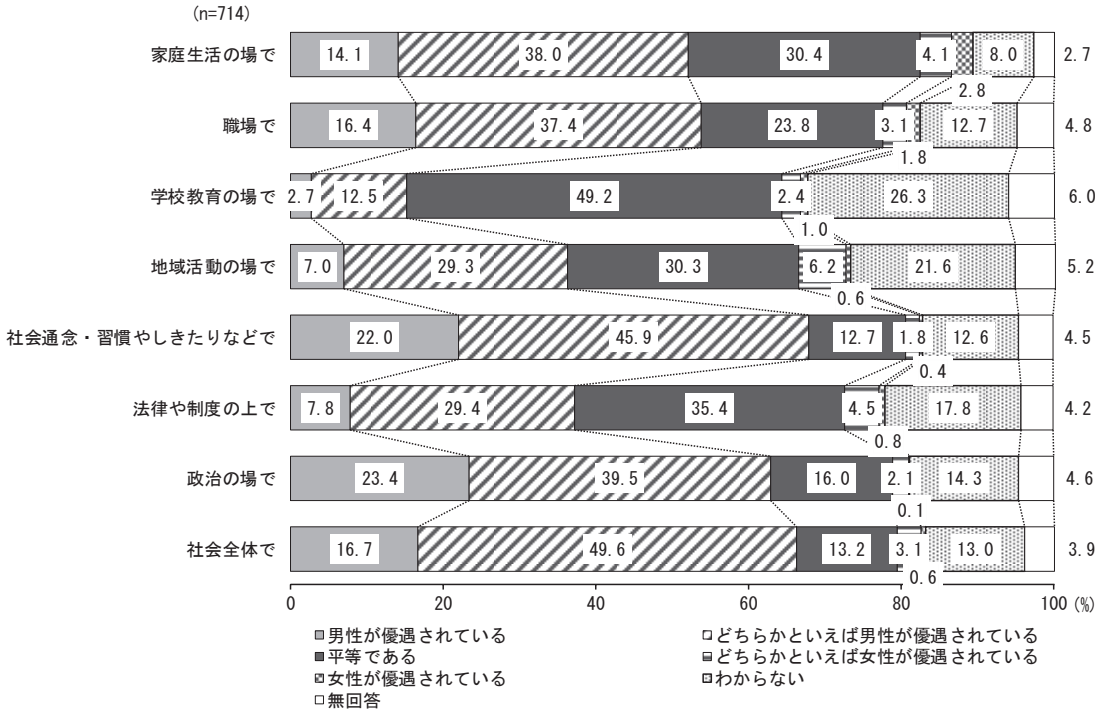
例えば、子どもには教育を受ける権利がありますが、教育を受ける義務を負うことはないということです。（親には、子に義務教育を受けさせる義務があります。）

「⑤子どものしつけのために、時には保護者の体罰も必要だ」、「⑥教師が児童・生徒を指導するために、ときには体罰を加えることも必要だ」について、子どもの指導で教師による体罰を容認する人は今も４割を超えています。親がしつけとして、また、教師が指導として行う体罰は、子どもの人権を侵害する行為であることを理解し、体罰によらない子育てが課題です。

「⑮今の日本では、女性差別はもはや深刻な問題ではない」について、女性差別としては、意思決定の場への女性の参画が少ないなどの実態もあります。また、女性を見下したり、揶揄するような発言を耳にすることがありますが、そうした発言に対して、同調だけでなく、失笑や沈黙も差別を加担することになるという理解が大切です。

【参考：岸和田市　男女共同参画に関する市民意識調査の結果】

○　令和元年度に男女が平等であるか実施した市民意識調査では、「学校教育の場」で約５割の人が「平等である」と回答しました。一方、「社会通念・慣習やしきたりなど」「社会全体」や「政治の場」で「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」と回答した人が、６割を超えています。



●問４　あなたのまわりには次のような人がいますか。（○はそれぞれ１つ）

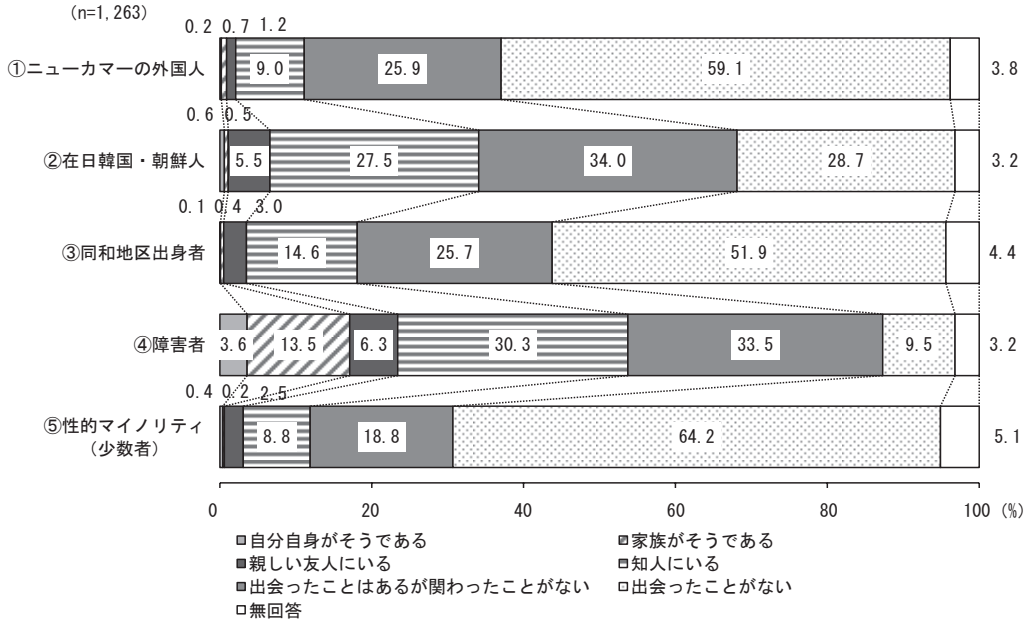
【全体】

○　各項目について、「自分自身がそうである」、「家族がそうである」、「親しい友人にいる」、「知人にいる」を合わせた“身近にいる”が最も多いのは「④障害者」（53.7%）で、次いで「②在日韓国・朝鮮人」（34.1%）となっています。

○　一方で、「出会ったことがない」が最も多いのは「⑤性的マイノリティ（少数者）」（64.2%）で、次いで「①ニューカマーの外国人」（59.1%）、「③同和地区出身者」（51.9%）となっています。

【年齢】

○　「⑤性的マイノリティ（少数者）」について「知人にいる」割合は、50 歳代以上では１割未満であるのに対し、40 歳代以下では約２割となっています。



「①ニューカマーの外国人」、「②在日韓国・朝鮮人」について、本市には、2,742 人の外国籍の人（うち韓国・朝鮮の人は 830 人）が暮らしています（令和２年 12 月末現在）。ほかにも様々なマイノリティ（少数派）の人が地域で生活していることへの理解を深める必要があります。

単位：%

		母数(n)	①ニューカマーの外国人						
			自分自身がそうである	家族がそうである	親しい友人にいる	知人にいる	出会ったことはあるが関わったことがない	出会ったことがない	無回答
全体		1,263	0.2	0.7	1.2	9.0	25.9	59.1	3.8
性別	男	548	0.4	0.4	1.8	10.0	27.6	56.8	3.1
	女	672	0.1	1.0	0.7	8.3	24.9	61.8	3.1
年齢	30歳代未満	126	－	0.8	1.6	11.9	24.6	61.1	－
	30歳代	115	－	－	0.9	13.9	19.1	60.9	5.2
	40歳代	207	1.0	1.0	0.5	14.0	25.6	57.0	1.0
	50歳代	237	－	0.4	1.7	9.7	30.0	55.7	2.5
	60歳代	265	－	0.8	1.5	7.9	25.7	62.3	1.9
	70歳代以上	278	0.4	1.1	1.1	3.2	28.1	59.0	7.2

単位：%

		母数(n)	②在日韓国・朝鮮人						
			自分自身がそうである	家族がそうである	親しい友人にいる	知人にいる	出会ったことはあるが関わったことがない	出会ったことがない	無回答
全体		1,263	0.6	0.5	5.5	27.5	34.0	28.7	3.2
性別	男	548	0.4	0.2	6.6	29.9	34.7	26.3	2.0
	女	672	0.9	0.7	4.6	25.6	34.5	30.5	3.1
年齢	30歳代未満	126	0.8	0.8	7.9	26.2	21.4	42.9	－
	30歳代	115	－	0.9	10.4	36.5	28.7	20.9	2.6
	40歳代	207	－	－	5.3	28.5	30.4	35.3	0.5
	50歳代	237	0.8	－	6.8	31.6	35.4	22.8	2.5
	60歳代	265	0.8	0.8	3.8	27.9	42.6	22.3	1.9
	70歳代以上	278	1.1	0.7	3.6	20.5	36.3	31.3	6.5

単位：%

		母数(n)	③同和地区出身者						
			自分自身がそうである	家族がそうである	親しい友人にいる	知人にいる	出会ったことはあるが関わったことがない	出会ったことがない	無回答
全体		1,263	0.1	0.4	3.0	14.6	25.7	51.9	4.4
性別	男	548	－	0.5	4.2	16.1	28.1	47.6	3.5
	女	672	0.1	0.3	2.1	13.5	24.1	55.7	4.2
年齢	30歳代未満	126	－	－	4.0	7.9	14.3	73.8	－
	30歳代	115	－	0.9	1.7	18.3	16.5	56.5	6.1
	40歳代	207	－	0.5	3.4	15.5	23.7	56.0	1.0
	50歳代	237	0.4	0.4	3.8	18.6	27.0	46.4	3.4
	60歳代	265	－	0.4	3.0	17.4	35.8	41.1	2.3
	70歳代以上	278	－	0.4	2.5	9.4	26.6	52.5	8.6

単位：%

		母数(n)	④障害者						
			自分自身がそうである	家族がそうである	親しい友人にいる	知人にいる	出会ったことはあるが関わったことがない	出会ったことがない	無回答
全体		1,263	3.6	13.5	6.3	30.3	33.5	9.5	3.2
性別	男	548	5.1	12.8	5.8	30.8	32.7	10.0	2.7
	女	672	2.4	14.1	6.7	30.2	35.0	8.5	3.1
年齢	30歳代未満	126	1.6	8.7	7.9	33.3	38.1	10.3	－
	30歳代	115	1.7	12.2	4.3	38.3	35.7	5.2	2.6
	40歳代	207	2.9	17.4	5.8	32.4	32.9	7.7	1.0
	50歳代	237	7.2	12.7	9.3	32.5	29.5	6.8	2.1
	60歳代	265	3.0	13.6	6.0	30.6	35.1	9.8	1.9
	70歳代以上	278	3.2	14.4	4.7	23.4	34.5	12.6	7.2

単位：%

		母数(n)	⑤性的マイノリティ（少数者）						
			自分自身がそうである	家族がそうである	親しい友人にいる	知人にいる	出会ったことはあるが関わったことがない	出会ったことがない	無回答
全体		1,263	0.4	0.2	2.5	8.8	18.8	64.2	5.1
性別	男	548	0.5	0.2	2.0	5.5	20.8	66.2	4.7
	女	672	0.1	0.1	2.7	11.9	17.4	63.5	4.2
年齢	30歳代未満	126	1.6	0.8	7.1	18.3	21.4	50.8	－
	30歳代	115	1.7	－	6.1	19.1	14.8	54.8	3.5
	40歳代	207	－	－	3.9	15.0	21.7	58.9	0.5
	50歳代	237	－	0.4	2.1	9.7	20.7	63.7	3.4
	60歳代	265	－	－	0.4	2.6	25.3	69.1	2.6
	70歳代以上	278	0.4	－	－	1.4	10.8	75.2	12.2

（２）障害のある人の人権について

●問５　障害のある人の人権に関して、次のような意見があります。それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。

【全体】

○　障害のある人の人権に関する意見について、「そう思う」が最も多いのは「①障害があることを理由に、乗り物への乗車や入店を断られるのは問題だ」（62.2%）で、次いで「③災害などの緊急時に、障害のある人の対応があとまわしになるのは問題だ」（57.9%）、「⑨障害のある人とない人が生活のあらゆる場面で、互いに分かり合おうとすることで、共に生きる社会づくりが進んでいく」（53.9%）となっています。

○　一方で、「そう思わない」が最も多いのは「⑥自宅近くに障害者の作業所やグループホームの建設計画が持ち上がったら、それに反対する」（53.3%）で、次いで「②企業には障害者の法定雇用率が定められているが、利益が第一なのだから、雇用が進まなくても仕方がない」（36.4%）となっています。

【性別】

○　「⑧障害者施設では、本人の意思に反して行動を制限することも必要だ」について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”割合は、女性が約５割であるのに対し、男性では約６割となっています。

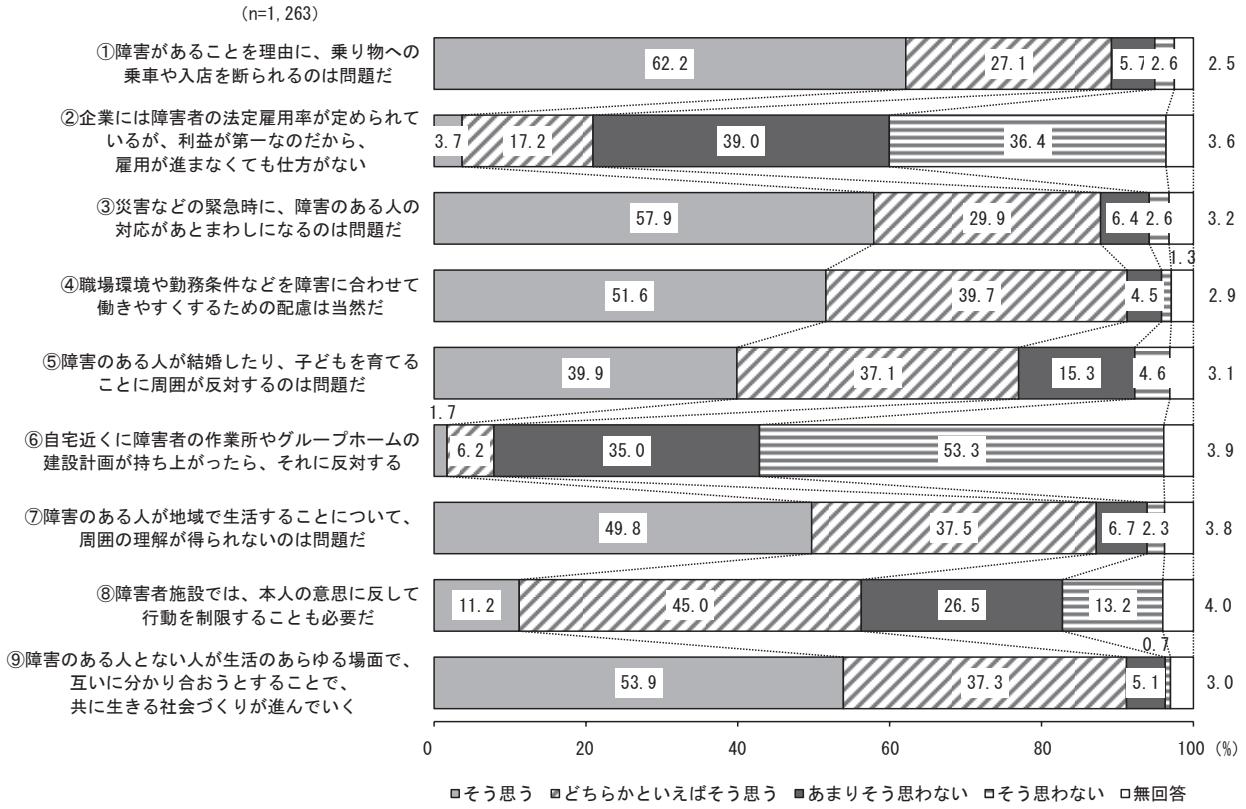
【年齢】

○　「②企業には障害者の法定雇用率が定められているが、利益が第一なのだから、雇用が進まなくても仕方がない」について“そう思う”割合は、年代が下がるにつれて多くなる傾向がみられます。一方で、70 歳代以上では“そう思う”が２割を超えています。

○　「⑤障害のある人が結婚したり、子どもを育てることに周囲が反対するのは問題だ」について、30 歳代未満のみ「そう思う」が５割を超えています。

○　「⑧障害者施設では、本人の意思に反して行動を制限することも必要だ」について“そう思う”割合は、50 歳代以下では約６～７割であるのに対し、60 歳代以上では約５割となっています。

○　「⑨障害のある人とない人が生活のあらゆる場面で、互いに分かり合おうとすることで、共に生きる社会づくりが進んでいく」について「そう思う」割合は、30 歳代未満と 70 歳代以上で６割を超えています。



単位：%

		母数(n)	①障害があることを理由に、乗り物への乗車や入店を断られるのは問題だ				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	62.2	27.1	5.7	2.6	2.5
性別	男	548	62.2	25.4	6.0	3.6	2.7
	女	672	61.6	29.3	5.7	1.6	1.8
年齢	30歳代未満	126	57.9	27.0	10.3	3.2	1.6
	30歳代	115	51.3	33.9	8.7	4.3	1.7
	40歳代	207	57.5	34.3	6.3	1.4	0.5
	50歳代	237	67.1	26.2	5.1	0.8	0.8
	60歳代	265	66.4	25.7	4.5	0.8	2.6
	70歳代以上	278	64.4	21.6	4.3	5.0	4.7

単位：%

		母数(n)	②企業には障害者の法定雇用率が定められているが、利益が第一なのだから、雇用が進まなくても仕方がない				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	3.7	17.2	39.0	36.4	3.6
性別	男	548	6.0	18.6	34.7	37.6	3.1
	女	672	1.6	16.4	42.7	35.7	3.6
年齢	30歳代未満	126	5.6	25.4	38.1	27.8	3.2
	30歳代	115	3.5	20.9	51.3	22.6	1.7
	40歳代	207	2.9	19.3	42.0	35.3	0.5
	50歳代	237	2.5	16.0	40.9	39.7	0.8
	60歳代	265	2.3	13.2	42.3	39.2	3.0
	70歳代以上	278	5.4	15.5	28.4	42.1	8.6

単位：%

		母数(n)	③災害などの緊急時に、障害のある人の対応があとまわしになるのは問題だ				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	57.9	29.9	6.4	2.6	3.2
性別	男	548	54.2	29.2	9.7	4.0	2.9
	女	672	61.2	30.8	4.0	1.2	2.8
年齢	30歳代未満	126	54.8	31.7	7.9	4.0	1.6
	30歳代	115	51.3	32.2	12.2	2.6	1.7
	40歳代	207	49.8	38.6	8.2	1.4	1.9
	50歳代	237	62.0	27.8	6.8	2.1	1.3
	60歳代	265	60.4	29.4	5.3	1.9	3.0
	70歳代以上	278	62.6	25.5	2.5	3.6	5.8

単位：%

		母数(n)	④職場環境や勤務条件などを障害に合わせて働きやすくするための配慮は当然だ				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	51.6	39.7	4.5	1.3	2.9
性別	男	548	48.7	40.7	5.1	2.4	3.1
	女	672	54.0	39.6	4.0	0.3	2.1
年齢	30歳代未満	126	56.3	35.7	5.6	0.8	1.6
	30歳代	115	41.7	47.8	7.8	0.9	1.7
	40歳代	207	48.8	44.4	5.3	1.0	0.5
	50歳代	237	53.6	40.5	3.8	1.3	0.8
	60歳代	265	50.9	41.5	3.0	1.9	2.6
	70歳代以上	278	54.3	34.5	4.0	1.1	6.1

単位：%

		母数(n)	⑤障害のある人が結婚したり、子どもを育てることに周囲が反対するのは問題だ				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	39.9	37.1	15.3	4.6	3.1
性別	男	548	42.9	33.6	15.5	5.3	2.7
	女	672	37.6	40.8	15.0	3.9	2.7
年齢	30歳代未満	126	52.4	32.5	11.1	2.4	1.6
	30歳代	115	36.5	36.5	21.7	3.5	1.7
	40歳代	207	35.3	43.0	16.4	4.3	1.0
	50歳代	237	36.7	38.8	16.9	6.3	1.3
	60歳代	265	39.6	41.5	12.8	3.4	2.6
	70歳代以上	278	42.1	32.4	14.4	5.4	5.8

単位：%

		母数(n)	⑥自宅近くに障害者の作業所やグループホームの建設計画が持ち上がったら、それに反対する				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	1.7	6.2	35.0	53.3	3.9
性別	男	548	2.4	6.8	33.2	53.8	3.8
	女	672	1.2	6.0	36.5	53.0	3.4
年齢	30歳代未満	126	3.2	6.3	29.4	58.7	2.4
	30歳代	115	3.5	9.6	40.0	45.2	1.7
	40歳代	207	3.4	6.3	40.1	48.3	1.9
	50歳代	237	0.4	5.9	34.2	58.2	1.3
	60歳代	265	0.8	6.0	30.6	58.9	3.8
	70歳代以上	278	1.1	5.0	36.7	49.3	7.9

単位：%

		母数(n)	⑦障害のある人が地域で生活することについて、周囲の理解が得られないのは問題だ				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	49.8	37.5	6.7	2.3	3.8
性別	男	548	47.8	38.1	7.3	2.7	4.0
	女	672	51.6	37.5	5.8	1.9	3.1
年齢	30歳代未満	126	54.8	32.5	9.5	0.8	2.4
	30歳代	115	47.0	44.3	5.2	1.7	1.7
	40歳代	207	45.9	42.0	9.2	1.9	1.0
	50歳代	237	50.2	42.2	4.2	1.3	2.1
	60歳代	265	52.1	38.9	3.4	3.0	2.6
	70歳代以上	278	49.6	30.2	8.6	3.2	8.3

単位：%

		母数(n)	⑧障害者施設では、本人の意思に反して行動を制限することも必要だ				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	11.2	45.0	26.5	13.2	4.0
性別	男	548	14.6	46.7	22.1	13.3	3.3
	女	672	8.5	45.1	29.5	12.9	4.0
年齢	30歳代未満	126	12.7	52.4	25.4	7.1	2.4
	30歳代	115	18.3	49.6	21.7	8.7	1.7
	40歳代	207	7.7	51.7	28.5	11.1	1.0
	50歳代	237	7.2	55.7	23.6	11.8	1.7
	60歳代	265	10.9	35.1	33.6	17.0	3.4
	70歳代以上	278	13.3	38.1	22.7	16.9	9.0

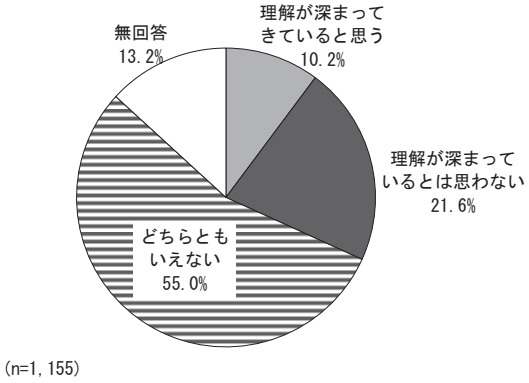
単位：%

		母数(n)	⑨障害のある人とない人が生活のあらゆる場面で、互いに分かり合おうとすることで、共に生きる社会づくりが進んでいく				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	53.9	37.3	5.1	0.7	3.0
性別	男	548	54.9	34.9	5.5	1.5	3.3
	女	672	53.3	39.7	4.8	－	2.2
年齢	30歳代未満	126	61.1	29.4	5.6	1.6	2.4
	30歳代	115	48.7	40.0	6.1	2.6	2.6
	40歳代	207	48.3	44.9	5.8	－	1.0
	50歳代	237	49.4	45.1	4.2	0.4	0.8
	60歳代	265	55.1	37.4	4.5	0.4	2.6
	70歳代以上	278	60.4	29.1	4.3	0.4	5.8

「⑨障害のある人とない人が生活のあらゆる場面で、互いに分かり合おうとすることで、共に生きる社会づくりが進んでいく」について、”そう思う”と回答した人の割合は９割を超えています。しかし、問４の④をみると、約４割の人が障害のある人との関わりがない現実があります。共生社会の実現のため、だれもが参加することのできるふれあいの場づくりが必要です。

【参考：岸和田市　障害福祉・障害児福祉に関するアンケート調査の結果】

○　令和２年度に障害のある当事者を対象にした、「障害のある人の社会参加への市民の理解」についての調査では、「理解が深まってきていると思う」と回答したのは 10.2%にとどまり、21.6%の人は「理解が深まっているとは思わない」と回答しています。



（３）地域で暮らす外国籍の人の人権について

●問６　日本における外国人の人権に関して、次のような意見があります。それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。

【全体】

○　日本における外国人の人権に関する意見について、「そう思う」が最も多いのは「⑥外国人住民が増えているので、福祉などのサービスを受けやすくするために、多言語による情報提供が必要だ」(37.8%）で、次いで「⑧共生のためには、地域における交流を積極的に進めるべきである」(29.5%）となっています。「⑥外国人住民が増えているので、福祉などのサービスを受けやすくするために、多言語による情報提供が必要だ」は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”が８割を超えています。

○　一方で、「そう思わない」が最も多いのは「③雇用者が外国人従業員に、職場では通称名（日本名）の使用を強制しても問題はない」(51.0%）で、次いで「①外国人だからという理由で、賃貸住宅への入居を断られても仕方がない」(36.5%）となっています。「③雇用者が外国人従業員に、職場では通称名（日本名）の使用を強制しても問題はない」は、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”が８割を超えています。

【性別】

○　「④日本に住んでいる以上、日本の文化や生活習慣などに合わせることは当然だ」について、男女ともに「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっていますが、次いで、男性では「そう思う」、女性では「あまりそう思わない」が多くなっています。

【年齢】

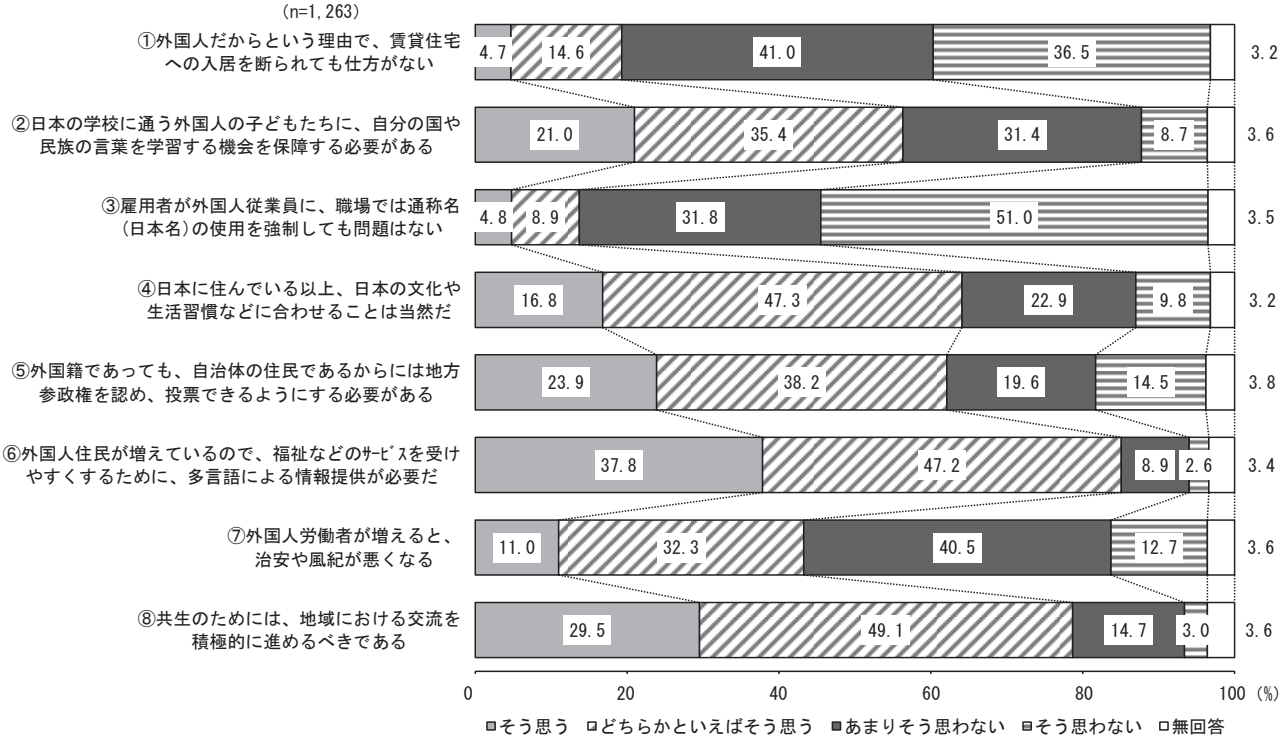
○　「②日本の学校に通う外国人の子どもたちに、自分の国や民族の言葉を学習する機会を保障する必要がある」について、30 歳代未満のみ「そう思う」が３割を超えています。

○　「③雇用者が外国人従業員に、職場では通称名（日本名）の使用を強制しても問題はない」について、70 歳代以上のみ“そう思う”が２割を超えています。

○　「④日本に住んでいる以上、日本の文化や生活習慣などに合わせることは当然だ」について、すべての年代で“そう思う”が約６割を超えています。

○　「⑤外国籍であっても、自治体の住民であるからには地方参政権を認め、投票できるようにする必要がある」について、どの年代も約６割以上が“そう思う”と回答しています。一方で、“そう思わない”はどの年代も約３割ですが、50 歳代のみ４割を超えています。

○　「⑥外国人住民が増えているので、福祉などのサービスを受けやすくするために、多言語による情報提供が必要だ」について「そう思う」割合は、40 歳代以上では４割未満であるのに対し、30 歳代以下では約５割となっています。



単位：%

		母数(n)	①外国人だからという理由で、賃貸住宅への入居を断られても仕方がない				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	4.7	14.6	41.0	36.5	3.2
性別	男	548	5.7	17.5	37.4	35.6	3.8
	女	672	3.4	12.6	44.2	37.6	2.1
年齢	30歳代未満	126	3.2	15.1	33.3	46.0	2.4
	30歳代	115	7.0	11.3	47.0	33.0	1.7
	40歳代	207	5.8	17.4	44.0	31.9	1.0
	50歳代	237	4.6	18.1	42.2	33.3	1.7
	60歳代	265	3.0	12.8	46.4	35.1	2.6
	70歳代以上	278	4.7	12.9	34.9	41.4	6.1

単位：%

		母数(n)	②日本の学校に通う外国人の子どもたちに、自分の国や民族の言葉を学習する機会を保障する必要がある				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	21.0	35.4	31.4	8.7	3.6
性別	男	548	22.8	36.3	26.3	11.1	3.5
	女	672	19.9	35.6	34.8	6.7	3.0
年齢	30歳代未満	126	31.0	28.6	29.4	9.5	1.6
	30歳代	115	23.5	30.4	34.8	9.6	1.7
	40歳代	207	15.0	41.5	32.9	9.7	1.0
	50歳代	237	17.7	40.1	33.3	6.8	2.1
	60歳代	265	20.0	38.5	30.9	6.8	3.8
	70歳代以上	278	24.8	30.9	27.7	10.1	6.5

単位：%

		母数(n)	③雇用者が外国人従業員に、職場では通称名(日本名)の使用を強制しても問題はない				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	4.8	8.9	31.8	51.0	3.5
性別	男	548	7.1	10.2	32.1	47.4	3.1
	女	672	2.8	8.0	31.7	54.2	3.3
年齢	30歳代未満	126	5.6	11.1	32.5	49.2	1.6
	30歳代	115	7.0	7.8	37.4	46.1	1.7
	40歳代	207	2.9	6.8	30.9	58.9	0.5
	50歳代	237	2.5	6.8	33.3	55.7	1.7
	60歳代	265	3.8	7.2	32.1	54.3	2.6
	70歳代以上	278	7.9	13.7	28.4	41.7	8.3

単位：%

		母数(n)	④日本に住んでいる以上、日本の文化や生活習慣などに合わせることは当然だ				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	16.8	47.3	22.9	9.8	3.2
性別	男	548	21.0	46.7	19.0	10.0	3.3
	女	672	12.6	49.1	26.2	9.5	2.5
年齢	30歳代未満	126	14.3	44.4	27.8	11.9	1.6
	30歳代	115	16.5	48.7	29.6	3.5	1.7
	40歳代	207	16.4	52.2	23.2	7.7	0.5
	50歳代	237	17.3	52.3	19.8	9.3	1.3
	60歳代	265	10.6	50.6	24.2	11.7	3.0
	70歳代以上	278	22.3	39.2	19.8	12.2	6.5

単位：%

		母数(n)	⑤外国籍であっても、自治体の住民であるからには地方参政権を認め、投票できるようにする必要がある				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	23.9	38.2	19.6	14.5	3.8
性別	男	548	24.8	32.3	19.7	19.7	3.5
	女	672	23.5	43.3	19.5	10.1	3.6
年齢	30歳代未満	126	33.3	34.9	16.7	12.7	2.4
	30歳代	115	25.2	47.8	12.2	13.0	1.7
	40歳代	207	22.7	40.6	23.2	12.1	1.4
	50歳代	237	21.1	36.3	25.7	15.2	1.7
	60歳代	265	23.8	40.0	19.6	13.2	3.4
	70歳代以上	278	23.7	34.5	15.8	18.0	7.9

単位：%

		母数(n)	⑥外国人住民が増えているので、福祉などのｻｰﾋﾞｽを受けやすくするために、多言語による情報提供が必要だ				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	37.8	47.2	8.9	2.6	3.4
性別	男	548	36.5	47.6	9.1	3.5	3.3
	女	672	40.2	46.7	8.3	1.8	3.0
年齢	30歳代未満	126	46.0	40.5	7.1	4.0	2.4
	30歳代	115	49.6	39.1	7.8	1.7	1.7
	40歳代	207	37.7	46.9	11.6	2.9	1.0
	50歳代	237	36.3	51.1	8.4	2.5	1.7
	60歳代	265	37.7	50.2	7.9	1.1	3.0
	70歳代以上	278	34.2	46.8	8.6	3.6	6.8

単位：%

		母数(n)	⑦外国人労働者が増えると、治安や風紀が悪くなる				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	11.0	32.3	40.5	12.7	3.6
性別	男	548	16.1	32.1	35.2	13.5	3.1
	女	672	6.5	32.9	45.5	11.8	3.3
年齢	30歳代未満	126	8.7	22.2	39.7	27.0	2.4
	30歳代	115	8.7	22.6	58.3	8.7	1.7
	40歳代	207	10.1	38.2	36.2	14.0	1.4
	50歳代	237	10.1	38.0	39.2	11.0	1.7
	60歳代	265	8.7	34.7	42.3	10.6	3.8
	70歳代以上	278	15.5	30.6	37.4	10.1	6.5

単位：%

		母数(n)	⑧共生のためには、地域における交流を積極的に進めるべきである				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	29.5	49.1	14.7	3.0	3.6
性別	男	548	30.7	48.7	12.0	5.3	3.3
	女	672	29.3	49.4	16.8	1.0	3.4
年齢	30歳代未満	126	33.3	47.6	12.7	4.0	2.4
	30歳代	115	33.0	44.3	16.5	4.3	1.7
	40歳代	207	29.5	46.9	18.8	2.9	1.9
	50歳代	237	26.6	55.7	13.5	2.5	1.7
	60歳代	265	29.1	52.8	12.5	2.3	3.4
	70歳代以上	278	32.4	44.6	13.7	2.5	6.8

「⑥外国人住民が増えているので、福祉などのサービスを受けやすくするために、多言語による情報提供が必要だ」、「⑧共生のためには、地域における交流を積極的に進めるべきである」について、約８割の人が“そう思う”と回答しています。

現在、「やさしい日本語」による情報提供に取り組む自治体が増えつつあります。地域での交流の機会を増やし、わかりやすい情報提供を進めることが多文化共生社会の実現につながります。

●問７　日本で暮らす外国籍の人へのヘイトスピーチというと、あなたはどのようなものがあてはまると思いますか。（○はいくつでも）

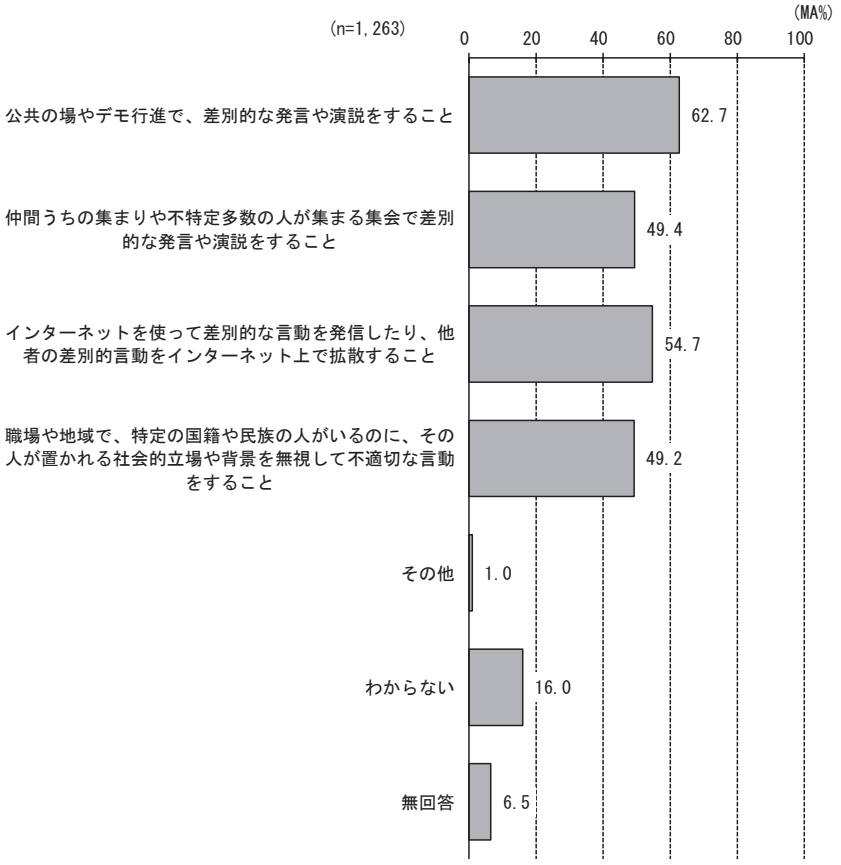
【全体】

○　ヘイトスピーチにあてはまるものについて、「公共の場やデモ行進で、差別的な発言や演説をすること」が 62.7％で最も多く、次いで「インターネットを使って差別的な言動を発信したり、他者の差別的言動をインターネット上で拡散すること」が 54.7％、「仲間うちの集まりや不特定多数の人が集まる集会で差別的な発言や演説をすること」が 49.4％となっています。

【年齢】

○　すべての年代で、「公共の場やデモ行進で、差別的な発言や演説をすること」が最も多くなっています。

【ヘイトスピーチにあてはまるもの(MA)】



単位：%

		母数(n)	ヘイトスピーチにあてはまるもの(MA)						
			公共の場やデモ行進で、差別的な発言や演説をすること	仲間うちの集まりや不特定多数の人が集まる集会で差別的な発言や演説をすること	インターネットを使って差別的な言動を発信したり、他者の差別的言動をインターネット上で拡散すること	職場や地域で、特定の国籍や民族の人がいるのに、その人が置かれる社会的立場や背景を無視して不適切な言動をすること	その他	わからない	無回答
全体		1,263	62.7	49.4	54.7	49.2	1.0	16.0	6.5
性別	男	548	66.6	53.3	59.1	50.2	1.5	11.7	5.7
	女	672	60.3	47.2	52.2	48.8	0.7	19.3	6.1
年齢	30歳代未満	126	69.0	51.6	56.3	54.8	1.6	11.9	5.6
	30歳代	115	72.2	52.2	54.8	45.2	0.9	14.8	1.7
	40歳代	207	65.7	49.3	55.1	46.9	1.0	20.3	1.0
	50歳代	237	70.0	52.3	64.1	49.8	0.8	10.5	3.4
	60歳代	265	63.0	53.6	62.6	55.8	1.1	11.7	6.8
	70歳代以上	278	50.7	45.0	42.4	45.7	1.1	22.3	12.6

人種や文化の背景、性別、障害、価値観等が、自分と異なる人に対して、自覚や悪意なく相手を傷つける言動をとってしまうことがあります。その背景を考える必要があります。

●問 7-2　ヘイトスピーチについて、あなたはどう思いますか。（○はいずれか１つ）

【全体】

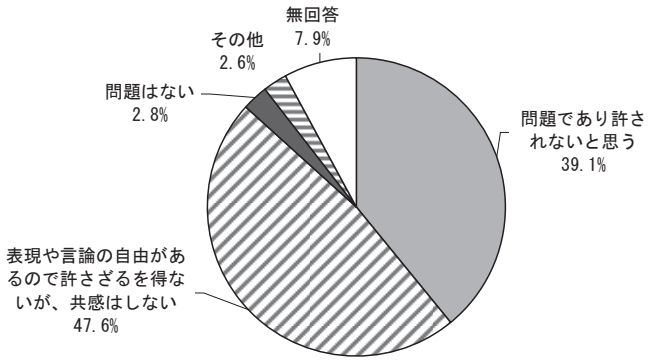
○　ヘイトスピーチについて思うことについて、「表現や言論の自由があるので許さざるを得ないが、共感はしない」が 47.6%で最も多く、次いで「問題であり許されないと思う」が 39.1%、「問題はない」が 2.8%となっています。

【年齢】

○　70 歳代以上では、「問題であり許されないと思う」が 41.0%で最も多くなっています。

○　30 歳代未満では「問題はない」が 5.6%と、やや多くなっています。

【ヘイトスピーチについて思うこと】



(n=1,263)

単位：%

		母数(n)	ヘイトスピーチについて思うこと				
			問題であり許されないと思う	表現や言論の自由があるので許さざるを得ないが、共感はしない	問題はない	その他	無回答
全体		1,263	39.1	47.6	2.8	2.6	7.9
性別	男	548	40.5	47.6	3.1	2.6	6.2
	女	672	38.4	48.2	2.4	2.5	8.5
年齢	30歳代未満	126	38.1	50.0	5.6	0.8	5.6
	30歳代	115	37.4	51.3	2.6	3.5	5.2
	40歳代	207	32.4	56.5	2.9	4.3	3.9
	50歳代	237	44.7	48.5	1.3	2.1	3.4
	60歳代	265	41.5	48.3	1.9	2.6	5.7
	70歳代以上	278	41.0	37.4	3.2	1.8	16.5

（４）被差別部落（同和地区）出身者の人権について

●問８　一般的に、世間ではどのようなことで同和地区出身者と判断していると思いますか。（○はいくつでも）

【全体】

○　同和地区出身者の判断基準について、「本人の本籍地が同和地区である」が 44.6％で最も多く、次いで「本人が現在、同和地区に住んでいる」が 42.9％、「本人の出生地が同和地区である」が 42.7％となっています。

【性別】

○　男性では、「本人の本籍地が同和地区である」が 47.4％で最も多く、次いで「本人の出生地が同和地区である」が 43.4％、「本人が現在、同和地区に住んでいる」が 43.1％となっています。

○　女性では、「本人が現在、同和地区に住んでいる」が 43.5％で最も多く、次いで「本人の本籍地が同和地区である」が 42.9％、「本人の出生地が同和地区である」が 42.7％となっています。

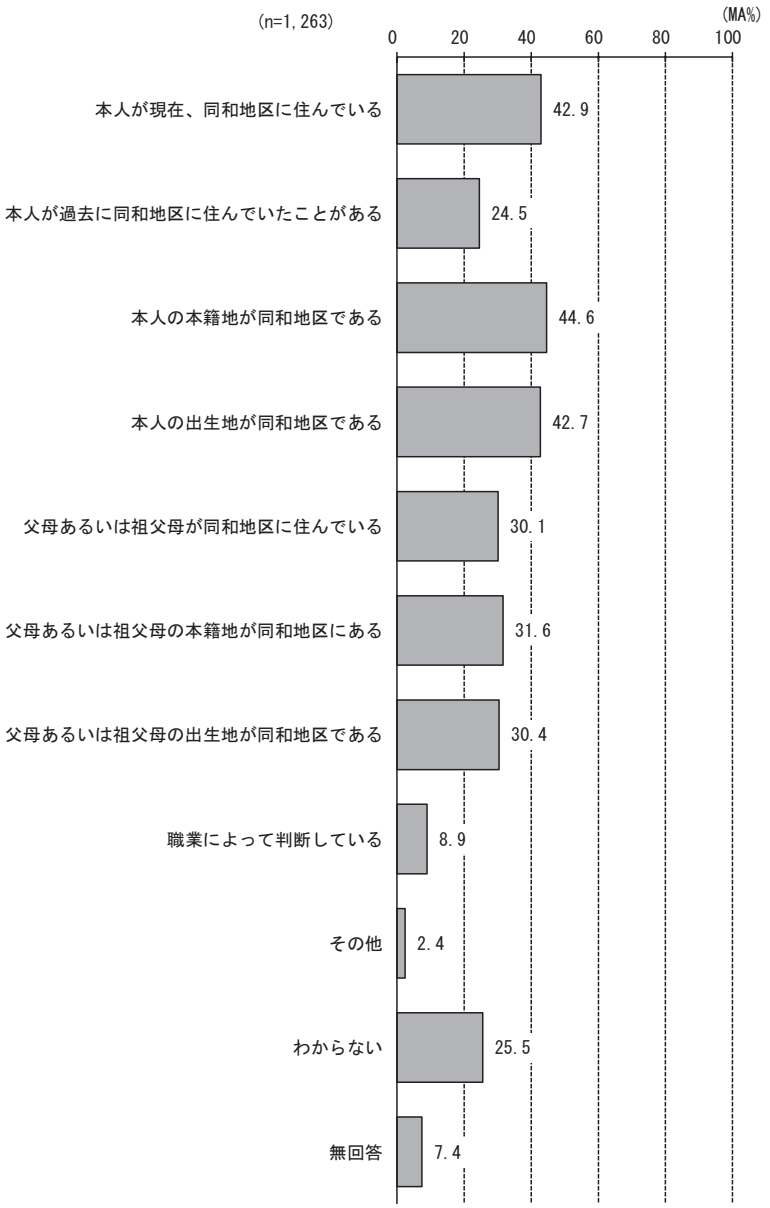
【年齢】

○　30 歳代未満、50 歳代、60 歳代では「本人の本籍地が同和地区である」が最も多くなっています。特に 50 歳代では 58.6％と、他の年代に比べても多くなっています。

○　30 歳代では、「本人の出生地が同和地区である」が最も多くなっています。

○　40 歳代では、「本人が現在、同和地区に住んでいる」、「本人の出生地が同和地区である」が最も多くなっています。

【同和地区出身者の判断基準(MA)】



単位：%

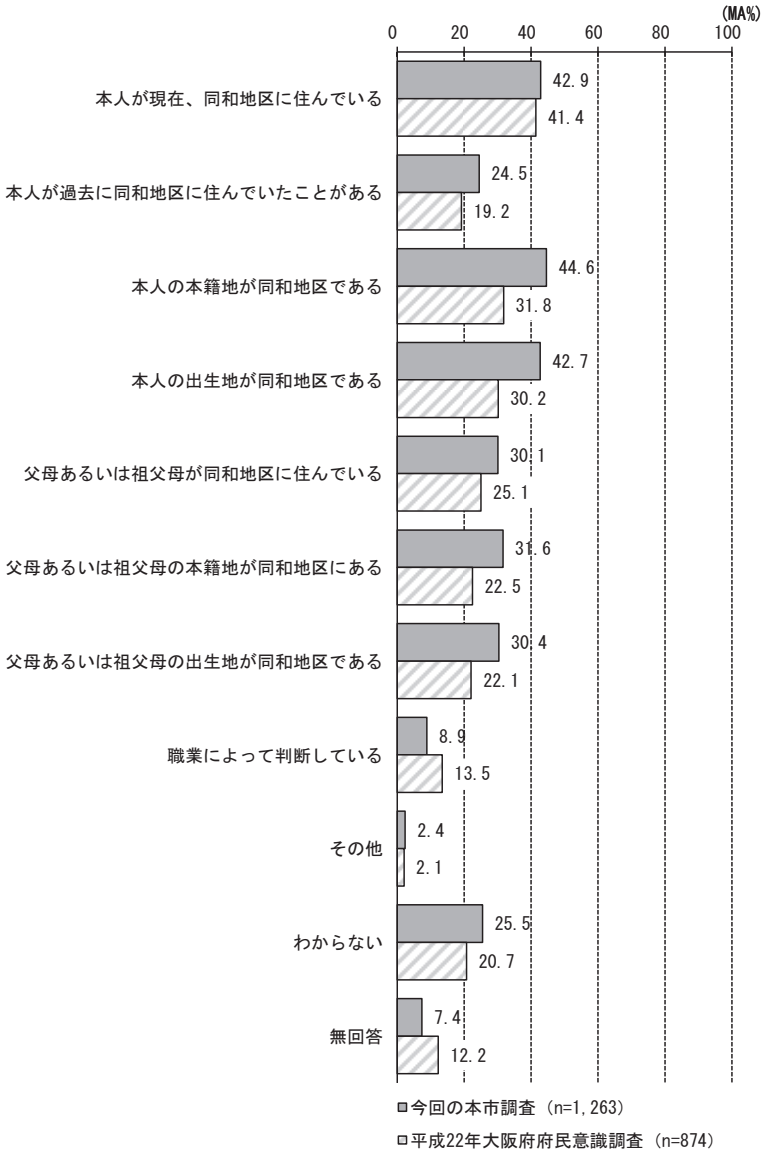
		母数(n)	同和地区出身者の判断基準(MA)										
			本人が現在、同和地区に住んでいる	本人が過去に同和地区に住んでいたことがある	本人の本籍地が同和地区である	本人の出生地が同和地区である	父母あるいは祖父母が同和地区に住んでいる	父母あるいは祖父母の本籍地が同和地区にある	父母あるいは祖父母の出生地が同和地区である	職業によって判断している	その他	わからない	無回答
全体		1,263	42.9	24.5	44.6	42.7	30.1	31.6	30.4	8.9	2.4	25.5	7.4
性別	男	548	43.1	25.9	47.4	43.4	32.1	33.2	30.8	9.3	2.2	22.8	8.0
	女	672	43.5	23.8	42.9	42.7	29.2	31.1	30.5	9.1	2.7	27.2	6.0
年齢	30歳代未満	126	38.1	25.4	45.2	40.5	24.6	25.4	26.2	7.1	3.2	30.2	3.2
	30歳代	115	42.6	26.1	46.1	47.8	33.0	27.0	29.6	6.1	1.7	30.4	3.5
	40歳代	207	52.2	28.5	50.7	52.2	44.0	42.5	43.5	8.7	1.9	20.3	2.9
	50歳代	237	51.5	35.0	58.6	54.9	38.4	42.2	39.2	14.8	2.1	19.8	2.1
	60歳代	265	43.8	22.3	44.2	40.8	25.3	31.3	27.2	8.7	2.6	21.1	7.5
	70歳代以上	278	32.4	14.0	29.1	27.7	19.8	21.6	20.1	7.6	2.9	33.1	16.2

【参考：平成 22 年大阪府府民意識調査との比較】

○　平成 22 年に行われた大阪府府民意識調査における同設問の結果と比較すると、今回の本市調査では大阪府府民意識調査に比べ、「本人の本籍地が同和地区である」「本人の出生地が同和地区である」がそれぞれ 10 ポイント以上多くなっています。

○　「職業によって判断している」は約５ポイント少なくなっています。

【参考：平成 22 年大阪府府民意識調査との比較】



※大阪府府民意識調査とは、大阪府が平成 22 年に実施した満 20 歳以上の府民 2,000 人を対象とする「人権に関する府民意識調査」のことです。

●問 9　あなたは、同和地区や同和地区の人に対する差別意識が、今でも残っていると思いますか。あなたのお考えに近いものを選んでください。（○はいずれか 1 つ）

【全体】

○　同和地区や同和地区の人に対する差別意識が今でも残っているかについて、「差別意識は薄まりつつあるが、まだ残っている」が 52.0%で最も多く、次いで「わからない」が 18.1%、「差別意識は現在もあまり変わらず残っている」が 13.7%となっています。

【性別】

○　男性では、「差別意識は薄まりつつあるが、まだ残っている」が 49.3%で最も多く、次いで「差別意識は現在もあまり変わらず残っている」が 16.6%となっています。

○　女性では、「差別意識は薄まりつつあるが、まだ残っている」が 55.2%で最も多く、次いで「わからない」が 20.2%となっています。

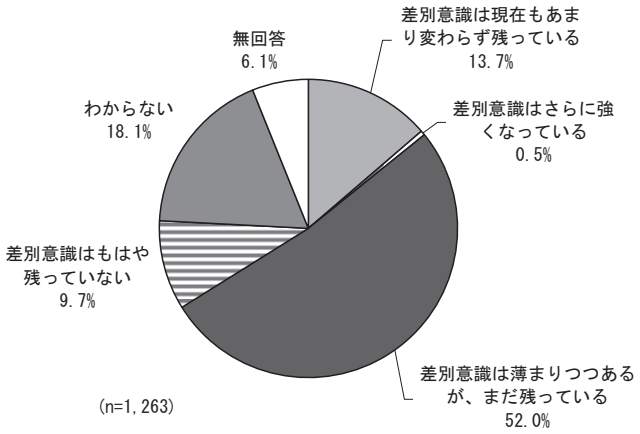
【年齢】

○　すべての年代で「差別意識は薄まりつつあるが、まだ残っている」が最も多くなっています。

○　40 歳代では「差別意識は現在もあまり変わらず残っている」が 19.3%と、他の年代に比べ多くなっています。

○　60 歳代以上では「差別意識はもはや残っていない」が 1 割以上となっています。

【同和地区や同和地区の人に対する差別意識が今でも残っているか】



単位：%

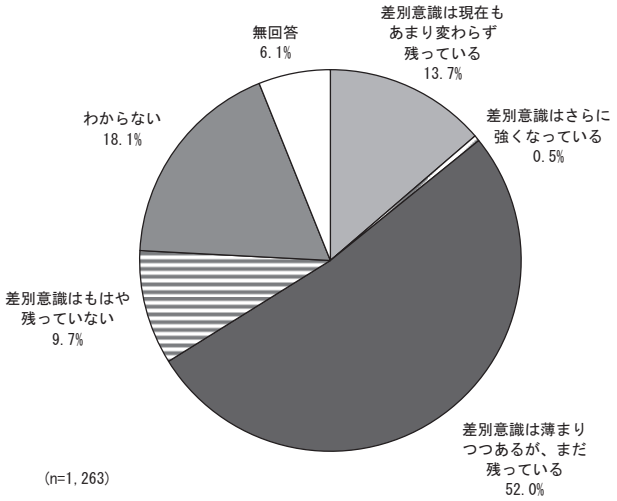
		母数(n)	同和地区や同和地区の人に対する差別意識が今でも残っているか					
			差別意識は現在もあまり変わらず残っている	差別意識はさらに強くなっている	差別意識は薄まりつつあるが、まだ残っている	差別意識はもはや残っていない	わからない	無回答
全体		1,263	13.7	0.5	52.0	9.7	18.1	6.1
性別	男	548	16.6	0.9	49.3	10.9	15.3	6.9
	女	672	10.9	0.1	55.2	8.9	20.2	4.6
年齢	30歳代未満	126	12.7	－	46.8	9.5	27.8	3.2
	30歳代	115	17.4	0.9	50.4	6.1	21.7	3.5
	40歳代	207	19.3	0.5	55.6	7.7	14.0	2.9
	50歳代	237	12.7	0.8	63.7	8.0	12.7	2.1
	60歳代	265	14.0	0.4	52.5	12.1	14.7	6.4
	70歳代以上	278	7.9	0.4	45.3	11.9	22.7	11.9

【参考：平成 22 年大阪府府民意識調査との比較】

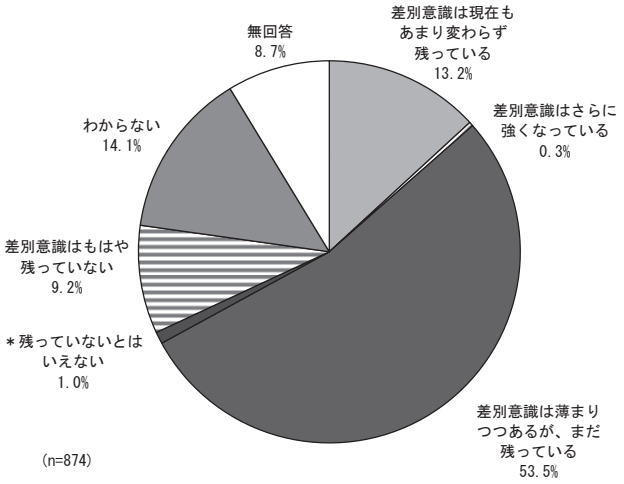
○　平成 22 年に行われた大阪府府民意識調査における同設問の結果と比較すると、大きな違いはみられません。

【参考：平成 22 年大阪府府民意識調査との比較】

【今回の本市調査】



【平成 22 年大阪府府民意識調査】



※大阪府府民意識調査とは、大阪府が平成 22 年に実施した満 20 歳以上の府民 2,000 人を対象とする「人権に関する府民意識調査」のことです。「＊残っていないとはいえない」は、当設問において「わからない」等と回答しているが、同和問題に関する差別意識がなくならない理由に回答があった場合を集計したものです（大阪府　調査結果の概要より）。

●問 10　同和問題（部落差別）の解決についてどう思いますか。あなたのお考えに近いものを選んでください。（○はいずれか１つ）

【全体】

○　同和問題（部落差別）の解決について、「わからない」が 35.6%で最も多く、次いで「自分ではどうしようもない問題だから、なりゆきにまかせる」が 24.5%、「人権に関わる問題だから、自分も解決に向けて、何らかの努力をする」が 16.5%となっています。

【性別】

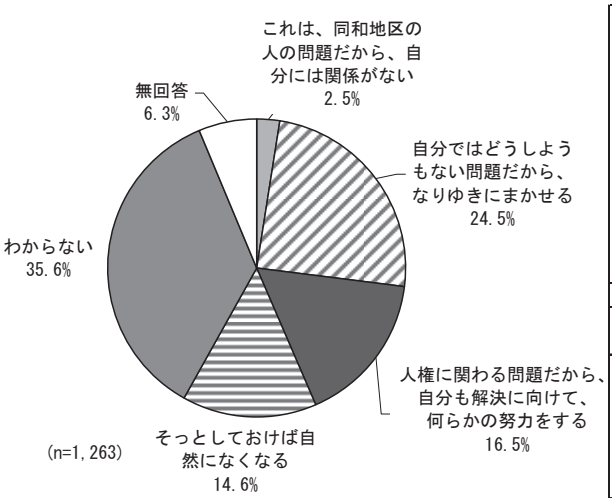
○　男性では女性に比べ、「そっとしておけば自然になくなる」がやや多くなっています。

【年齢】

○　60 歳代以下では「自分ではどうしようもない問題だから、なりゆきにまかせる」が「わからない」に次いで多くなっています。

○　70 歳代以上では「そっとしておけば自然になくなる」が 18.3%で「わからない」に次いで多く、他の年代に比べても多くなっています。

【同和問題（部落差別）の解決】



単位：%

		母数(n)	同和問題（部落差別）の解決					
			これは、同和地区の人の問題だから、自分には関係がない	自分ではどうしようもない問題だから、なりゆきにまかせる	人権に関わる問題だから、自分も解決に向けて、何らかの努力をする	そっとしておけば自然になくなる	わからない	無回答
全体		1,263	2.5	24.5	16.5	14.6	35.6	6.3
性別	男	548	3.1	25.7	17.3	17.5	29.2	7.1
	女	672	2.1	23.8	15.9	12.4	40.9	4.9
年齢	30歳代未満	126	1.6	24.6	15.9	17.5	37.3	3.2
	30歳代	115	0.9	32.2	16.5	13.9	33.0	3.5
	40歳代	207	4.8	32.9	12.6	11.1	35.3	3.4
	50歳代	237	1.7	30.8	14.8	13.9	36.3	2.5
	60歳代	265	1.5	21.9	21.5	13.2	35.1	6.8
	70歳代以上	278	3.2	12.9	16.9	18.3	36.7	11.9

同和地区出身者と判断する明確な基準がない中で、差別が今もまだ残っていると感じている人が約７割います。つくられた差別をなくしていくのは、一人ひとりの意識にほかなりません。

●問 11　結婚相手が同和地区の人であるということを理由に、家族から結婚を反対されている親戚がいるとします。あなたがその方から相談を受けた場合、どのような態度をとると思いますか。最もお考えに近いものを選んでください。（○は１つ）

【全体】

○　同和地区の結婚相手との結婚を家族から反対されている親戚から相談を受けたときの態度について、「どう言えばよいのかわからない」が 27.5％で最も多く、次いで「慎重に考えなさいと言う」が 24.1％、「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」が 22.2％となっています。

【性別】

○　男性では、「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」が 30.5％で最も多く、女性の約２倍となっています。

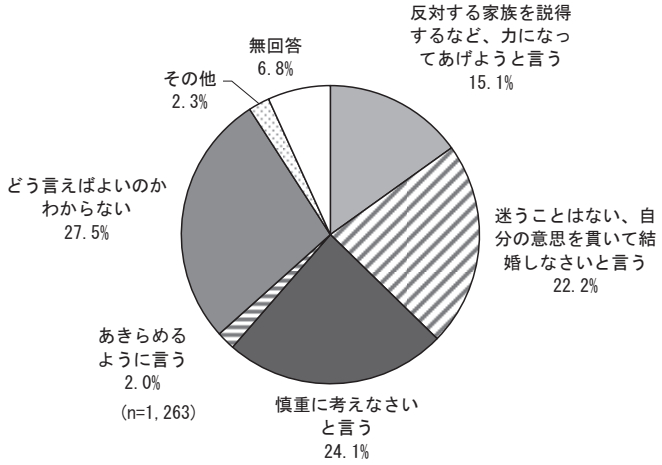
○　女性では、「慎重に考えなさいと言う」、「どう言えばよいのかわからない」が男性に比べ特に多くなっています。

【年齢】

○　30 歳代未満では、「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」が 30.2％で最も多く、他の年代に比べても多くなっています。

○　「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」、「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」を合わせた“積極派”は 30 歳代未満では約６割ですが、他の年代では３割から４割となっています。一方で、40 歳代以上の約３割が「どう言えばよいのかわからない」と回答しています。

【同和地区の結婚相手との結婚を家族から反対されている親戚から相談を受けたときの態度】



単位：%

		母数(n)	同和地区の結婚相手との結婚を家族から反対されている親戚から相談を受けたときの態度						
			反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う	迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う	慎重に考えなさいと言う	あきらめるように言う	どう言えばよいのかわからない	その他	無回答
全体		1,263	15.1	22.2	24.1	2.0	27.5	2.3	6.8
性別	男	548	15.5	30.5	20.3	1.6	22.1	2.2	7.8
	女	672	15.3	16.1	27.4	2.2	31.4	2.4	5.2
年齢	30歳代未満	126	30.2	29.4	16.7	0.8	18.3	1.6	3.2
	30歳代	115	20.9	23.5	28.7	0.9	19.1	3.5	3.5
	40歳代	207	15.9	23.2	24.6	2.9	27.5	2.9	2.9
	50歳代	237	16.5	19.4	25.7	3.0	30.4	2.5	2.5
	60歳代	265	10.2	23.4	29.4	2.3	25.7	1.9	7.2
	70歳代以上	278	10.4	20.1	19.1	1.1	33.8	1.8	13.7

●問 12　あなたは、ここ５年くらいの間に同和問題に関して、次のような発言を直接聞いたことがありますか。複数ある場合は、強く印象に残っているものを選んでください。（○は１つ）

【全体】

○　ここ５年で同和問題に関して直接聞いた発言について、「聞いたことはない」が 61.2%で最も多く、次いで「住宅を購入する際、同和地区内の物件を避けた方がいい」が 7.9%、「同和地区は治安が悪い」が 7.1%となっています。

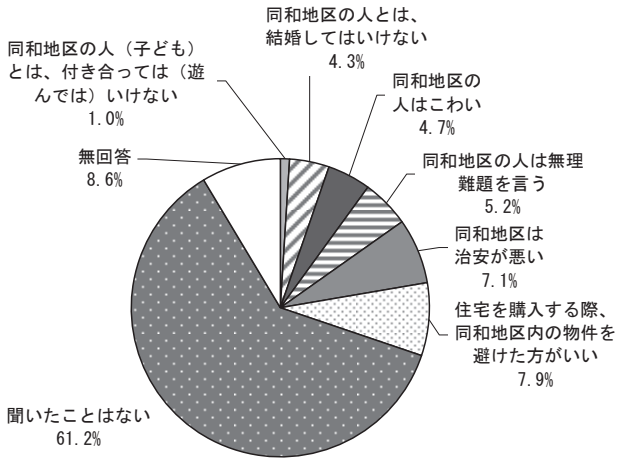
○　「聞いたことはない」と「無回答」を除く 30.2%の人が、ここ５年くらいの間に、同和問題に関する差別的な内容を含む発言を直接聞いた経験をもっていることになります。

【年齢】

○　すべての年代で「聞いたことはない」が最も多く、５割以上となっています。特に 30 歳代未満、60 歳代では約７割と他の年代に比べ多くなっています。

○　40 歳代以下では「同和地区は治安が悪い」が１割以上となっています。

【ここ５年で同和問題に関して直接聞いた発言】



(n=1,263)

単位：%

		母数(n)	ここ５年で同和問題に関して直接聞いた発言							
			同和地区の人（子ども）とは、付き合っては（遊んでは）いけない	同和地区の人とは、結婚してはいけない	同和地区の人はこわい	同和地区の人は無理難題を言う	同和地区は治安が悪い	住宅を購入する際、同和地区内の物件を避けた方がいい	聞いたことはない	無回答
全体		1,263	1.0	4.3	4.7	5.2	7.1	7.9	61.2	8.6
性別	男	548	1.5	3.5	5.5	5.1	7.3	7.7	60.6	8.9
	女	672	0.6	4.6	4.0	5.1	7.1	8.0	63.1	7.4
年齢	30歳代未満	126	2.4	3.2	2.4	0.8	10.3	8.7	68.3	4.0
	30歳代	115	0.9	5.2	4.3	4.3	13.9	7.8	59.1	4.3
	40歳代	207	1.4	5.8	6.3	5.8	13.0	7.7	57.0	2.9
	50歳代	237	1.3	3.0	7.2	4.6	7.6	9.7	62.4	4.2
	60歳代	265	－	4.5	3.8	4.9	3.0	7.9	67.5	8.3
	70歳代以上	278	0.7	3.6	3.2	7.2	2.5	6.5	58.3	18.0

●問 12-2～問 12-3 は、問 12 で「聞いたことはない」以外を選んだ人にお聞きします。

●問 12-2　それは誰から聞きましたか。主なものを選んでください。（○は１つ）

【全体】

○　聞いた相手について、「家族」が 24.7%で最も多く、次いで「友人」が 20.7%、「職場の人」が 18.4%となっています。

【性別】

○　男性では、「友人」が 26.9%で最も多く、次いで「職場の人」が 24.0%となっています。

○　女性では、「家族」が 30.8%で最も多く、次いで「友人」が 17.2%となっています。

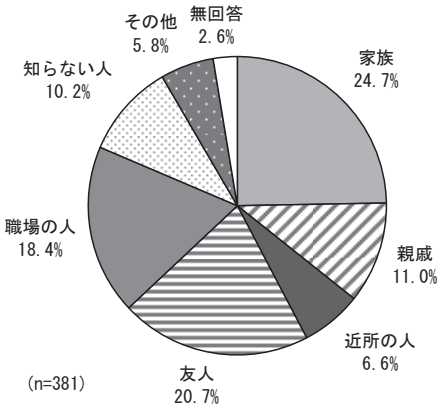
【年齢】

○　すべての年代で「家族」または「友人」が最も多くなっています。

○　40 歳代、60 歳代では「職場の人」が多くなっています。

○　50 歳代以上では「親戚」が１割以上となっています。

【聞いた相手】



単位：%

		母数(n)	聞いた相手 家族	親戚	近所の人	友人	職場の人	知らない人	その他	無回答
全体		381	24.7	11.0	6.6	20.7	18.4	10.2	5.8	2.6
性別	男	167	16.8	10.2	4.8	26.9	24.0	7.8	7.2	2.4
	女	198	30.8	11.6	8.6	17.2	12.6	11.6	5.1	2.5
年齢	30歳代未満	35	45.7	8.6	2.9	11.4	8.6	8.6	11.4	2.9
	30歳代	42	26.2	4.8	7.1	31.0	16.7	11.9	－	2.4
	40歳代	83	28.9	7.2	3.6	15.7	26.5	10.8	6.0	1.2
	50歳代	79	22.8	10.1	5.1	27.8	16.5	7.6	7.6	2.5
	60歳代	64	20.3	12.5	9.4	21.9	20.3	9.4	4.7	1.6
	70歳代以上	66	15.2	18.2	12.1	19.7	12.1	12.1	6.1	4.5

●問 12-3　それを聞いたとき、どう感じましたか。また、どうしましたか。（○は１つ）

【全体】

○　聞いて感じたこととととった行動について、「そういう見方もあるのかと思った」が 50.7%で最も多く、次いで「そのとおりと思った」が 17.1%、「反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった」が 14.4%となっています。

【性別】

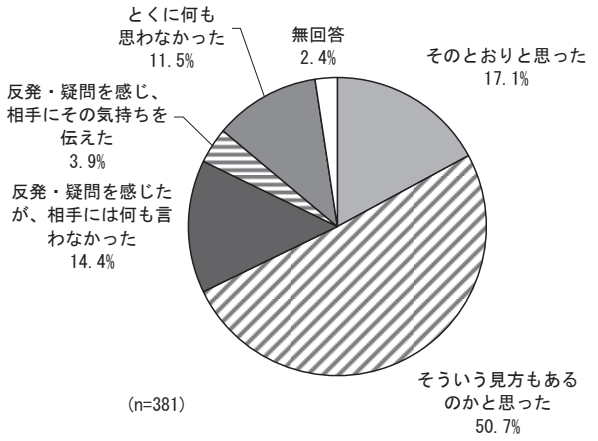
○　女性では男性に比べ、「そういう見方もあるのかと思った」がやや多くなっています。

【年齢】

○　すべての年代で、「そういう見方もあるのかと思った」が最も多くなっています。

○　60 歳代、70 歳代以上では「反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった」が２割以上となっています。

【聞いて感じたこととととった行動】



単位：%

		母数(n)	聞いて感じたこととととった行動					
			そのとおりと思った	そういう見方もあるのかと思った	反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった	反発・疑問を感じ、相手にその気持ちを伝えた	とくに何も思わなかった	無回答
全体		381	17.1	50.7	14.4	3.9	11.5	2.4
性別	男	167	19.2	47.9	13.8	6.0	12.0	1.2
	女	198	15.2	53.0	16.2	2.0	10.1	3.5
年齢	30歳代未満	35	14.3	51.4	11.4	2.9	17.1	2.9
	30歳代	42	14.3	47.6	14.3	9.5	11.9	2.4
	40歳代	83	18.1	57.8	12.0	3.6	7.2	1.2
	50歳代	79	22.8	45.6	8.9	2.5	17.7	2.5
	60歳代	64	14.1	51.6	21.9	4.7	6.3	1.6
	70歳代以上	66	13.6	50.0	21.2	1.5	9.1	4.5

●問 13　あなたが、同和問題について初めて知ったきっかけは何からですか。（○は１つ）

【全体】

○　同和問題について初めて知ったきっかけについて、「学校の授業で教わった」が 30.1%で最も多く、次いで「家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）から聞いた」が 24.8%、「おぼえていない」が 9.7%となっています。

【性別】

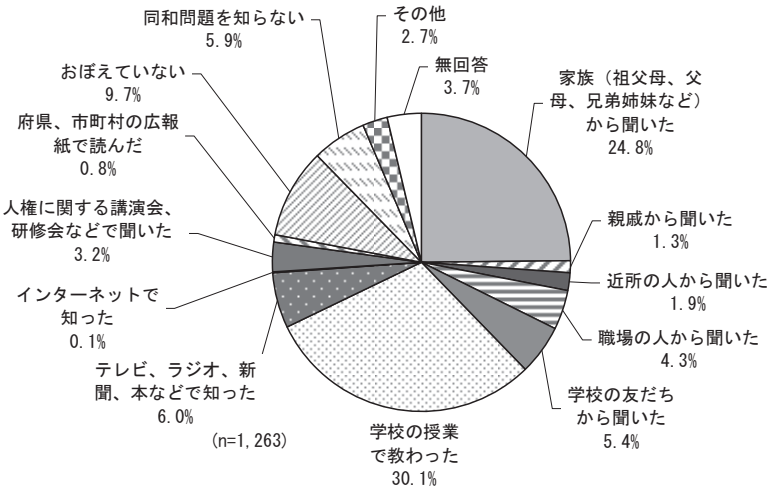
○　女性では男性に比べ、「家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）から聞いた」がやや多くなっています。

【年齢】

○　50 歳代以下では「学校の授業で教わった」が最も多く、60 歳代、70 歳代以上では「家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）から聞いた」が最も多くなっています。

○　30 歳代以下では「同和問題を知らない」が約２割で、他の年代に比べ多くなっています。

【同和問題について初めて知ったきっかけ】



単位：%

		母数(n)	同和問題について初めて知ったきっかけ													
			家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）から聞いた	親戚から聞いた	近所の人から聞いた	職場の人から聞いた	学校の友だちから聞いた	学校の授業で教わった	テレビ、ラジオ、新聞、本などで知った	インターネットで知った	人権に関する講演会、研修会などで聞いた	府県、市町村の広報紙で読んだ	おぼえていない	同和問題を知らない	その他	無回答
全体		1,263	24.8	1.3	1.9	4.3	5.4	30.1	6.0	0.1	3.2	0.8	9.7	5.9	2.7	3.7
性別	男	548	21.5	1.6	2.0	6.6	7.5	28.8	7.1	0.2	3.5	0.5	9.7	5.7	2.0	3.3
	女	672	27.5	1.2	1.8	2.5	3.3	32.1	5.1	－	3.0	1.0	9.7	6.3	3.4	3.1
年齢	30歳代未満	126	15.9	－	－	1.6	4.8	46.0	2.4	0.8	0.8	0.8	10.3	15.1	－	1.6
	30歳代	115	20.0	－	－	2.6	3.5	44.3	3.5	－	0.9	－	4.3	15.7	3.5	1.7
	40歳代	207	21.3	1.0	0.5	2.9	4.8	46.9	1.9	－	1.0	1.0	10.1	3.9	2.4	2.4
	50歳代	237	24.9	0.8	1.3	3.8	6.3	43.9	4.2	－	1.7	0.4	6.3	2.5	2.5	1.3
	60歳代	265	32.1	1.1	2.6	5.3	7.9	20.8	6.4	－	5.3	－	8.7	1.9	4.2	3.8
	70歳代以上	278	27.0	3.6	4.3	6.8	3.2	4.7	12.6	－	6.5	2.2	14.4	6.1	2.9	5.8

【全体】

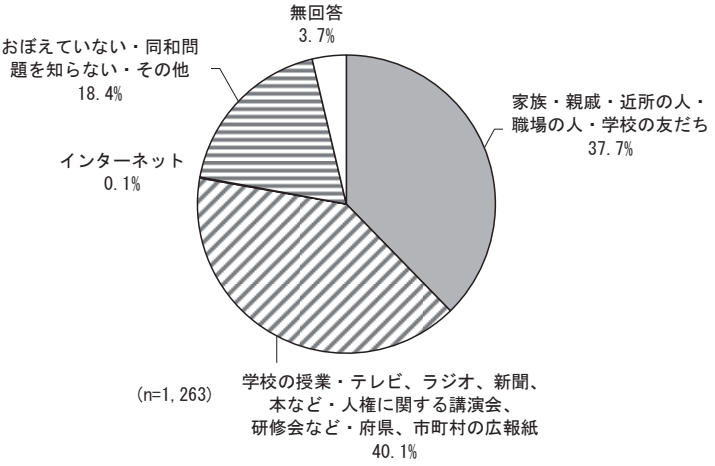
○　同和問題について初めて知ったきっかけについて、「学校の授業・テレビ、ラジオ、新聞、本など・人権に関する講演会、研修会など・府県、市町村の広報紙」が 40.1%で最も多く、次いで「家族・親戚・近所の人・職場の人・学校の友だち」が 37.7%、「おぼえていない・同和問題を知らない・その他」が 18.4%となっています。

【年齢】

○　50 歳代以下では、「学校の授業・テレビ、ラジオ、新聞、本など・人権に関する講演会、研修会など・府県、市町村の広報紙」が最も多く、約５割となっています。

○　60 歳代、70 歳代以上では「家族・親戚・近所の人・職場の人・学校の友だち」が最も多く、約５割となっています。

【同和問題について初めて知ったきっかけ】



単位：%

		母数(n)	同和問題について初めて知ったきっかけ				
			家族・親戚・近所の人・職場の人・学校の友だち	学校の授業・テレビ、ラジオ、新聞、本など・人権に関する講演会、研修会など・府県、市町村の広報紙	インターネット	おぼえていない・同和問題を知らない・その他	無回答
全体		1,263	37.7	40.1	0.1	18.4	3.7
性別	男	548	39.2	40.0	0.2	17.3	3.3
	女	672	36.3	41.2	－	19.3	3.1
年齢	30歳代未満	126	22.2	50.0	0.8	25.4	1.6
	30歳代	115	26.1	48.7	－	23.5	1.7
	40歳代	207	30.4	50.7	－	16.4	2.4
	50歳代	237	37.1	50.2	－	11.4	1.3
	60歳代	265	49.1	32.5	－	14.7	3.8
	70歳代以上	278	45.0	25.9	－	23.4	5.8

（５）性的マイノリティ（少数者）の人権について

●問 14　性的マイノリティ（少数者）の人権に関して、次のような意見があります。それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。

【全体】

○　性的マイノリティ（少数者）の人権に関する意見について、「そう思う」が最も多いのは「⑤学生の制服は性別に関係なくスカート、ズボン（パンツ）を自由に選べる方がいい」（38.4%）で、次いで「③もし、自分の子どもが同性愛者であっても、親として子どもの側に立ち、力になる」（35.7%）となっています。

○　一方で、「そう思わない」が最も多いのは「②同性愛者や性同一性障害のある人がいる職場では働きたくない」（51.9%）で、次いで「⑧性同一性障害のために戸籍の性別変更を望む人は、同性愛者である」（35.0%）となっています。「②同性愛者や性同一性障害のある人がいる職場では働きたくない」は、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”が８割を超えています。

○　「⑨自分の身内には同性愛者はいてほしくない」は、“そう思う”と“そう思わない”がほぼ同率となっています。

【性別】

○　「①同性愛者の結婚も認められるのは当然だ」について、男女ともに「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっていますが、次いで、男性では「あまりそう思わない」、女性では「そう思う」が多くなっています。

○　「⑤学生の制服は性別に関係なくスカート、ズボン（パンツ）を自由に選べる方がいい」について「そう思う」割合は、男性では約３割であるのに対し、女性では４割を超えています。

○　「⑨自分の身内には同性愛者はいてほしくない」について、男性では“そう思う”が５割を超えているのに対し、女性では“そう思わない”が５割を超えています。

【年齢】

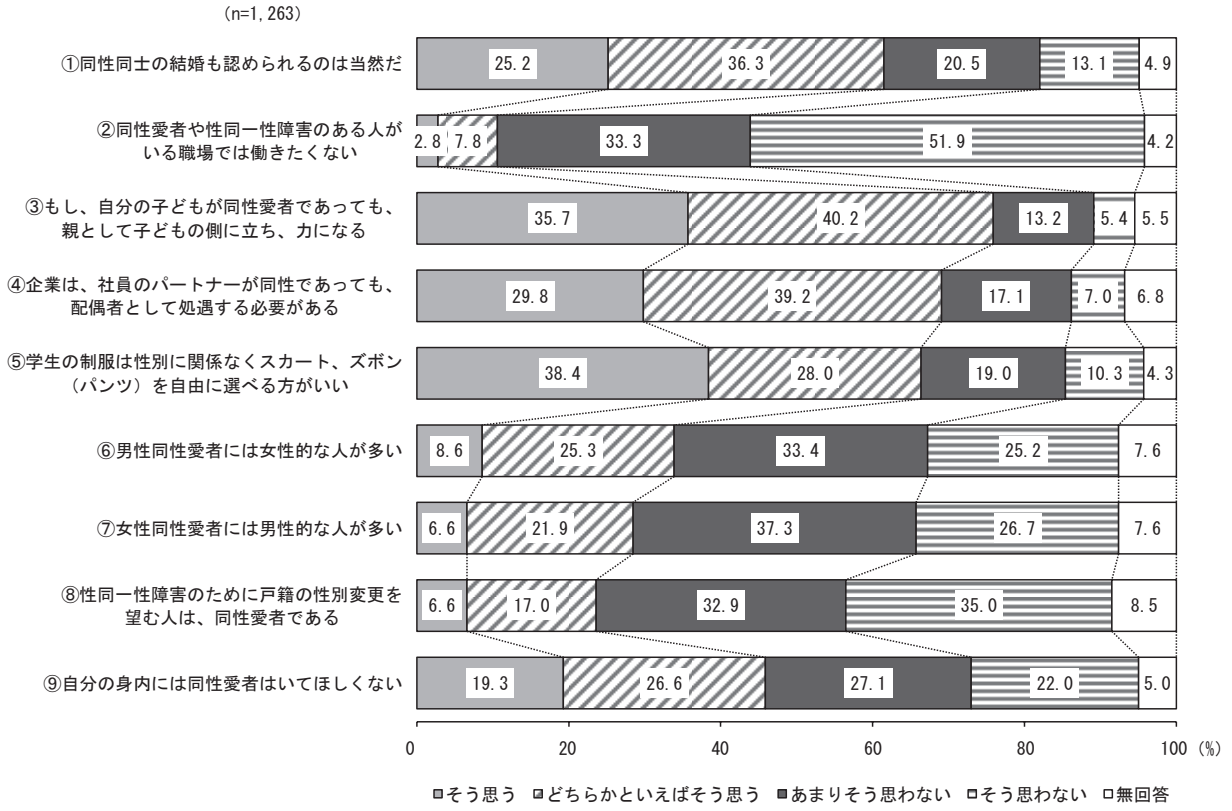
○　「①同性同士の結婚も認められるのは当然だ」、「④企業は、社員のパートナーが同性であっても、配偶者として処遇する必要がある」について、「そう思う」割合は、30 歳代以上は４割未満ですが、30 歳代未満は５割を超えています。

○　「③もし、自分の子どもが同性愛者であっても、親として子どもの側に立ち、力になる」について、「そう思う」割合は、30 歳未満は６割を超えています。

○　「⑤学生の制服は性別に関係なくスカート、ズボン（パンツ）を自由に選べる方がいい」について、「そう思う」割合は、年代が下がるにつれて多くなる傾向がみられ、30 歳代以下は５割を超えています。

○　「②同性愛者や性同一性障害のある人がいる職場では働きたくない」について“そう思う”割合は、60 歳代以下では約１割であるのに対し、70 歳代以上では約２割となっています。

○　「⑨自分の身内には同性愛者はいてほしくない」について、50 歳代以下では“そう思わない”が５割を超えているのに対し、60 歳代以上では“そう思う”が５割を超えています。



単位：%

		母数(n)	①同性同士の結婚も認められるのは当然だ そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	25.2	36.3	20.5	13.1	4.9
性別	男	548	20.6	31.9	24.6	18.4	4.4
	女	672	29.3	41.2	17.0	8.3	4.2
年齢	30歳代未満	126	54.8	29.4	10.3	4.8	0.8
	30歳代	115	33.9	43.5	16.5	5.2	0.9
	40歳代	207	31.4	41.1	19.8	6.8	1.0
	50歳代	237	24.5	48.1	13.1	11.4	3.0
	60歳代	265	18.9	38.1	24.2	14.3	4.5
	70歳代以上	278	12.2	23.7	30.2	23.4	10.4

単位：%

		母数(n)	②同性愛者や性同一性障害のある人がいる職場では働きたくない そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	2.8	7.8	33.3	51.9	4.2
性別	男	548	3.8	10.2	33.4	48.9	3.6
	女	672	1.6	6.0	33.5	55.4	3.6
年齢	30歳代未満	126	1.6	5.6	19.0	73.0	0.8
	30歳代	115	1.7	3.5	31.3	62.6	0.9
	40歳代	207	1.0	7.7	36.2	54.6	0.5
	50歳代	237	2.1	4.2	34.6	57.0	2.1
	60歳代	265	3.0	8.3	38.5	46.4	3.8
	70歳代以上	278	5.0	12.6	33.5	39.9	9.0

単位：%

		母数(n)	③もし、自分の子どもが同性愛者であっても、親として子どもの側に立ち、力になる そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	35.7	40.2	13.2	5.4	5.5
性別	男	548	34.3	38.7	15.1	7.3	4.6
	女	672	37.6	42.3	11.5	3.7	4.9
年齢	30歳代未満	126	60.3	27.0	8.7	2.4	1.6
	30歳代	115	41.7	44.3	9.6	3.5	0.9
	40歳代	207	43.5	41.1	10.6	3.9	1.0
	50歳代	237	36.7	45.1	11.4	4.2	2.5
	60歳代	265	33.6	39.6	14.7	7.9	4.2
	70歳代以上	278	19.8	42.4	18.3	6.5	12.9

単位：%

		母数(n)	④企業は、社員のパートナーが同性であっても、配偶者として処遇する必要がある そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	29.8	39.2	17.1	7.0	6.8
性別	男	548	24.8	38.9	21.2	9.9	5.3
	女	672	34.7	40.0	13.8	4.5	7.0
年齢	30歳代未満	126	54.8	28.6	11.9	2.4	2.4
	30歳代	115	37.4	40.0	13.0	7.8	1.7
	40歳代	207	33.3	42.0	16.4	6.3	1.9
	50歳代	237	31.2	44.3	15.2	6.3	3.0
	60歳代	265	26.4	44.2	16.2	7.5	5.7
	70歳代以上	278	17.3	34.9	23.4	8.6	15.8

単位：%

		母数(n)	⑤学生の制服は性別に関係なくスカート、ズボン（パンツ）を自由に選べる方がいい				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	38.4	28.0	19.0	10.3	4.3
性別	男	548	31.2	28.1	23.0	13.5	4.2
	女	672	44.6	28.3	15.8	7.9	3.4
年齢	30歳代未満	126	57.9	23.0	14.3	4.0	0.8
	30歳代	115	50.4	24.3	19.1	5.2	0.9
	40歳代	207	44.4	31.9	15.9	7.2	0.5
	50歳代	237	40.1	31.2	20.3	6.8	1.7
	60歳代	265	31.3	30.9	21.1	13.6	3.0
	70歳代以上	278	27.0	24.5	20.1	17.6	10.8

単位：%

		母数(n)	⑥男性同性愛者には女性的な人が多い				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	8.6	25.3	33.4	25.2	7.6
性別	男	548	8.9	25.2	33.9	24.8	7.1
	女	672	8.3	25.7	33.6	25.6	6.7
年齢	30歳代未満	126	11.1	15.9	45.2	25.4	2.4
	30歳代	115	6.1	29.6	33.0	27.8	3.5
	40歳代	207	7.2	30.9	34.8	24.6	2.4
	50歳代	237	5.5	26.6	34.2	31.6	2.1
	60歳代	265	6.4	26.4	37.0	24.9	5.3
	70歳代以上	278	14.4	22.3	25.2	19.4	18.7

単位：%

		母数(n)	⑦女性同性愛者には男性的な人が多い				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	6.6	21.9	37.3	26.7	7.6
性別	男	548	6.4	20.1	39.6	27.2	6.8
	女	672	7.0	23.4	36.2	26.6	6.8
年齢	30歳代未満	126	10.3	14.3	45.2	27.8	2.4
	30歳代	115	4.3	22.6	40.0	30.4	2.6
	40歳代	207	5.8	25.1	42.0	25.1	1.9
	50歳代	237	3.4	23.6	37.1	32.9	3.0
	60歳代	265	4.5	23.0	40.8	26.4	5.3
	70歳代以上	278	11.5	20.5	28.1	21.6	18.3

単位：%

		母数(n)	⑧性同一性障害のために戸籍の性別変更を望む人は、同性愛者である				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	6.6	17.0	32.9	35.0	8.5
性別	男	548	6.6	13.7	36.3	36.3	7.1
	女	672	6.7	19.6	31.1	34.1	8.5
年齢	30歳代未満	126	9.5	12.7	37.3	38.9	1.6
	30歳代	115	5.2	27.0	28.7	36.5	2.6
	40歳代	207	4.8	16.9	33.3	42.0	2.9
	50歳代	237	5.1	14.8	39.2	38.4	2.5
	60歳代	265	6.0	18.9	34.7	33.2	7.2
	70歳代以上	278	8.6	14.7	28.1	27.3	21.2

単位：%

		母数(n)	⑨自分の身内には同性愛者はいてほしくない				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	19.3	26.6	27.1	22.0	5.0
性別	男	548	23.5	28.1	24.1	19.3	4.9
	女	672	15.5	25.7	30.4	24.6	3.9
年齢	30歳代未満	126	10.3	15.1	26.2	47.6	0.8
	30歳代	115	8.7	27.0	36.5	27.0	0.9
	40歳代	207	12.1	26.6	34.8	24.6	1.9
	50歳代	237	11.4	31.2	32.1	23.2	2.1
	60歳代	265	23.0	27.5	27.9	17.4	4.2
	70歳代以上	278	35.3	27.7	14.7	11.2	11.2

「⑤学生の制服は性別に関係なくスカート、ズボン（パンツ）を自由に選べる方がいい」について、７割近い人が”そう思う”と回答しています。性別に関わらず、一人ひとりが個性に応じて自由な選択ができる方法を検討する必要があります。

（６）インターネットによる人権侵害について

●問 15　インターネットによる人権侵害に関して、次のような意見があります。それぞれについて､あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。

【全体】

○　インターネットによる人権侵害に関する意見について、いずれも約５～６割が「そう思う」と回答しています。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”は、いずれも８割以上となっています。

○　「②インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、プロバイダーへの情報停止・削除を求めるべきだ」は、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”が１割を超えています。

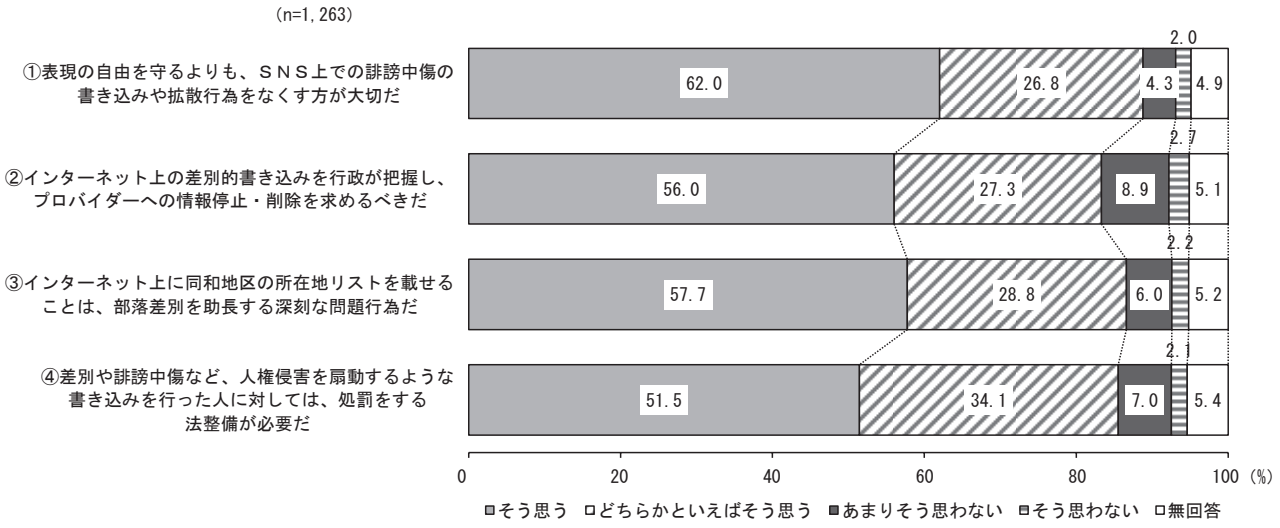
【年齢】

○　「①表現の自由を守るよりも、ＳＮＳ上での誹謗中傷の書き込みや拡散行為をなくす方が大切だ」について「そう思う」割合は、30 歳代以上では６割を超えているのに対し、30 歳代未満では約５割となっています。

○　「②インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、プロバイダーへの情報停止・削除を求めるべきだ」について、60 歳代のみ“そう思う”が９割を超えています。

○　「③インターネット上に同和地区の所在地リストを載せることは、部落差別を助長する深刻な問題行為だ」について“そう思う”割合は、30 歳代未満が最も多く、９割を超えています。

○　「④差別や誹謗中傷など、人権侵害を扇動するような書き込みを行った人に対しては、処罰をする法整備が必要だ」について、30 歳代、50 歳代では「そう思う」が約６割となっています。“そう思う”割合は、50 歳代以下で約９割、60 歳代以上で約８割となっています。



単位：%

		母数(n)	①表現の自由を守るよりも、ＳＮＳ上での誹謗中傷の書き込みや拡散行為をなくす方が大切だ そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	62.0	26.8	4.3	2.0	4.9
性別	男	548	63.0	24.6	5.7	2.9	3.8
	女	672	61.5	29.5	3.3	1.3	4.5
年齢	30歳代未満	126	53.2	33.3	8.7	4.0	0.8
	30歳代	115	67.0	25.2	3.5	2.6	1.7
	40歳代	207	64.3	28.5	3.9	2.9	0.5
	50歳代	237	62.0	30.0	4.2	1.7	2.1
	60歳代	265	61.1	28.7	4.2	1.5	4.5
	70歳代以上	278	63.7	21.6	3.2	1.1	10.4

単位：%

		母数(n)	②インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、プロバイダーへの情報停止・削除を求めるべきだ そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	56.0	27.3	8.9	2.7	5.1
性別	男	548	54.9	26.5	10.8	4.2	3.6
	女	672	57.1	28.9	7.3	1.6	5.1
年齢	30歳代未満	126	50.8	26.2	16.7	5.6	0.8
	30歳代	115	62.6	24.3	7.8	2.6	2.6
	40歳代	207	57.5	25.6	13.0	3.4	0.5
	50歳代	237	57.0	27.0	10.1	4.2	1.7
	60歳代	265	55.1	35.1	4.5	1.1	4.2
	70歳代以上	278	55.4	24.8	6.1	1.4	12.2

単位：%

		母数(n)	③インターネット上に同和地区の所在地リストを載せることは、部落差別を助長する深刻な問題行為だ そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	57.7	28.8	6.0	2.2	5.2
性別	男	548	57.7	27.0	7.8	3.6	3.8
	女	672	58.3	30.8	4.8	1.0	5.1
年齢	30歳代未満	126	66.7	25.4	6.3	0.8	0.8
	30歳代	115	60.0	29.6	4.3	3.5	2.6
	40歳代	207	51.2	35.7	8.2	4.3	0.5
	50歳代	237	59.5	28.7	7.6	2.1	2.1
	60歳代	265	57.4	30.9	4.9	1.5	5.3
	70歳代以上	278	57.6	24.5	5.0	1.4	11.5

単位：%

		母数(n)	④差別や誹謗中傷など、人権侵害を扇動するような書き込みを行った人に対しては、処罰をする法整備が必要だ そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	51.5	34.1	7.0	2.1	5.4
性別	男	548	53.1	31.4	8.8	2.9	3.8
	女	672	50.7	37.1	5.5	1.3	5.4
年齢	30歳代未満	126	47.6	42.9	6.3	2.4	0.8
	30歳代	115	60.0	28.7	7.8	0.9	2.6
	40歳代	207	54.6	40.1	2.9	1.9	0.5
	50歳代	237	59.1	30.8	5.5	2.1	2.5
	60歳代	265	48.7	34.7	9.8	2.3	4.5
	70歳代以上	278	45.3	31.7	8.6	2.2	12.2

●問 16　パソコン、スマートフォン、タブレットなどインターネット端末で、次のような書き込みや内容を見かけたことはありますか。(いちばん印象に残っているものに１つ○をつけてください)

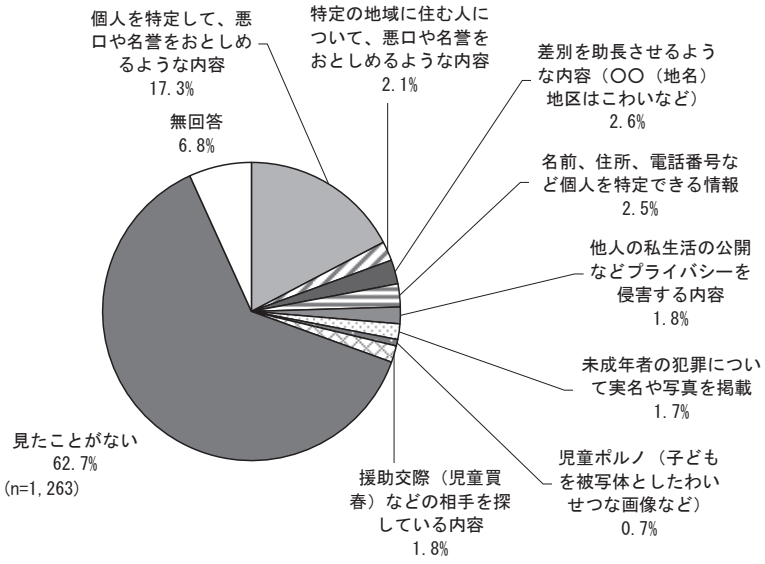
【全体】

○　インターネット端末で見かけた書き込みや内容について、「見たことがない」が 62.7%で最も多く、次いで「個人を特定して、悪口や名誉をおとしめるような内容」が 17.3%、「差別を助長させるような内容（○○（地名）地区はこわいなど)」が 2.6%となっています。

【年齢】

○　30 歳代未満では「個人を特定して、悪口や名誉をおとしめるような内容」が 38.9%で最も多く、その他の年代では「見たことがない」が最も多くなっています。

【インターネット端末で見かけた書き込みや内容】



単位：%

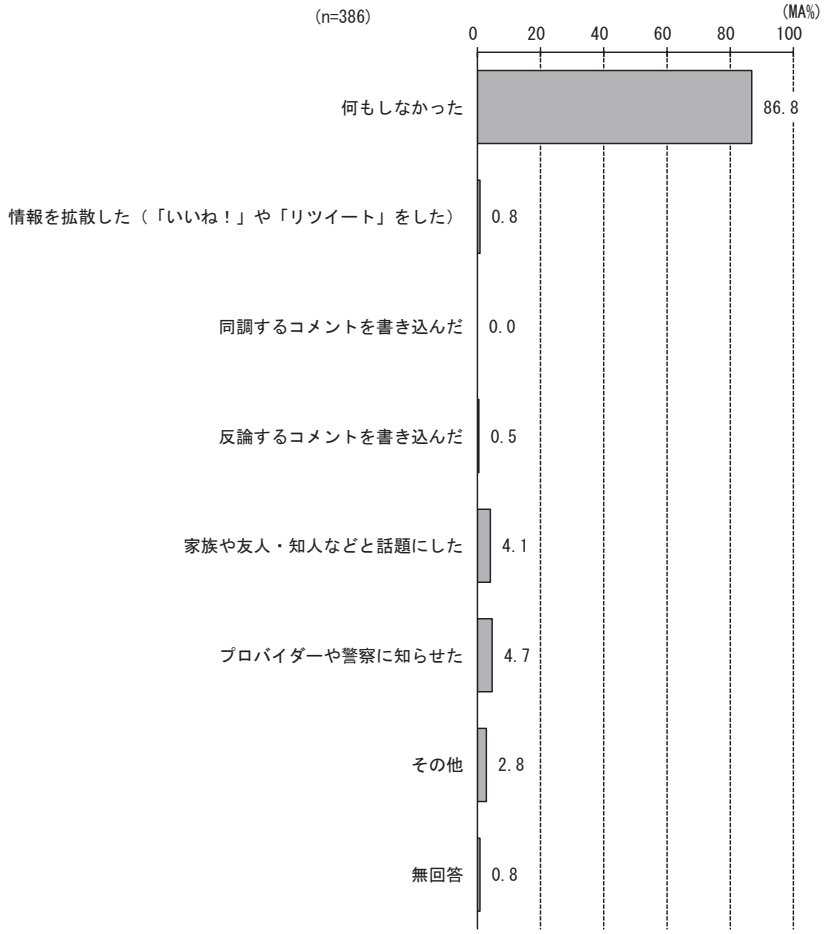
		母数(n)	インターネット端末で見かけた書き込みや内容									
			個人を特定して、悪口や名誉をおとしめるような内容	特定の地域に住む人について、悪口や名誉をおとしめるような内容	差別を助長させるような内容（○○（地名）地区はこわいなど）	名前、住所、電話番号など個人を特定できる情報	他人の私生活の公開などプライバシーを侵害する内容	未成年者の犯罪について実名や写真を掲載	児童ポルノ（子どもを被写体としたわいせつな画像など）	援助交際（児童買春）などの相手を探している内容	見たことがない	無回答
全体		1,263	17.3	2.1	2.6	2.5	1.8	1.7	0.7	1.8	62.7	6.8
性別	男	548	18.4	2.7	4.6	4.0	1.3	1.8	1.1	1.6	58.9	5.5
	女	672	17.3	1.6	1.2	1.5	2.2	1.5	0.4	1.9	66.1	6.3
年齢	30歳代未満	126	38.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	－	2.4	38.1	0.8
	30歳代	115	33.0	4.3	4.3	3.5	0.9	4.3	0.9	1.7	45.2	1.7
	40歳代	207	23.7	2.4	4.3	4.8	3.4	1.4	0.5	2.9	54.1	2.4
	50歳代	237	16.9	3.4	2.1	2.1	2.1	2.1	1.3	2.1	66.2	1.7
	60歳代	265	9.8	0.8	2.3	1.9	1.5	0.8	0.4	0.8	76.6	5.3
	70歳代以上	278	5.8	0.7	1.1	1.1	0.4	0.4	1.1	1.4	71.9	16.2

●問 17　問 16 で「見たことがない」以外を選んだ方にお聞きします。あなたはその書き込みや内容を見た後、どうしましたか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

【全体】

○　書き込みや内容を見た後にしたことについて、「何もしなかった」が 86.8%で最も多く、次いで「プロバイダーや警察に知らせた」が 4.7%、「家族や友人・知人などと話題にした」が 4.1%となっています。

【書き込みや内容を見た後にしたこと(MA)】



単位：%

		母数(n)	書き込みや内容を見た後にしたこと(MA)							
			何もしなかった	情報を拡散した（「いいね！」や「リツイート」をした）	同調するコメントを書き込んだ	反論するコメントを書き込んだ	家族や友人・知人などと話題にした	プロバイダーや警察に知らせた	その他	無回答
全体		386	86.8	0.8	－	0.5	4.1	4.7	2.8	0.8
性別	男	195	87.7	1.0	－	0.5	3.6	4.6	2.6	－
	女	186	85.5	0.5	－	0.5	4.8	4.8	3.2	1.6
年齢	30歳代未満	77	89.6	1.3	－	－	1.3	5.2	3.9	－
	30歳代	61	95.1	－	－	1.6	1.6	3.3	－	－
	40歳代	90	84.4	2.2	－	－	4.4	4.4	4.4	－
	50歳代	76	84.2	－	－	－	6.6	6.6	1.3	1.3
	60歳代	48	83.3	－	－	2.1	6.3	4.2	2.1	2.1
	70歳代以上	33	81.8	－	－	－	6.1	3.0	6.1	3.0

（７）住まいを選ぶときの考え方について

●問 18　あなたが、住宅を購入したり、借りたりするなど、住まいを選ぶ際に、価格や立地条件が希望にあっていても、次のような条件の物件の場合、避けることがあると思いますか。次にあげる①～⑧のすべてについてお答えください。（○はそれぞれ１つ）

【全体】

○　住まいを選ぶ際の条件について、「避けると思う」が最も多いのは「⑧同和地区の地域内である」（37.7%）で、次いで「③近隣に精神科の病院がある」（18.4%）となっています。

○　一方で、「全く気にしない」が最も多いのは「②近隣に老人ホームなどの高齢者施設がある」（52.2%）で、次いで「①近隣に保育所（園）や幼稚園がある」（51.1%）となっています。「②近隣に老人ホームなどの高齢者施設がある」は、「どちらかといえば避けないと思う」と「全く気にしない」を合わせた“避けないと思う”が８割を超えています。

○　「⑥近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる」、「⑦近隣に同和地区がある」は、「避けると思う」と「どちらかといえば避けると思う」を合わせた“避けると思う”と“避けないと思う”がほぼ同率となっています。

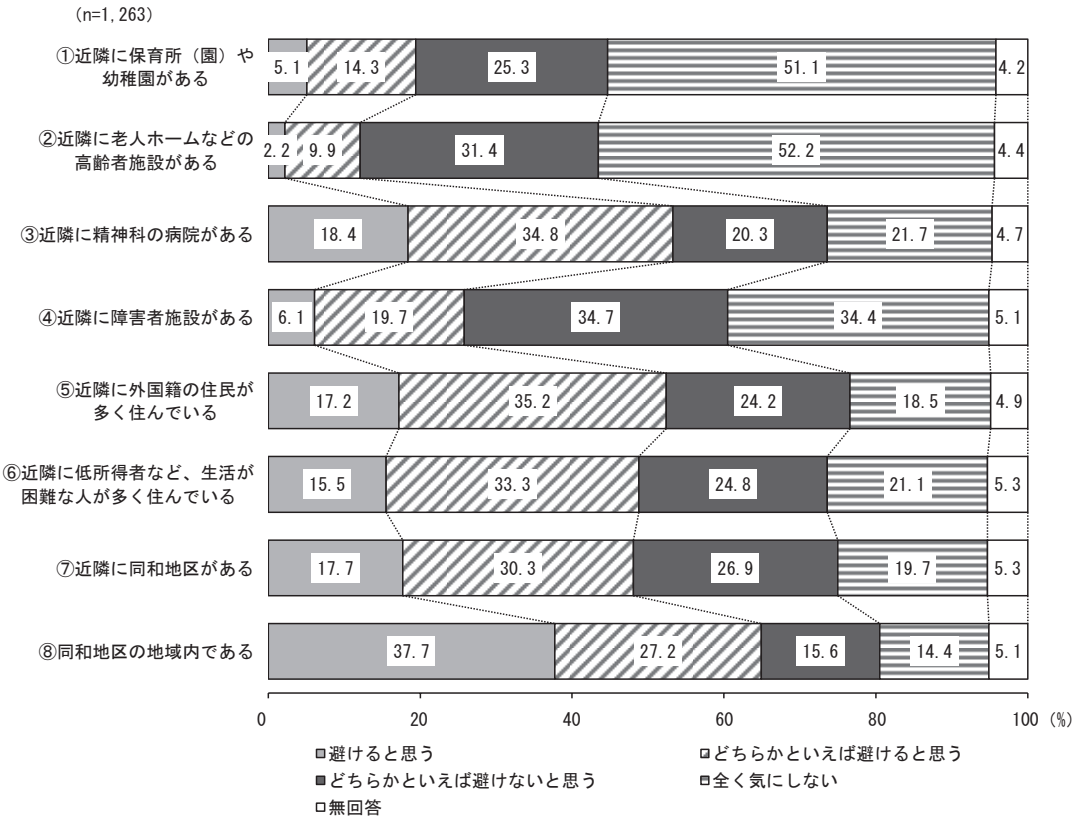
【年齢】

○　「①近隣に保育所（園）や幼稚園がある」について、30 歳代、40 歳代、50 歳代では“避けると思う”が２割以上となっています。

○　「③近隣に精神科の病院がある」、「⑤近隣に外国籍の住民が多く住んでいる」、「⑦近隣に同和地区がある」、「⑧同和地区の地域内である」について、30 歳代未満のみ「全く気にしない」が約３～４割となっています。

○　「④近隣に障害者施設がある」について、どの年代も“全く気にしない”が約３～４割であるのに対し、30 歳代のみ“避けると思う”が４割となっています。

○　「⑥近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる」について、年代が上がるにつれて“避けないと思う”が多くなる傾向がみられます。



単位：%

		母数(n)	①近隣に保育所（園）や幼稚園がある 避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	無回答
全体		1,263	5.1	14.3	25.3	51.1	4.2
性別	男	548	6.4	13.0	22.8	54.9	2.9
	女	672	4.0	15.8	28.3	47.9	4.0
年齢	30歳代未満	126	6.3	8.7	31.7	51.6	1.6
	30歳代	115	7.0	13.0	25.2	53.0	1.7
	40歳代	207	7.7	20.3	22.2	49.3	0.5
	50歳代	237	5.1	16.5	30.0	46.0	2.5
	60歳代	265	2.3	14.0	27.5	52.1	4.2
	70歳代以上	278	4.0	12.2	19.8	56.5	7.6

単位：%

		母数(n)	②近隣に老人ホームなどの高齢者施設がある 避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	無回答
全体		1,263	2.2	9.9	31.4	52.2	4.4
性別	男	548	2.6	10.8	28.5	55.1	3.1
	女	672	2.1	9.2	35.0	49.6	4.2
年齢	30歳代未満	126	5.6	7.9	35.7	49.2	1.6
	30歳代	115	1.7	12.2	36.5	47.8	1.7
	40歳代	207	1.9	11.1	33.8	52.7	0.5
	50歳代	237	1.3	9.7	32.9	53.6	2.5
	60歳代	265	1.5	9.1	31.3	54.3	3.8
	70歳代以上	278	2.9	8.6	26.3	53.6	8.6

単位：%

		母数(n)	③近隣に精神科の病院がある 避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	無回答
全体		1,263	18.4	34.8	20.3	21.7	4.7
性別	男	548	17.9	31.9	22.1	24.5	3.6
	女	672	19.2	37.9	19.5	18.9	4.5
年齢	30歳代未満	126	18.3	29.4	19.8	31.0	1.6
	30歳代	115	24.3	35.7	17.4	20.9	1.7
	40歳代	207	25.1	34.8	16.9	22.2	1.0
	50歳代	237	16.9	40.1	20.7	19.0	3.4
	60歳代	265	15.5	38.5	21.1	21.1	3.8
	70歳代以上	278	15.8	29.5	24.5	20.9	9.4

単位：%

		母数(n)	④近隣に障害者施設がある 避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	無回答
全体		1,263	6.1	19.7	34.7	34.4	5.1
性別	男	548	7.7	17.7	33.4	37.2	4.0
	女	672	4.8	21.9	36.9	31.7	4.8
年齢	30歳代未満	126	8.7	18.3	36.5	34.9	1.6
	30歳代	115	11.3	28.7	32.2	26.1	1.7
	40歳代	207	7.2	22.7	31.9	37.2	1.0
	50歳代	237	5.5	17.7	36.3	37.1	3.4
	60歳代	265	4.2	17.4	39.6	34.7	4.2
	70歳代以上	278	4.0	18.3	33.1	34.2	10.4

単位：%

		母数(n)	⑤近隣に外国籍の住民が多く住んでいる 避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	無回答
全体		1,263	17.2	35.2	24.2	18.5	4.9
性別	男	548	19.7	34.7	23.2	19.0	3.5
	女	672	15.0	36.0	26.0	18.0	4.9
年齢	30歳代未満	126	16.7	20.6	27.8	31.7	3.2
	30歳代	115	21.7	37.4	23.5	15.7	1.7
	40歳代	207	21.3	35.7	24.6	17.4	1.0
	50歳代	237	19.8	37.1	21.5	18.1	3.4
	60歳代	265	12.5	43.4	25.7	15.8	2.6
	70歳代以上	278	14.4	32.0	25.2	18.3	10.1

単位：%

		母数(n)	⑥近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる 避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	無回答
全体		1,263	15.5	33.3	24.8	21.1	5.3
性別	男	548	16.4	30.5	24.6	24.8	3.6
	女	672	15.2	36.5	25.3	17.6	5.5
年齢	30歳代未満	126	25.4	31.0	19.0	23.0	1.6
	30歳代	115	27.0	39.1	18.3	13.0	2.6
	40歳代	207	21.7	36.2	20.8	20.3	1.0
	50歳代	237	16.5	37.1	23.2	19.4	3.8
	60歳代	265	9.8	37.0	32.5	18.1	2.6
	70歳代以上	278	7.6	24.1	27.7	28.8	11.9

単位：%

		母数(n)	⑦近隣に同和地区がある				
			避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	無回答
全体		1,263	17.7	30.3	26.9	19.7	5.3
性別	男	548	17.3	28.5	26.1	24.5	3.6
	女	672	17.9	32.7	28.0	15.9	5.5
年齢	30歳代未満	126	16.7	23.8	22.2	35.7	1.6
	30歳代	115	19.1	33.9	25.2	19.1	2.6
	40歳代	207	24.2	32.4	24.2	18.4	1.0
	50歳代	237	17.3	30.4	27.4	21.1	3.8
	60歳代	265	15.5	32.5	32.5	16.6	3.0
	70歳代以上	278	15.1	29.9	26.3	17.3	11.5

単位：%

		母数(n)	⑧同和地区の地域内である				
			避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	無回答
全体		1,263	37.7	27.2	15.6	14.4	5.1
性別	男	548	37.4	23.7	16.4	19.0	3.5
	女	672	38.2	30.7	15.2	10.6	5.4
年齢	30歳代未満	126	29.4	27.0	15.1	27.0	1.6
	30歳代	115	41.7	27.8	13.0	14.8	2.6
	40歳代	207	47.8	23.7	13.5	13.5	1.4
	50歳代	237	40.9	28.7	13.1	13.9	3.4
	60歳代	265	35.8	30.2	19.2	11.3	3.4
	70歳代以上	278	31.7	27.3	16.9	13.7	10.4

（８）様々な人権について

●問 19　様々な人権に関して、次のような意見があります。それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。

【全体】

○　様々な人権に関する意見について、「そう思う」が最も多いのは「⑨高齢者が恋愛や結婚をしたいと思うのは本人の自由だ」（58.0％）で、次いで「②同じ働きぶりでも男女で昇進に差があることや、高い地位につく人に男性が多いことは問題だ」（35.9％）となっています。「⑨高齢者が恋愛や結婚をしたいと思うのは本人の自由だ」について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”割合は、８割を超えています。

○　一方で、「そう思わない」が最も多いのは「⑥収入の低い家庭の子どもが大学に進学できないのはやむを得ないことだ」（54.6％）で、次いで「①夫婦間やパートナー間での暴力の問題は、家庭内または本人同士で解決すればよい」（37.6％）となっています。「⑥収入の低い家庭の子どもが大学に進学できないのはやむを得ないことだ」について、「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた“そう思わない”割合は、８割を超えています。

○　「③子どもが３歳になるまでは、母親は育児に専念するほうがいい」は、“そう思う”と“そう思わない”がほぼ同率となっています。

【性別】

○　「①夫婦間やパートナー間での暴力の問題は、家庭内または本人同士で解決すればよい」、「③子どもが３歳になるまでは、母親は育児に専念するほうがいい」について“そう思う”割合は、女性よりも男性の方が多くなっています。

○　「②同じ働きぶりでも男女で昇進に差があることや、高い地位につく人に男性が多いことは問題だ」について“そう思う”割合は、男性よりも女性の方が多くなっています。

【年齢】

○　「①夫婦間やパートナー間での暴力の問題は、家庭内または本人同士解決すればよい」、「③子どもが３歳になるまでは、母親は育児に専念するほうがいい」について、70 歳代以上のみ“そう思う”割合が、それぞれ４割、６割を超えています。

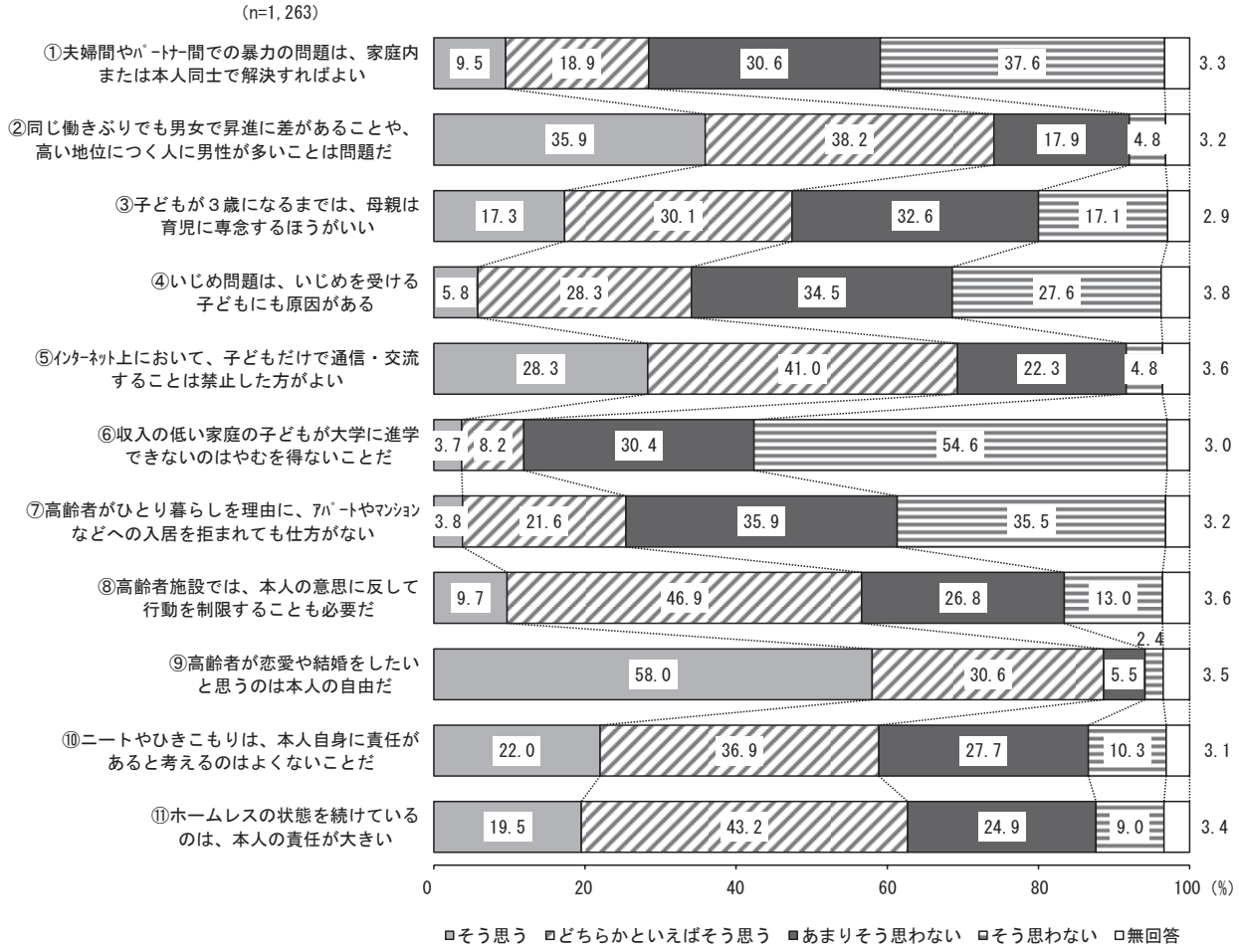
○　「⑩ニートやひきこもりは、本人自身に責任があると考えるのはよくないことだ」について“そう思う”割合は、50 歳代以下に比べて 60 歳代以上では多くなっています。

○　「④いじめ問題は、いじめを受ける子どもにも原因がある」について“そう思う”割合は、40 歳代以下では約４～５割であるのに対し、50 歳代以上では約３割となっています。

○　「③子どもが３歳になるまでは、母親は育児に専念するほうがいい」、「⑤インターネット上において、子どもだけで通信・交流することは禁止した方がよい」について“そう思う”割合は、年代が上がるにつれて多くなる傾向がみられます。

○　「⑦高齢者がひとり暮らしを理由に、アパートやマンションなどへの入居を拒まれても仕方がない」について“そう思う”割合は、年代が下がるにつれて多くなる傾向がみられます。

○　「⑨高齢者が恋愛や結婚をしたいと思うのは本人の自由だ」について「そう思う」割合は、40 歳代以上では約５～６割であるのに対し、30 歳代以下では７割を超えています。



単位：%

		母数(n)	①夫婦間やﾊﾟｰﾄﾅｰ間での暴力の問題は、家庭内または本人同士で解決すればよい				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	9.5	18.9	30.6	37.6	3.3
性別	男	548	12.8	23.2	30.7	30.8	2.6
	女	672	7.1	15.6	30.8	43.8	2.7
年齢	30歳代未満	126	8.7	13.5	37.3	38.9	1.6
	30歳代	115	6.1	20.9	30.4	41.7	0.9
	40歳代	207	7.2	14.5	40.6	37.7	－
	50歳代	237	5.9	14.8	29.1	49.8	0.4
	60歳代	265	9.1	19.2	32.5	36.6	2.6
	70歳代以上	278	16.5	27.3	20.5	28.1	7.6

単位：%

		母数(n)	②同じ働きぶりでも男女で昇進に差があることや、高い地位につく人に男性が多いことは問題だ				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	35.9	38.2	17.9	4.8	3.2
性別	男	548	30.8	38.7	22.3	6.0	2.2
	女	672	40.8	38.8	14.1	3.6	2.7
年齢	30歳代未満	126	49.2	34.1	11.1	4.0	1.6
	30歳代	115	43.5	36.5	14.8	4.3	0.9
	40歳代	207	38.2	40.1	16.4	5.3	－
	50歳代	237	41.4	40.9	13.9	3.4	0.4
	60歳代	265	29.4	43.4	22.3	3.0	1.9
	70歳代以上	278	28.1	34.5	21.9	7.9	7.6

単位：%

		母数(n)	③子どもが３歳になるまでは、母親は育児に専念するほうがいい				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	17.3	30.1	32.6	17.1	2.9
性別	男	548	18.6	33.2	29.2	17.0	2.0
	女	672	15.9	27.7	36.2	17.9	2.4
年齢	30歳代未満	126	11.9	21.4	46.8	18.3	1.6
	30歳代	115	8.7	34.8	33.0	22.6	0.9
	40歳代	207	12.1	23.2	40.1	24.6	－
	50歳代	237	15.2	32.1	30.8	21.5	0.4
	60歳代	265	16.2	34.7	34.0	12.8	2.3
	70歳代以上	278	29.1	31.7	22.7	10.4	6.1

単位：%

		母数(n)	④いじめ問題は、いじめを受ける子どもにも原因がある				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	5.8	28.3	34.5	27.6	3.8
性別	男	548	6.6	30.3	32.5	28.3	2.4
	女	672	5.4	27.2	36.5	27.2	3.7
年齢	30歳代未満	126	14.3	34.9	21.4	27.8	1.6
	30歳代	115	3.5	36.5	40.0	19.1	0.9
	40歳代	207	6.8	34.8	33.8	24.2	0.5
	50歳代	237	3.4	25.7	43.0	27.0	0.8
	60歳代	265	4.5	26.0	35.5	31.3	2.6
	70歳代以上	278	6.1	21.6	32.4	30.9	9.0

単位：%

		母数(n)	⑤ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ上において、子どもだけで通信・交流することは禁止した方がよい				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	28.3	41.0	22.3	4.8	3.6
性別	男	548	31.4	36.7	23.7	5.8	2.4
	女	672	26.0	44.9	21.9	3.7	3.4
年齢	30歳代未満	126	19.0	32.5	32.5	14.3	1.6
	30歳代	115	24.3	41.7	28.7	4.3	0.9
	40歳代	207	29.5	39.6	26.6	4.3	－
	50歳代	237	23.2	47.3	25.7	3.4	0.4
	60歳代	265	28.3	45.7	18.9	4.2	3.0
	70歳代以上	278	37.4	37.4	14.0	2.9	8.3

単位：%

		母数(n)	⑥収入の低い家庭の子どもが大学に進学できないのはやむを得ないことだ				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	3.7	8.2	30.4	54.6	3.0
性別	男	548	4.6	9.1	33.0	51.5	1.8
	女	672	3.1	7.3	29.2	57.7	2.7
年齢	30歳代未満	126	7.9	10.3	31.0	49.2	1.6
	30歳代	115	2.6	9.6	37.4	49.6	0.9
	40歳代	207	4.8	7.2	36.2	51.7	－
	50歳代	237	3.4	6.3	25.3	64.6	0.4
	60歳代	265	2.3	9.1	32.1	54.0	2.6
	70歳代以上	278	3.2	7.9	27.0	55.8	6.1

単位：%

		母数(n)	⑦高齢者がひとり暮らしを理由に、ｱﾊﾟｰﾄやﾏﾝｼｮﾝなどへの入居を拒まれても仕方がない				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	3.8	21.6	35.9	35.5	3.2
性別	男	548	4.2	20.4	33.9	39.1	2.4
	女	672	3.4	22.8	38.1	33.2	2.5
年齢	30歳代未満	126	6.3	28.6	28.6	34.9	1.6
	30歳代	115	5.2	27.0	45.2	21.7	0.9
	40歳代	207	4.8	24.6	40.1	30.4	－
	50歳代	237	2.5	20.3	34.2	42.2	0.8
	60歳代	265	3.4	16.6	40.4	37.0	2.6
	70歳代以上	278	3.2	20.5	30.2	39.6	6.5

単位：%

		母数(n)	⑧高齢者施設では、本人の意思に反して行動を制限することも必要だ				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	9.7	46.9	26.8	13.0	3.6
性別	男	548	12.4	46.2	25.4	13.7	2.4
	女	672	7.3	48.2	28.6	12.6	3.3
年齢	30歳代未満	126	15.1	54.0	15.9	12.7	2.4
	30歳代	115	13.9	59.1	20.0	6.1	0.9
	40歳代	207	9.7	50.2	29.0	10.6	0.5
	50歳代	237	8.9	47.3	30.0	13.5	0.4
	60歳代	265	6.8	43.4	31.7	15.5	2.6
	70歳代以上	278	9.0	40.3	27.0	15.5	8.3

単位：%

		母数(n)	⑨高齢者が恋愛や結婚をしたいと思うのは本人の自由だ				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	58.0	30.6	5.5	2.4	3.5
性別	男	548	61.3	28.8	4.9	2.7	2.2
	女	672	56.7	31.8	6.1	2.2	3.1
年齢	30歳代未満	126	77.0	18.3	1.6	1.6	1.6
	30歳代	115	72.2	26.1	0.9	－	0.9
	40歳代	207	61.8	30.0	5.3	2.4	0.5
	50歳代	237	57.0	34.2	5.1	3.0	0.8
	60歳代	265	49.4	38.5	7.5	1.5	3.0
	70歳代以上	278	52.2	28.8	8.3	4.0	6.8

単位：%

		母数(n)	⑩ニートやひきこもりは、本人自身に責任があると考えるのはよくないことだ				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	22.0	36.9	27.7	10.3	3.1
性別	男	548	19.9	34.9	30.8	12.2	2.2
	女	672	23.8	38.7	25.9	8.9	2.7
年齢	30歳代未満	126	15.1	32.5	37.3	12.7	2.4
	30歳代	115	18.3	36.5	28.7	15.7	0.9
	40歳代	207	15.5	32.4	37.2	14.5	0.5
	50歳代	237	19.8	40.9	28.3	10.5	0.4
	60歳代	265	25.7	40.0	25.7	6.4	2.3
	70歳代以上	278	30.6	36.7	18.3	7.9	6.5

単位：%

		母数(n)	⑪ホームレスの状態を続けているのは、本人の責任が大きい				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	19.5	43.2	24.9	9.0	3.4
性別	男	548	21.9	43.8	23.7	8.8	1.8
	女	672	17.6	43.8	26.3	8.9	3.4
年齢	30歳代未満	126	22.2	36.5	31.7	7.9	1.6
	30歳代	115	17.4	42.6	29.6	8.7	1.7
	40歳代	207	21.7	44.0	25.1	8.2	1.0
	50歳代	237	13.5	50.6	27.4	7.6	0.8
	60歳代	265	14.3	47.5	26.0	9.4	2.6
	70歳代以上	278	27.7	37.8	17.6	10.4	6.5

（９）あなた自身の体験・経験について

●問 20　この５年位の間に、あなたは、人権を侵害されたことがありますか。（○はいずれか１つ）

【全体】

○　この５年で人権を侵害された経験について、「ある」が 13.1%、「ない」が 81.9%となっています。

【性別】

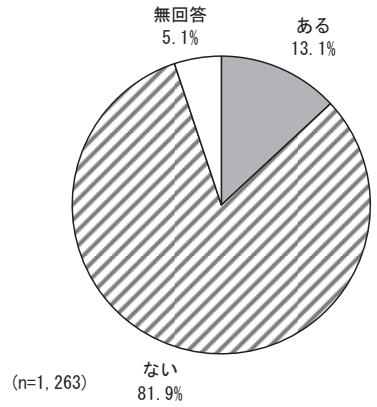
○　女性では男性に比べ「ある」がやや多くなっています。

【年齢】

○　40 歳代以下では「ある」が約２割となっています。特に 30 歳代未満では約４人に１人（24.6%）が「ある」と答えています。

○　60 歳代以上では、「ある」が１割未満となっています。

【この５年で人権を侵害された経験】



単位：%

		母数(n)	この５年で人権を侵害された経験		
			ある	ない	無回答
全体		1,263	13.1	81.9	5.1
性別	男	548	10.8	83.2	6.0
	女	672	14.6	82.1	3.3
年齢	30歳代未満	126	24.6	74.6	0.8
	30歳代	115	18.3	78.3	3.5
	40歳代	207	21.7	75.8	2.4
	50歳代	237	13.1	84.4	2.5
	60歳代	265	6.4	87.9	5.7
	70歳代以上	278	5.4	86.0	8.6

●問 20-2　どのような言動を受けましたか。（○はいくつでも）

【全体】

○　受けた言動について、「あらぬ噂をされたり、他人から悪口を言われたりした」が 44.2%で最も多く、次いで「職場において能力が正当に評価されず不当な扱いを受けた」が 30.9%、「仲間はずれや嫌がらせをされた」が 25.5%となっています。

【性別】

○　男性は女性に比べ、「職場において能力が正当に評価されず不当な扱いを受けた」が特に多くなっています。

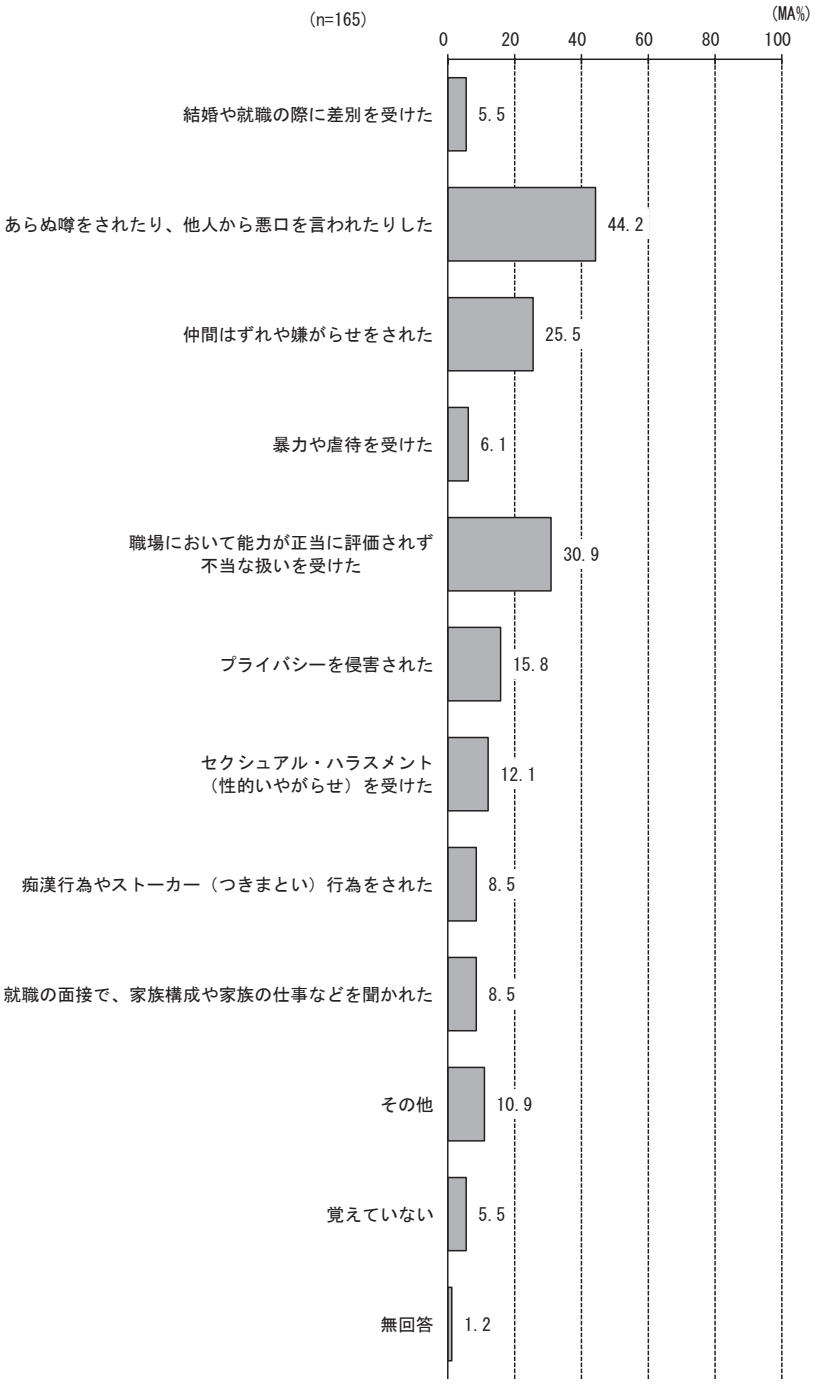
○　女性では男性に比べ「仲間はずれや嫌がらせをされた」、「セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）を受けた」、「痴漢行為やストーカー（つきまとい）行為をされた」などが多くなっています。

【年齢】

○　60 歳代以下では、「あらぬ噂をされたり、他人から悪口を言われたりした」が最も多くなっています。

○　70 歳代以上では、「プライバシーを侵害された」が 40.0%で最も多くなっています。

【受けた言動(MA)】


(n=165)
(MA%)
0
20
40
60
80
100
結婚や就職の際に差別を受けた
5.5
あらぬ噂をされたり、他人から悪口を言われたりした
44.2
仲間はずれや嫌がらせをされた
25.5
暴力や虐待を受けた
6.1
職場において能力が正当に評価されず
不当な扱いを受けた
30.9
プライバシーを侵害された
15.8
セクシュアル・ハラスメント
（性的いやがらせ）を受けた
12.1
痴漢行為やストーカー（つきまとい）行為をされた
8.5
就職の面接で、家族構成や家族の仕事などを聞かれた
8.5
その他
10.9
覚えていない
5.5
無回答
1.2

単位：%

		母数(n)	受けた言動(MA)												
			結婚や就職の際に差別を受けた	あらぬ噂をされたり、他人から悪口を言われたりした	仲間はずれや嫌がらせをされた	暴力や虐待を受けた	職場において能力が正当に評価されず不当な扱いを受けた	プライバシーを侵害された	セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）を受けた	痴漢行為やストーカー（つきまとい）行為をされた	就職の面接で、家族構成や家族の仕事などを聞かれた	その他	覚えていない	無回答
全体		165	5.5	44.2	25.5	6.1	30.9	15.8	12.1	8.5	8.5	10.9	5.5	1.2
性別	男	59	8.5	44.1	18.6	8.5	44.1	16.9	6.8	1.7	6.8	8.5	3.4	1.7
	女	98	4.1	43.9	30.6	4.1	25.5	15.3	16.3	13.3	10.2	12.2	5.1	－
年齢	30歳代未満	31	3.2	41.9	25.8	9.7	16.1	9.7	25.8	32.3	12.9	9.7	9.7	－
	30歳代	21	9.5	47.6	19.0	－	42.9	4.8	23.8	－	19.0	9.5	4.8	－
	40歳代	45	8.9	48.9	33.3	13.3	44.4	22.2	8.9	6.7	8.9	11.1	2.2	－
	50歳代	31	3.2	45.2	25.8	－	32.3	6.5	6.5	3.2	－	9.7	3.2	－
	60歳代	17	－	47.1	29.4	5.9	35.3	17.6	5.9	－	－	5.9	5.9	－
	70歳代以上	15	6.7	26.7	13.3	－	6.7	40.0	－	－	6.7	26.7	6.7	6.7

●問 20-3　どのように対応しましたか。（○はいくつでも）そのうち、相談して解決したものに◎をつけてください。

【全体】

○　対応内容について、「家族や友人に相談した」が 40.0%で最も多く、次いで「何もしないでそのままにした」が 35.8%、「相手に抗議した」が 21.2%となっています。

【性別】

○　男性では、「何もしないでそのままにした」が 42.4%で最も多く、次いで「家族や友人に相談した」、「職場の上司や同僚に相談した」が 23.7%となっています。

○　女性では、「家族や友人に相談した」が 52.0%で最も多く、次いで「何もしないでそのままにした」が 31.6%となっています。

【年齢】

○　50 歳代以下では、「家族や友人に相談した」が最も多くなっています。

【対応内容(MA)】

(n=165)
(MA%)
0
20
40
60
80
100
家族や友人に相談した
40.0
職場の上司や同僚に相談した
20.0
近所や地域の人に相談した
1.8
市役所で相談した
3.0
法務局や人権擁護委員に相談した
1.2
弁護士に相談した
2.4
学校の先生に相談した
1.8
警察に相談した
6.1
市民団体に相談した
1.2
民生委員児童委員に相談した
0.6
相手に抗議した
21.2
何もしないでそのままにした
35.8
その他
7.9
覚えていない
0.6
無回答
3.6

単位：%

		母数(n)	対応内容(MA)						
			家族や友人に相談した	職場の上司や同僚に相談した	近所や地域の人に相談した	市役所で相談した	法務局や人権擁護委員に相談した	弁護士に相談した	学校の先生に相談した
全体		165	40.0	20.0	1.8	3.0	1.2	2.4	1.8
性別	男	59	23.7	23.7	1.7	－	1.7	1.7	－
	女	98	52.0	19.4	1.0	4.1	1.0	3.1	3.1
年齢	30歳代未満	31	48.4	9.7	－	3.2	3.2	3.2	6.5
	30歳代	21	38.1	28.6	－	－	－	－	－
	40歳代	45	42.2	20.0	2.2	6.7	2.2	6.7	2.2
	50歳代	31	48.4	29.0	－	－	－	－	－
	60歳代	17	17.6	29.4	－	－	－	－	－
	70歳代以上	15	26.7	6.7	6.7	－	－	－	－

単位：%

		対応内容(MA)							
		警察に相談した	市民団体に相談した	民生委員児童委員に相談した	相手に抗議した	何もしないでそのままにした	その他	覚えていない	無回答
全体		6.1	1.2	0.6	21.2	35.8	7.9	0.6	3.6
性別	男	8.5	－	－	18.6	42.4	5.1	－	3.4
	女	5.1	2.0	1.0	22.4	31.6	10.2	1.0	2.0
年齢	30歳代未満	6.5	3.2	－	29.0	41.9	3.2	－	3.2
	30歳代	－	－	－	14.3	38.1	4.8	4.8	－
	40歳代	8.9	2.2	2.2	22.2	35.6	11.1	－	－
	50歳代	6.5	－	－	12.9	32.3	6.5	－	3.2
	60歳代	－	－	－	17.6	35.3	17.6	－	11.8
	70歳代以上	13.3	－	－	33.3	33.3	6.7	－	6.7

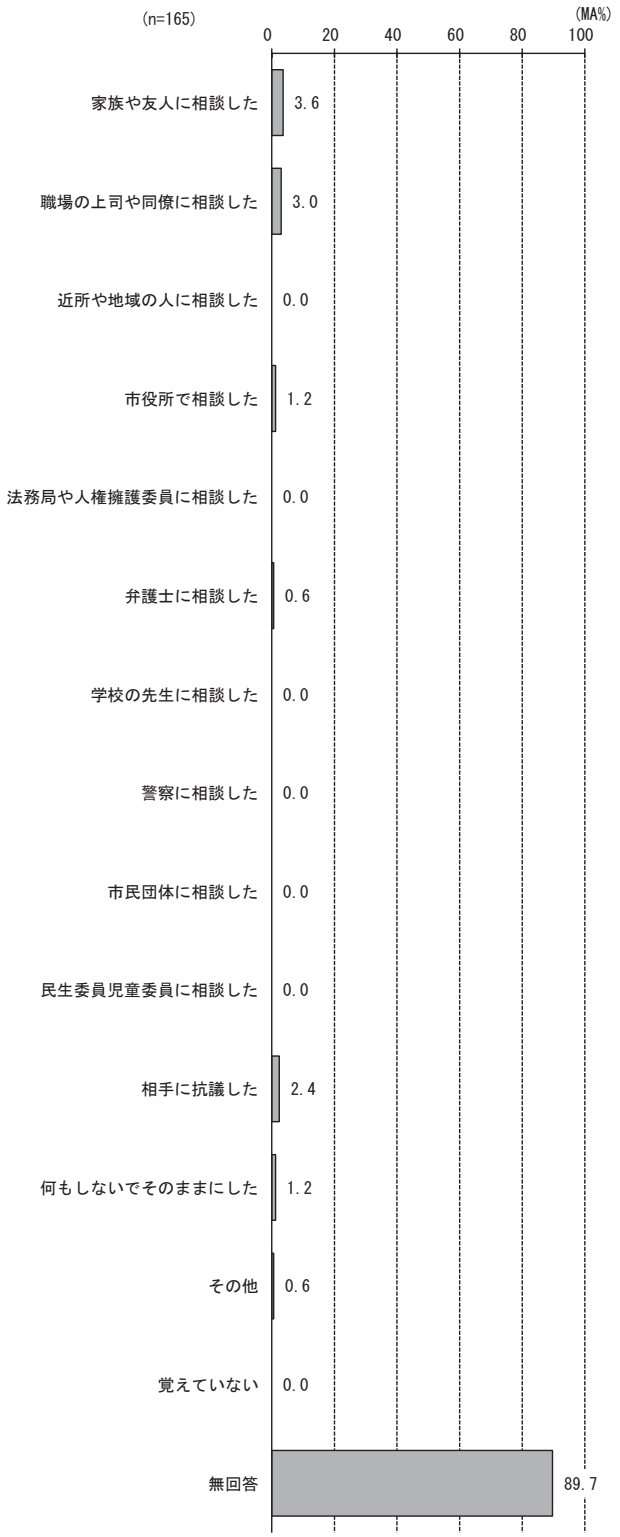
【全体】

○　相談して解決したものについて、「家族や友人に相談した」が 3.6%で最も多く、次いで「職場の上司や同僚に相談した」が 3.0%、「相手に抗議した」が 2.4%となっています。

【性別】

○　男性では、「職場の上司や同僚に相談した」が 3.4%で最も多く、女性では、「家族や友人に相談した」が 5.1%で最も多くなっています。

【相談して解決したもの(MA)】



単位：%

		母数(n)	相談して解決したもの(MA) 家族や友人に相談した	職場の上司や同僚に相談した	近所や地域の人に相談した	市役所で相談した	法務局や人権擁護委員に相談した	弁護士に相談した	学校の先生に相談した
全体		165	3.6	3.0	－	1.2	－	0.6	－
性別	男	59	1.7	3.4	－	－	－	－	－
	女	98	5.1	3.1	－	2.0	－	1.0	－
年齢	30歳代未満	31	3.2	－	－	3.2	－	－	－
	30歳代	21	－	－	－	－	－	－	－
	40歳代	45	6.7	2.2	－	2.2	－	2.2	－
	50歳代	31	3.2	12.9	－	－	－	－	－
	60歳代	17	－	－	－	－	－	－	－
	70歳代以上	15	6.7	－	－	－	－	－	－

単位：%

		相談して解決したもの(MA) 警察に相談した	市民団体に相談した	民生委員児童委員に相談した	相手に抗議した	何もしないでそのままにした	その他	覚えていない	無回答
全体		－	－	－	2.4	1.2	0.6	－	89.7
性別	男	－	－	－	1.7	1.7	－	－	91.5
	女	－	－	－	3.1	1.0	1.0	－	87.8
年齢	30歳代未満	－	－	－	6.5	3.2	－	－	90.3
	30歳代	－	－	－	－	－	－	－	100.0
	40歳代	－	－	－	－	2.2	－	－	88.9
	50歳代	－	－	－	3.2	－	3.2	－	77.4
	60歳代	－	－	－	5.9	－	－	－	94.1
	70歳代以上	－	－	－	－	－	－	－	93.3

●問 20-4　あなたが相談しても、解決しなかったのはどのような問題でしたか。

○　相談しても解決しなかった問題について、「職場での問題」が最も多くなっています。

項目	件数
職場での問題	24
性的被害	6
噂や悪口	3
障害に関する問題	2
子どもに関する問題	2
その他	12
分類不能	10
なし	6
	65

（１０）人権に関する市の取り組みについて

●問 21　あなたは、人権問題の解決に向けた次のような本市の施策を知っていますか。あてはまると思うものに○をつけてください。

【全体】

○　人権問題の解決に向けた本市の施策について、「知っている」が最も多いのは「②広報きしわだに様々な相談窓口の案内が掲載されていること」（50.3%）で、次いで「①広報きしわだ「人権の窓」」（36.1%）となっています。

○　一方で、「知らない」が最も多いのは「③人の輪」（80.7%）で、次いで「⑥校区別人権問題研修会「なるほど！　人権セミナー」」（79.9%）、「④人権を考える市民の集い」（78.9%）となっています。

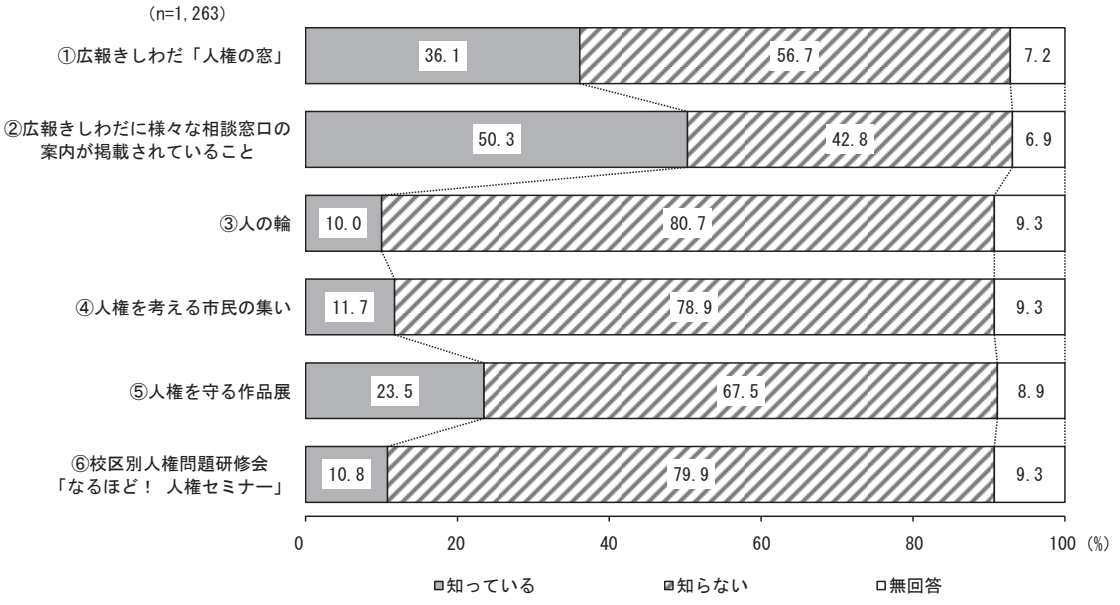
【性別】

○　「②広報きしわだに様々な相談窓口の案内が掲載されていること」、「⑤人権を守る作品展」について「知っている」割合は、男性よりも女性の方が多くなっています。

【年齢】

○　「①広報きしわだ「人権の窓」」、「②広報きしわだに様々な相談窓口の案内が掲載されていること」、「③人の輪」、「④人権を考える市民の集い」、「⑥校区別人権問題研修会「なるほど！人権セミナー」」については、50 歳代以上でその他の年代に比べ「知っている」が多くなっています。

○　「⑤人権を守る作品展」は、いずれの年代でも「知っている」が２割を超えています。



単位：%

		母数(n)	①広報きしわだ「人権の窓」 知っている	知らない	無回答
全体		1,263	36.1	56.7	7.2
性別	男	548	34.5	58.4	7.1
	女	672	37.6	56.1	6.3
年齢	30歳代未満	126	15.1	84.1	0.8
	30歳代	115	15.7	79.1	5.2
	40歳代	207	30.9	64.7	4.3
	50歳代	237	37.6	59.1	3.4
	60歳代	265	47.9	46.0	6.0
	70歳代以上	278	47.5	37.8	14.7

単位：%

		母数(n)	②広報きしわだに様々な相談窓口の案内が掲載されていること 知っている	知らない	無回答
全体		1,263	50.3	42.8	6.9
性別	男	548	43.2	50.0	6.8
	女	672	56.4	37.6	6.0
年齢	30歳代未満	126	23.0	76.2	0.8
	30歳代	115	41.7	53.0	5.2
	40歳代	207	47.8	47.8	4.3
	50歳代	237	53.6	43.5	3.0
	60歳代	265	57.7	35.8	6.4
	70歳代以上	278	60.8	25.9	13.3

単位：%

		母数(n)	③人の輪 知っている	知らない	無回答
全体		1,263	10.0	80.7	9.3
性別	男	548	10.0	81.4	8.6
	女	672	10.1	81.1	8.8
年齢	30歳代未満	126	4.0	95.2	0.8
	30歳代	115	6.1	88.7	5.2
	40歳代	207	2.9	92.3	4.8
	50歳代	237	13.1	81.9	5.1
	60歳代	265	14.0	76.6	9.4
	70歳代以上	278	13.3	68.0	18.7

単位：%

		母数(n)	④人権を考える市民の集い 知っている	知らない	無回答
全体		1,263	11.7	78.9	9.3
性別	男	548	12.2	79.0	8.8
	女	672	11.8	79.6	8.6
年齢	30歳代未満	126	4.0	95.2	0.8
	30歳代	115	10.4	84.3	5.2
	40歳代	207	6.3	88.9	4.8
	50歳代	237	11.0	84.4	4.6
	60歳代	265	18.1	73.2	8.7
	70歳代以上	278	15.8	64.4	19.8

単位：%

		母数(n)	⑤人権を守る作品展 知っている	知らない	無回答
全体		1,263	23.5	67.5	8.9
性別	男	548	18.1	73.0	8.9
	女	672	28.7	63.5	7.7
年齢	30歳代未満	126	24.6	74.6	0.8
	30歳代	115	23.5	71.3	5.2
	40歳代	207	23.7	72.0	4.3
	50歳代	237	25.3	70.5	4.2
	60歳代	265	24.5	66.0	9.4
	70歳代以上	278	22.3	59.7	18.0

単位：%

		母数(n)	⑥校区別人権問題研修会「なるほど！人権セミナー」 知っている	知らない	無回答
全体		1,263	10.8	79.9	9.3
性別	男	548	13.0	78.3	8.8
	女	672	9.5	82.0	8.5
年齢	30歳代未満	126	8.7	90.5	0.8
	30歳代	115	2.6	92.2	5.2
	40歳代	207	2.4	92.3	5.3
	50歳代	237	9.7	86.1	4.2
	60歳代	265	19.2	71.7	9.1
	70歳代以上	278	15.8	65.5	18.7

●問 21-2　それぞれの施策について、どのように感じましたか。それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。

【全体】

○　人権問題の解決に向けた本市の施策について、「利用（参加）して役に立った」、「利用（参加）したが役に立たなかった」を合わせた“利用（参加した）”が最も多いのは「⑤人権を守る作品展」となっています。

○　「機会があれば利用（参加）したい」が最も多いのは「②市の様々な相談窓口」（46.1%）となっています。その他の項目は、いずれも約３割となっています。

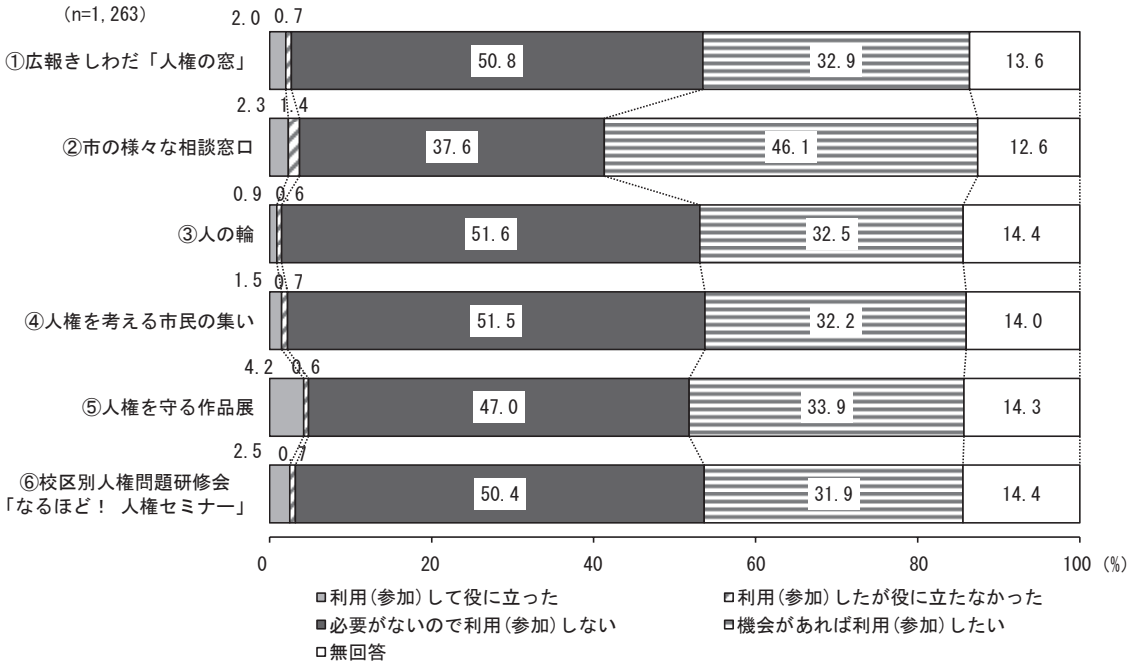
【性別】

○　「②市の様々な相談窓口」について、「機会があれば利用（参加）したい」が女性では５割を超え、男性では４割を超えています。

【年齢】

○　“利用（参加）した”割合は、40 歳代以下では「⑤人権を守る作品展」、50 歳代、70 歳代以上では「②市の様々な相談窓口」、60 歳代では「⑥校区別人権問題研修会「なるほど！　人権セミナー」」が最も多くなっています。

○　「機会があれば利用（参加）したい」割合は、30 歳代以下ではいずれの項目も４割以上となっています。40 歳代、50 歳代では「②市の様々な相談窓口」、「⑤人権を守る作品展」で約４～５割、60 歳代、70 歳代以上では「②市の様々な相談窓口」が約４割となっています。



単位：%

		母数(n)	①広報きしわだ「人権の窓」 利用（参加）して役に立った	利用（参加）したが役に立たなかった	必要がないので利用（参加）しない	機会があれば利用（参加）したい	無回答
全体		1,263	2.0	0.7	50.8	32.9	13.6
性別	男	548	2.7	1.3	49.8	32.7	13.5
	女	672	1.5	0.3	51.9	33.9	12.4
年齢	30歳代未満	126	2.4	0.8	49.2	43.7	4.0
	30歳代	115	0.9	－	47.8	43.5	7.8
	40歳代	207	1.4	1.0	52.7	34.8	10.1
	50歳代	237	2.1	0.8	54.0	34.2	8.9
	60歳代	265	3.4	0.8	52.8	31.3	11.7
	70歳代以上	278	1.4	0.7	47.8	25.5	24.5

単位：%

		母数(n)	②市の様々な相談窓口 利用（参加）して役に立った	利用（参加）したが役に立たなかった	必要がないので利用（参加）しない	機会があれば利用（参加）したい	無回答
全体		1,263	2.3	1.4	37.6	46.1	12.6
性別	男	548	2.7	1.5	42.2	40.1	13.5
	女	672	2.1	1.5	33.8	52.1	10.6
年齢	30歳代未満	126	2.4	0.8	38.9	54.0	4.0
	30歳代	115	－	－	39.1	52.2	8.7
	40歳代	207	2.9	－	38.6	49.8	8.7
	50歳代	237	0.8	3.4	38.4	51.1	6.3
	60歳代	265	2.6	1.1	38.5	44.9	12.8
	70歳代以上	278	4.0	2.2	34.5	37.1	22.3

単位：%

		母数(n)	③人の輪 利用（参加）して役に立った	利用（参加）したが役に立たなかった	必要がないので利用（参加）しない	機会があれば利用（参加）したい	無回答
全体		1,263	0.9	0.6	51.6	32.5	14.4
性別	男	548	1.6	0.9	52.7	30.1	14.6
	女	672	0.3	0.4	51.3	35.0	12.9
年齢	30歳代未満	126	2.4	0.8	48.4	44.4	4.0
	30歳代	115	－	－	50.4	40.9	8.7
	40歳代	207	0.5	－	55.1	34.3	10.1
	50歳代	237	0.8	0.8	57.0	32.9	8.4
	60歳代	265	1.5	0.8	55.1	28.3	14.3
	70歳代以上	278	0.4	1.1	45.0	28.1	25.5

単位：%

		母数(n)	④人権を考える市民の集い 利用（参加）して役に立った	利用（参加）したが役に立たなかった	必要がないので利用（参加）しない	機会があれば利用（参加）したい	無回答
全体		1,263	1.5	0.7	51.5	32.2	14.0
性別	男	548	1.6	0.9	52.4	30.5	14.6
	女	672	1.5	0.6	51.0	34.4	12.5
年齢	30歳代未満	126	2.4	0.8	51.6	41.3	4.0
	30歳代	115	－	－	51.3	40.0	8.7
	40歳代	207	0.5	－	56.0	33.3	10.1
	50歳代	237	－	0.4	56.5	34.6	8.4
	60歳代	265	2.3	1.1	52.5	30.6	13.6
	70歳代以上	278	3.2	1.4	44.6	25.5	25.2

単位：%

		母数(n)	⑤人権を守る作品展 利用（参加）して役に立った	利用（参加）したが役に立たなかった	必要がないので利用（参加）しない	機会があれば利用（参加）したい	無回答
全体		1,263	4.2	0.6	47.0	33.9	14.3
性別	男	548	2.9	0.5	50.2	31.6	14.8
	女	672	5.5	0.7	44.5	36.3	12.9
年齢	30歳代未満	126	7.1	0.8	44.4	43.7	4.0
	30歳代	115	2.6	－	41.7	47.0	8.7
	40歳代	207	4.3	0.5	47.3	37.7	10.1
	50歳代	237	3.4	0.4	52.3	35.4	8.4
	60歳代	265	3.4	1.5	50.9	29.4	14.7
	70歳代以上	278	5.0	0.4	42.8	25.9	25.9

単位：%

		母数(n)	⑥校区別人権問題研修会「なるほど！　人権セミナー」 利用（参加）して役に立った	利用（参加）したが役に立たなかった	必要がないので利用（参加）しない	機会があれば利用（参加）したい	無回答
全体		1,263	2.5	0.7	50.4	31.9	14.4
性別	男	548	3.5	0.7	50.5	30.5	14.8
	女	672	1.9	0.7	50.7	33.9	12.6
年齢	30歳代未満	126	3.2	0.8	47.6	44.4	4.0
	30歳代	115	－	－	51.3	40.0	8.7
	40歳代	207	0.5	－	55.6	33.3	10.6
	50歳代	237	0.8	0.4	54.0	36.7	8.0
	60歳代	265	6.0	1.1	50.9	27.9	14.0
	70歳代以上	278	3.2	1.4	45.7	24.1	25.5

（１１）あなた自身のことについて

●問 22　性別、年齢

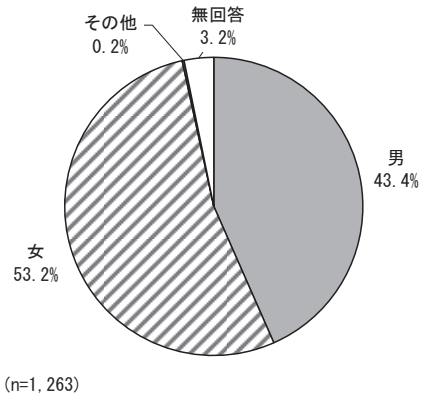
【性別】

○　性別について、「女」が 53.2%、「男」が 43.4%、「その他」が 0.2%となっています。

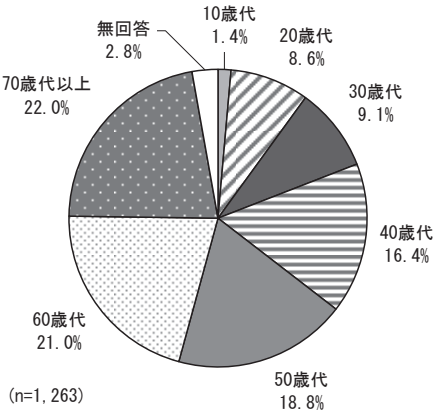
【年齢】

○　年齢について、「70 歳代以上」が 22.0%、「60 歳代」が 21.0%、「50 歳代」が 18.8%となっています。

【性別】



【年齢】



●岸和田市の人権施策・人権教育に関するご意見、ご要望等がありましたらご記入ください。

○　人権施策・人権教育に関する意見について、「同和問題について」、「アンケートについて」、「人権教育の充実」が多くなっています。

項目		件数
同和問題について	同和教育は不要だと思う	10
	同和地区への優遇施策があるのではないか	7
	同和問題（その他）	6
	同和問題への正しい教育が必要である	7
アンケートについて	アンケートへの意見・不満	20
	アンケートを通じて人権について学ぶことができた	9
人権教育の充実		21
人権に関する自身の考え		18
市政への意見		12
障害施策の充実		7
人権啓発の充実		6
過剰な誹謗中傷や権利主張を規制してほしい		5
相談窓口の充実		4
女性差別の解消		4
外国籍の人々への意見		3
外国籍の人々への支援充実や人権の尊重		3
回答者自身やその周りに差別はない		3
市外からの転居者への差別		2
高齢世代への人権啓発の充実		2
性的マイノリティへの理解・尊重		2
同和問題以外の人権啓発を重視してほしい		2
その他		43
特になし		11
		207

※複数の意見について述べられているものはそれぞれでカウントしています（回答数 204 件）

人権問題に関する市民意識調査結果に関する考察

石元清英（関西大学名誉教授）

１．年齢別比較からみえてくるもの

1990 年代までは、人権意識調査の結果を年齢別に比較すると、年齢が若くなるほど人権意識が高くなるという傾向が認められました。今回の調査でいいますと、性的マイノリティの人権に関する設問（問 14）で、「①同性同士の結婚も認められるのは当然だ」という意見に対し、「そう思う」と回答したのは、70 歳代以上 12.2%、60 歳代 18.9%、50 歳代 24.5%、40 歳代 31.4%、30 歳代 33.9%、30 歳代未満 54.8%というように、年齢が若くなるにつれ、同性婚を肯定する回答割合は上昇しています。同様に、「⑨自分の身内には同性愛者はいてほしくない」という意見に対し、“そう思う”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計）と回答したのは、70 歳代以上から順に 63.0%、50.5%、42.6%、38.7%、35.7%、25.4%と、年齢が若くなるほど、同性愛者に対する忌避意識は薄くなっているのです（39～40 ページ）。

年齢が若くなるにしたがって、人権意識が高くなるという、こうした傾向は、かつては多くの設問についてみられたのですが、今回調査では、それは性的マイノリティや女性の人権（問 19 の①、②、③）、同和地区出身者との結婚を家族に反対されている親戚から相談を受けたときの態度（問 11）などに限られ、若年層に比べて中高年層のほうが人権意識が高いという設問も多くみられました。

問２は、社会のしきたりや因習、占いなどについて問うたものですが、「①葬儀の際の「清め塩」は必要だ」という意見に対して、「そう思う」という回答は 30 歳代未満で最も多くなっています。「③運気をよくするために、占いや方角は参考にするほうがいい」という意見に対して“そう思う”は 30 歳代が最も多く（51.3%）、70 歳代以上の 26.3%を大きく上回っています。そして、「④結婚相手を決める時は、本人本位でなく、やはり家のことを考えて決めたほうがよい」という意見に対して、“そう思う”が最も多かったのは 30 歳代でした。たしかに「②女性が土俵にあがれないのは、しきたりだから仕方がない」と「⑥だんじりに女性（子ども以外）が乗るのはいけないことだ」という意見に対しては、それを肯定する回答は、70 歳代以上で多く、30 歳代未満や 30 歳代では少ないのですが、しきたりや因習、占いなどを肯定する回答が若年層で目立っているのです（６ページ）。

障害のある人の人権について問うた問５では、「①障害があることを理由に、乗り物への乗車や入店を断られるのは問題だ」という意見に対しては、どの年齢でも８～９割が“そう思う”と回答していますが、“そう思わない”（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の計）の割合は、30 歳代未満 13.5%、30 歳代 13.0%と、60 歳代（5.3%）、70 歳代以上（9.3%）より高くなっています。

「②企業には障害者の法定雇用率が定められているが、利益が第一なのだから、雇用が進まなくても仕方がない」という意見に対して、“そう思う”は 30 歳代未満で最も多く（31.0%）、60 歳代（15.5%）の２倍の大きさとなっています。

「⑤障害のある人が結婚したり、子どもを育てることに周囲が反対するのは問題だ」では、“そう思わない”が 30 歳代で最も多く（25.2%）、「⑥自宅近くに障害者の作業所やグループホームの建設計画が持ち上がったら、それに反対する」では、“そう思う”が 30 歳代で最も多くなっていま

す（13.1%）。そして、「⑧障害者施設では、本人の意思に反して行動を制限することも必要だ」でも、“そう思う”は30歳代で最も多く（67.9%）、30歳代未満が65.1%で、これに続きます（16～17ページ）。

問18の住まいを選ぶときに、「避けると思う」という回答が最も多かった年齢を物件別にみると、「①近隣に保育所（園）や幼稚園がある」30歳代と40歳代、「②近隣に老人ホームなどの高齢者施設がある」30歳代未満、「③近隣に精神科の病院がある」30歳代と40歳代、「④近隣に障害者施設がある」30歳代、「⑤近隣に外国籍の住民が多く住んでいる」30歳代と40歳代、「⑥近隣に低所得者など、生活に困難な人が多く住んでいる」30歳代未満と30歳代、「⑦近隣に同和地区がある」40歳代、「⑧同和地区の地域内である」40歳代というように、「避けると思う」という回答は、30歳代未満、30歳代、40歳代で目立っています（45～47ページ）。

様々な人権に関する設問である問19では、「④いじめ問題は、いじめを受ける子どもにも原因がある」という意見に対して「そう思う」と回答したのは、30歳代未満で14.3%と最も多く、“そう思う”でも30歳代未満が最も多くなっています（49.2%）。70歳代以上では、「そう思う」が6.1%、“そう思う”が27.7%なので、30歳代未満の割合の高さが目立っています。

「⑥収入の低い家庭の子どもが大学に進学できないのはやむを得ないことだ」という意見についても、「そう思う」、“そう思う”とも最も多いのは30歳代未満で、それぞれ7.9%、18.2%でした。「⑧高齢者施設では、本人の意思に反して行動を制限することも必要だ」は、「そう思う」が30歳代未満、“そう思う”が30歳代で最も多くなっています（それぞれ15.1%、73.0%）。

「⑩ニートやひきこもりは、本人自身に責任があると考えるのはよくないことだ」については、“そう思わない”が最も多いのは40歳代（51.7%）ですが、つぎに多いのが30歳代未満となっており（50.0%）、「⑪ホームレスの状態を続けているのは、本人の責任が大きい」は、「そう思う」が最も多いのは70歳以上でしたが（27.7%）、30歳代未満が22.2%で、これに続きます（49～51ページ）。

このように、30歳代未満や30歳代といった若い年齢層で、しきたりや因習を肯定したり、障害者の人権を軽視するかのような回答や、人権侵害であるとみるべき事象を自己責任に帰するかのような回答が多くみられるのです。30歳代未満や30歳代の人たちは、60歳代や70歳代以上に比べて、学校で人権教育をより多く学んできた年齢層であり、そうした人たちの人権意識がどうして高くなっていないのか、これまで行われてきた人権教育の成果と問題点を検討しなければならないでしょう。今回調査で明らかとなった30歳代未満と30歳代の人権意識のありようは、今後の人権教育の課題を明らかにする必要性を強く示唆するものです。

２．憲法に明記されている国民の権利

憲法によって、義務ではなく、国民の権利として決められているものを選ぶ問１によれば、最も多くあがったのが「人間らしい暮らしをする」（25 条）で、「思っていることを世間に発表する」（21 条）がこれに続きますが、権利ではなく、義務である「税金を納める」（30 条）が権利である「労働組合をつくる」（28 条）よりも多くなっています（２ページ）。NHK 放送文化研究所の調査と比較して、今回調査のほうが正答が多く、誤答が少ないとはいえ（４ページ）、憲法における国民の権利に対する市民の理解は、決して高いとはいえません。

「思っていることを世間に発表する」「人間らしい暮らしをする」「労働組合をつくる」の３つだけを選択した「完全正解者」は 14.5％で、年齢別では年齢が若くなるほど、その割合は高くなっていますが、最も高い 30 歳代未満でも 20％に達していません（３ページ）。自分がどのような権利をもっているのか知らなければ、自分の権利を守ることも、自分の権利を行使することもできません。こうした権利に関する基礎的な知識をもたない市民が多いことは、これからの人権教育・啓発の大きな課題だといえます。

「完全正解者」「部分正解者」「不正解者」別に問 11 の回答結果をみると（表１）、同和地区出身者との結婚を家族に反対されている親戚からの相談に対して、最も積極的な対応といえる「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」は「完全正解者」で多く、それにつぐ積極的な対応である「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」も「完全正解者」で多くなっています。

性的マイノリティの人権についての設問である問 14 に関しては（表２）、性的マイノリティの権利を認め、擁護する回答は、「完全正解者」で多く（①、③、④、⑤）、性的マイノリティを忌避する回答は「完全正解者」で少なくなっています（②、⑨）。そして、性的マイノリティに対する誤解も「完全正解者」では少なくなっています（⑥、⑦、⑧）。

様々な人権に関する設問である問 19 では（表３）、ニートやひきこもりに関する項目については、大きな違いがみられなかったものの（⑩）、「完全正解者」は「部分正解者」や「不正解者」に比べて、女性の人権（①、②、③）や子どもの人権（⑤、⑥）、高齢者の人権（⑦、⑧、⑨）に対する理解が高く、いじめやホームレスの問題を当事者個人の責任に帰するのではなく、社会の問題としてみるべきであるという回答傾向が顕著です（④、⑪）。

ここにはあげませんでしたが、他の設問とのクロスにおいても、「完全正解者」ほど、人権意識が高いことをうかがわせる回答が多くみられました。このように、憲法における権利理解と人権意識の高さには強い相関関係がみられるのであり、今後の人権教育・啓発においては、憲法の基本的人権の学習が大きな課題となるのではないでしょうか。

【表１　憲法の権利理解別同和地区出身者との結婚の相談への対応】

単位：%

		母数(n)	問11　結婚相手が同和地区の人であるということを理由に、家族から結婚を反対されている親戚がいるとします。あなたがその方から相談を受けた場合、どのような態度をとると思いますか。						
			反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う	迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う	慎重に考えなさいと言う	あきらめるように言う	どう言えばよいのかわからない	その他	無回答
全体		1,263	15.1	22.2	24.1	2.0	27.5	2.3	6.8
国民の権利の正解結果	完全正解者	183	20.2	28.4	22.4	2.7	19.1	4.9	2.2
	部分正解者	901	14.4	22.2	25.2	1.7	28.1	1.6	6.9
	不正解者	130	9.2	18.5	20.8	2.3	37.7	3.8	7.7

【表２　憲法の権利理解別性的マイノリティの人権に対する考え】

単位：%

		母数(n)	問14　①同性同士の結婚も認められるのは当然だ				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	25.2	36.3	20.5	13.1	4.9
国民の権利の正解結果	完全正解者	183	35.0	37.2	16.9	9.8	1.1
	部分正解者	901	23.5	37.5	20.8	13.1	5.1
	不正解者	130	22.3	30.8	26.2	17.7	3.1

単位：%

		母数(n)	問14　②同性愛者や性同一性障害のある人がいる職場では働きたくない				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	2.8	7.8	33.3	51.9	4.2
国民の権利の正解結果	完全正解者	183	1.6	4.4	25.1	67.8	1.1
	部分正解者	901	2.6	8.1	34.7	50.6	4.0
	不正解者	130	6.2	12.3	39.2	38.5	3.8

単位：%

		母数(n)	問14　③もし、自分の子どもが同性愛者であっても、親として子どもの側に立ち、力になる				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	35.7	40.2	13.2	5.4	5.5
国民の権利の正解結果	完全正解者	183	47.5	39.9	7.1	2.7	2.7
	部分正解者	901	34.5	40.7	14.2	5.4	5.1
	不正解者	130	24.6	46.2	14.6	8.5	6.2

単位：%

		母数(n)	問14　④企業は、社員のパートナーが同性であっても、配偶者として処遇する必要がある				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	29.8	39.2	17.1	7.0	6.8
国民の権利の正解結果	完全正解者	183	37.7	41.0	12.6	6.6	2.2
	部分正解者	901	29.0	39.8	17.6	6.8	6.8
	不正解者	130	20.8	41.5	20.0	10.0	7.7

単位：%

		母数(n)	問14　⑤学生の制服は性別に関係なくスカート、ズボン（パンツ）を自由に選べる方がいい				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	38.4	28.0	19.0	10.3	4.3
国民の権利の正解結果	完全正解者	183	49.2	26.8	15.3	7.1	1.6
	部分正解者	901	37.5	29.1	19.6	9.8	4.0
	不正解者	130	24.6	27.7	23.8	19.2	4.6

単位：%

		母数(n)	問14　⑥男性同性愛者には女性的な人が多い				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	8.6	25.3	33.4	25.2	7.6
国民の権利の正解結果	完全正解者	183	5.5	20.2	37.7	32.8	3.8
	部分正解者	901	8.7	26.0	33.2	24.2	8.0
	不正解者	130	11.5	29.2	31.5	22.3	5.4

単位：%

		母数(n)	問14 ⑦女性同性愛者には男性的な人が多い				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	6.6	21.9	37.3	26.7	7.6
国民の権利の正解結果	完全正解者	183	3.3	20.8	37.2	35.5	3.3
	部分正解者	901	6.9	22.1	38.0	25.1	8.0
	不正解者	130	6.9	26.2	33.8	26.2	6.9

単位：%

		母数(n)	問14 ⑧性同一性障害のために戸籍の性別変更を望む人は、同性愛者である				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	6.6	17.0	32.9	35.0	8.5
国民の権利の正解結果	完全正解者	183	4.9	10.9	30.6	51.4	2.2
	部分正解者	901	6.4	17.6	33.1	33.6	9.2
	不正解者	130	9.2	23.1	37.7	22.3	7.7

単位：%

		母数(n)	問14 ⑨自分の身内には同性愛者はいてほしくない				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	19.3	26.6	27.1	22.0	5.0
国民の権利の正解結果	完全正解者	183	9.8	21.9	31.1	35.0	2.2
	部分正解者	901	20.1	27.7	27.5	19.6	5.0
	不正解者	130	26.9	25.4	23.8	20.0	3.8

【表３　憲法の権利理解別様々な人権に関する考え】

単位：%

		母数(n)	問19 ①夫婦間やﾊﾟｰﾄﾅｰ間での暴力の問題は、家庭内または本人同士で解決すればよい				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	9.5	18.9	30.6	37.6	3.3
国民の権利の正解結果	完全正解者	183	3.3	16.9	31.7	47.5	0.5
	部分正解者	901	9.4	19.4	31.6	36.5	3.0
	不正解者	130	15.4	22.3	25.4	31.5	5.4

単位：%

		母数(n)	問19 ②同じ働きぶりでも男女で昇進に差があることや、高い地位につく人に男性が多いことは問題だ				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	35.9	38.2	17.9	4.8	3.2
国民の権利の正解結果	完全正解者	183	48.1	37.7	12.0	1.6	0.5
	部分正解者	901	34.9	39.1	18.3	4.9	2.9
	不正解者	130	26.2	39.2	23.8	6.2	4.6

単位：%

		母数(n)	問19 ③子どもが３歳になるまでは、母親は育児に専念するほうがいい				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	17.3	30.1	32.6	17.1	2.9
国民の権利の正解結果	完全正解者	183	9.3	25.7	44.3	20.2	0.5
	部分正解者	901	17.5	31.4	31.2	17.3	2.6
	不正解者	130	22.3	28.5	31.5	13.1	4.6

単位：%

		母数(n)	問19 ④いじめ問題は、いじめを受ける子どもにも原因がある				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	5.8	28.3	34.5	27.6	3.8
国民の権利の正解結果	完全正解者	183	1.6	19.7	37.2	39.3	2.2
	部分正解者	901	5.8	30.0	35.6	25.2	3.4
	不正解者	130	10.8	29.2	28.5	26.9	4.6

単位：%

		母数(n)	問19 ⑤ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ上において、子どもだけで通信・交流することは禁止した方がよい そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	28.3	41.0	22.3	4.8	3.6
国民の権利の正解結果	完全正解者	183	22.4	39.3	32.2	4.9	1.1
	部分正解者	901	29.2	41.0	21.5	4.9	3.4
	不正解者	130	32.3	46.2	13.8	3.1	4.6

単位：%

		母数(n)	問19 ⑥収入の低い家庭の子どもが大学に進学できないのはやむを得ないことだ そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	3.7	8.2	30.4	54.6	3.0
国民の権利の正解結果	完全正解者	183	1.6	7.1	29.0	61.7	0.5
	部分正解者	901	3.3	8.4	31.6	53.8	2.8
	不正解者	130	7.7	9.2	26.2	53.1	3.8

単位：%

		母数(n)	問19 ⑦高齢者がひとり暮らしを理由に、ｱﾊﾟｰﾄやﾏﾝｼｮﾝなどへの入居を拒まれても仕方がない そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	3.8	21.6	35.9	35.5	3.2
国民の権利の正解結果	完全正解者	183	2.7	24.0	35.0	37.7	0.5
	部分正解者	901	3.2	21.4	37.4	35.1	2.9
	不正解者	130	6.2	23.8	30.8	34.6	4.6

単位：%

		母数(n)	問19 ⑧高齢者施設では、本人の意思に反して行動を制限することも必要だ そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	9.7	46.9	26.8	13.0	3.6
国民の権利の正解結果	完全正解者	183	7.7	49.2	29.5	13.1	0.5
	部分正解者	901	9.4	47.4	26.7	13.0	3.4
	不正解者	130	11.5	45.4	28.5	10.0	4.6

単位：%

		母数(n)	問19 ⑨高齢者が恋愛や結婚をしたいと思うのは本人の自由だ そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	58.0	30.6	5.5	2.4	3.5
国民の権利の正解結果	完全正解者	183	69.4	23.5	4.4	1.6	1.1
	部分正解者	901	56.2	32.6	5.9	2.3	3.0
	不正解者	130	52.3	32.3	5.4	4.6	5.4

単位：%

		母数(n)	問19 ⑩ニートやひきこもりは、本人自身に責任があると考えるのはよくないことだ そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	22.0	36.9	27.7	10.3	3.1
国民の権利の正解結果	完全正解者	183	21.9	40.4	27.9	9.3	0.5
	部分正解者	901	22.5	37.3	28.3	9.2	2.7
	不正解者	130	18.5	33.8	23.8	19.2	4.6

単位：%

		母数(n)	問19 ⑪ホームレスの状態を続けているのは、本人の責任が大きい そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	19.5	43.2	24.9	9.0	3.4
国民の権利の正解結果	完全正解者	183	12.0	43.2	31.7	11.5	1.6
	部分正解者	901	19.9	44.6	24.1	8.4	3.0
	不正解者	130	24.6	37.7	23.1	10.0	4.6

３．マイノリティとの接触程度と人権意識

今回調査の問４では、「あなたのまわりには次のような人がいますか」と、①ニューカマーの外国人、②在日韓国・朝鮮人、③同和地区出身者、④障害者、⑤性的マイノリティをあげ、その接触程度を問うています。

まず、ニューカマーの外国人についてみると、「自分自身がそうである」３人、「家族がそうである」９人、「親しい友人にいる」15 人と、それぞれ他の設問をクロスして、その回答結果を構成比として示すには、数が少なすぎるので、これら３つと「知人にいる」114 人を合わせた 141 人を「知人などにいる」として、ひとつにまとめました。

また、「出会ったことはあるが関わったことがない」327 人、「出会ったことがない」747 人は、実数としては構成比を算出するのに問題はありませんが、回答傾向に大きな差がないので、両者を合わせた 1,074 人を「知人にいない」として、比較することにしました。

この点については、在日韓国・朝鮮人、同和地区出身者、障害者、性的マイノリティについても、それぞれ回答傾向に大きな差がみられなかったので、「出会ったことはあるが、関わったことがない」と「出会ったことがない」を合わせて「知人にいない」としています。

外国人の人権に関する設問である問６とのクロスを示した表４をみると、「①外国人だからという理由で、賃貸住宅への入居を断られても仕方がない」、「④日本に住んでいる以上、日本の文化や生活習慣などに合わせることは当然だ」、「⑦外国人労働者が増えると、治安や風紀が悪くなる」については、「知人などにいる」と「知人にいない」との間に目立った差はありませんが、「②日本の学校に通う外国人の子どもたちに、自分の国や民族の言葉を学習する機会を保障する必要がある」、「⑤外国籍であっても、自治体の住民であるからには地方参政権を認め、投票できるようにする必要がある」、「⑥外国人住民が増えているので、福祉などのサービスを受けやすくするために、多言語による情報提供が必要だ」、「⑧共生のためには、地域における交流を積極的に進めるべきである」については、「そう思う」の割合が「知人などにいる」のほうでそれぞれ順に 10 ポイント、８ポイント、12 ポイント、15.5 ポイント高くなっています。

そして、「③雇用者が外国人従業員に、職場では通称名（日本名）の使用を強制しても問題はない」では、「そう思わない」の割合が「知人などがいる」のほうで８ポイント高くなっています。

住宅を選ぶ際の物件に関する設問である問 18 とのクロスを示した表 5 をみると、「⑤近隣に外国籍の住民が多く住んでいる」という物件を「避けると思う」と回答したのは、「知人などにいる」9.9%、「知人にいない」18.3%と、「知人などにいる」のほうが少ないですが、「まったく気にしない」については、それほど差はみられません。

このように、ニューカマーの外国人が「知人などにいる」と「知人にいない」を比較すると、「知人などにいる」のほうが「⑥外国人住民が増えているので、福祉などのサービスを受けやすくするために、多言語による情報提供が必要だ」と「⑧共生のためには、地域における交流を積極的に進めるべきである」で「そう思う」が多く、外国人の人権に対する意識が高いという面がみられるものの、両者の間に大きな差があるとまではいえません。

在日韓国・朝鮮人については、「自分自身がそうである」８人、「家族がそうである」６人、「親しい友人にいる」69 人、「知人にいる」347 人、「出会ったことはあるが関わったことがない」430 人、「出会ったことがない」362 人でしたので、「自分自身がそうである」、「家族がそうである」、「親しい友人にいる」を合わせた 83 人を「親しい友人などにいる」とし、「出会ったことはあるが関わったことがない」と「出会ったことがない」を合わせた 792 人を「知人にいない」として、これら２つに「知人にいる」を加えた３類型と問６、問 18 の⑤とクロス集計を行いました。

まず、問６とのクロスである表６をみると、「①外国人だからという理由で、賃貸住宅への入居を断られても仕方がない」、「④日本に住んでいる以上、日本の文化や生活習慣などに合わせることは同然だ」、「⑦外国人労働者が増えると、治安や風紀が悪くなる」については、大きな違いはみられず、「⑧共生のためには、地域における交流を積極的に進めるべきである」では「そう思う」の割合は「知人にいる」で最も高く、「親しい友人などにいる」を５ポイント、上回っています。

一方、「親しい友人などにいる」のほうで外国人の人権を擁護する回答が多くみられたのは、「②日本の学校に通う外国人の子どもたちに、自分の国や民族の言葉を学習する機会を保障する必要がある」、「⑤外国籍であっても、自治体の住民であるからには地方参政権を認め、投票できるようにする必要がある」、「⑥外国人住民が増えているので、福祉などのサービスを受けやすくするために、多言語による情報提供が必要だ」の３項目です。

しかし、「③雇用者が外国人従業員に、職場では通称名（日本名）の使用を強制しても問題はない」では、「そう思わない」の割合が「知人にいる」で最も高くなっており、「親しい友人などにいる」を５ポイント上回っています。そして、住宅を選ぶ際の物件についての問 18 とのクロスを示した表７をみると、「⑤近隣に外国籍の住民が多く住んでいる」という物件を“避けると思う”と回答した割合は、それぞれの間で大きな差はみられません。

このように、在日韓国・朝鮮人についても、ニューカマーの外国人と同様、「親しい友人などにいる」「知人にいる」「知人にいない」の間で、一部の設問を除けば、大きな違いがあるとは認められません。

同和地区出身者については、「自分自身がそうである」１人、「家族がそうである」５人、「親しい友人にいる」38 人、「知人にいる」184 人、「出会ったことはあるが関わったことがない」325 人、「出会ったことがない」655 人でした。

そこで、「自分自身がそうである」「家族がそうである」「親しい友人にいる」を合わせた 44 人を「親しい友人などにいる」とし、「出会ったことはあるが関わったことがない」と「出会ったことがない」を合わせた 980 人を「知人にいない」として、これらに「知人にいる」を加えた３類型で、問３の⑨、⑬、問 11、問 18 の⑦、⑧とのクロス集計を行いました。

問３の⑨と⑬とのクロスを示した表８によると、「⑨結婚に際して、相手が同和地区出身者かどうか調べるほうがいい」という意見に対して、“そう思う”という回答は、「親しい友人などにいる」が最も低いですが、「知人にいる」と「知人にいない」のそれを４～５ポイント下回る程度でしかありません。この質問項目に関しては、「自分自身がそうである」と「家族がそうである」計６人はいずれも「そう思わない」と回答し、「親しい友人にいる」38 人のうち９人が“そう思う”と回答しています。

そして、「⑬同和問題は、そっとしておけば自然となくなる問題だから、教育や啓発はしないほうがいい」という意見に対して“そう思う”は、「親しい友人などにいる」が 45.5％と高く、「知人にいる」を 19 ポイント、「知人にいない」を 13 ポイントも上回っています。要するに、「親しい友人などにいる」のほうに、いわゆる「寝た子を起こすな」という考え方を支持する人が多いのです。

結婚相手が同和地区の人であるということを理由に、家族から結婚を反対されている親戚がいたとして、その親戚から相談を受けた場合、どのような態度をとるかという問 11 とのクロスである表９をみると、「親しい友人などにいる」のほうが「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」と「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」という回答が多く、「慎重に考えなさいと言う」と「どう言えばよいのかわからない」という回答が少なくなって

います。つまり、「親しい友人などにいる」のほうが親戚の結婚をサポートしようとする態度がはっきりとみられるのです。

問 18 の住宅を選ぶ際の物件に関する設問とのクロスをみると（表 10）、「⑦近隣に同和地区がある」という物件も「⑧同和地区の地域内である」という物件も、“避けると思う”という回答は、「親しい友人などにいる」で最も少なくなっています。

このように、同和地区出身者について「親しい友人などにいる」では、同和地区出身者との結婚に関わる親戚からの相談に対して、積極的な対応である回答が多く、同和地区への忌避意識も相対的に低いのですが、その一方で、「寝た子を起こすな」論を肯定する回答が多くみられました。

障害者については、「自分自身がそうである」46 人、「家族がそうである」171 人、「親しい友人にいる」79 人、「知人にいる」383 人、「出会ったことはあるが関わったことがない」423 人、「出会ったことがない」120 人でした。
「出会ったことはあるが関わったことがない」と「出会ったことがない」を合わせた 543 人を「知人にいない」とし、それ以外は、それぞれ独立させて問３の⑪、⑫、問５、問 18 の③、④とのクロス集計を行いました。

問３の⑪、⑫とのクロス集計である表 11 をみると、「⑪介護や介助を受ける高齢者や障害者が、あまりあれこれ自己主張するのはよくない」という意見に対して、「そう思う」と回答したのは、「自分自身がそうである」が最も多くなっており、「⑫社会福祉を含め、行政が実施する様々な支援策に頼るより、個人がもっと努力する必要がある」という意見に対しても、「そう思う」は「自分自身がそうである」で最も多くなっています。これは障害者自身が自分の権利の行使を抑制しているのであり、障害者が「遠慮しながら生きざるを得ない」という社会環境があるのではないかと考えられます。

問３の「⑪介護や介助を受ける高齢者や障害者が、あまりあれこれ自己主張するのはよくない」については、70 歳代以上でも「そう思う」の割合は 18.0％と、全体（9.6％）を大きく上回っていました。また、「⑫社会福祉を含め、行政が実施する様々な支援策に頼るより、個人がもっと努力する必要がある」についても、70 歳代以上での「そう思う」の割合は 19.4％であり、全体（11.3％）に比べて高くなっています（10 ページ）。

このように、高齢者も自分の権利の行使を抑制しているのであり、こうした障害者や高齢者の意識のありようをもたらしている社会の問題について考えていかなければなりません。

障害者の人権に関する設問である問５とのクロスを示した表 12 をみると、「自分自身がそうである」での回答割合が最も高くなっているのは、「③災害などの緊急時に、障害がある人の対応があとまわしになるのは問題だ」という意見に対する「そう思う」、「⑤障害のある人が結婚したり、子どもを育てることに周囲が反対するのは問題だ」という意見に対する「そう思う」、「⑥自宅近くに障害者の作業所やグループホームの建設計画が持ち上がったら、それに反対する」という意見に対する「そう思わない」です。
このように、災害などの緊急時における障害者の人権保障や、障害者の結婚などの生き方の尊重に関わる意見に賛同し、障害者施設等の建設に反対するという意見を否定する回答を多くの障害者が行っているのですが、その一方で、「②企業には障害者の法定雇用率が定められているが、利益が第一なのだから、雇用が進まなくても仕方がない」という意見に対する「そう思わない」の割合と「⑦障害のある人が地域で生活することについて、周囲の理解が得られないのは問題だ」と

いう意見に対する「そう思う」の割合は、「家族にいる」と「親しい友人にいる」よりも「自分自身がそうである」のほうが低くなっています。ここにも自分の権利を主張することを控えようとする障害者の傾向がうかがわれます。

また、表 12 では、「⑧障害者施設では、本人の意思に反して行動を制限することも必要だ」を除いて、「そう思う」（②と③については、「そう思わない」）の割合がいずれも「知人にいない」が最も低くなっており、障害者との接触がないという人に障害者の人権を尊重する意識がやや薄いという傾向がみられます。

住宅を選ぶ際の物件に関する設問である問 18 の③、④とのクロスを示した表 13 をみると、「③近隣に精神科の病院がある」という物件を“避けると思う”と回答したのは「知人にいない」が最も多く、「自分自身がそうである」が最も少なくなっています。「④近隣に障害者施設がある」という物件を“避けると思う”と回答したのは、「知人にいない」が最も多く、「親しい友人にいる」が最も少なくなっています。ここでも、障害者への接触の程度と障害者の病院や施設への忌避意識が相関していることがわかります。

性的マイノリティについては、「自分自身がそうである」５人、「家族がそうである」２人、「親しい友人にいる」31 人、「知人にいる」111 人、「出会ったことはあるが関わったことはない」238 人、「出会ったことがない」811 人であったので、「自分自身がそうである」「家族がそうである」「親しい友人にいる」を合わせた 38 人を「親しい友人などにいる」とし、「出会ったことはあるが関わったことはない」と「出会ったことがない」を合わせた 1,049 人を「知人にいない」として、これらに「知人にいる」を加えた３類型を問 14 とクロス集計しました（表 14）。

ところで、ニューカマーの外国人、同和地区出身者、障害者については、「自分自身がそうである」よりも「家族がそうである」のほうが人数が多かったのに対し、性的マイノリティは「自分自身がそうである」５人、「家族にいる」２人と、「家族がそうである」のほうが少なくなっています。これは家族にカミングアウトしていない性的マイノリティが多いために、自分の家族に性的マイノリティがいることを知らない人がかなりいるものと考えられます。なお、在日韓国・朝鮮人についても、「自分自身がそうである」８人、「家族がそうである」６人と、「家族がそうである」のほうが少なくなっています。在日韓国・朝鮮人では、ニューカマーの外国人の場合や、同和地区出身者の場合と同様、家族の全員がマイノリティ当事者というケースが少なくありません。その場合、「家族がそうである」と回答する人はその家族には存在しないことになります。

したがって、在日韓国・朝鮮人について、「家族がそうである」と回答するのは、主として国籍が異なる人と結婚したケースなどに限られます（ニューカマーの外国人では、主として日本人と結婚したケース、同和地区出身者では主として同和地区外の出身者と結婚したケースなど）。今回調査で、在日韓国・朝鮮人について「家族がそうである」が「自分自身がそうである」よりも少なかったのは、そうした在日韓国・朝鮮人が含まれる家族のなかの韓国・朝鮮籍ではない人が調査対象となることがたまたま少なかったためだと思われます。

表 14 をみると、「⑥男性同性愛者には女性的な人が多い」、「⑦女性同性愛者には男性的な人が多い」、「⑧性同一性障害のために戸籍の性別変更を望む人は、同性愛者である」といった性的マイノリティに対する誤解に関する質問項目を除く各項目について、「知人にいない」よりも「知人にいる」のほうが、そして、「知人にいる」よりも「親しい友人などにいる」のほうが、性的マイノリティの人権を擁護する回答が多く、性的マイノリティを忌避する意識も薄いことがわかります。つまり、性的マイノリティとの接触程度が高いほど、性的マイノリティへの理解が高く、その人権を擁護しようとする姿勢が鮮明にみられるのです。そして、「親しい友人などにいる」「知人にいる」「知人にいない」それぞれの間にみられる回答割合の差は大きく、性的マイノリティに関しては、接触程度と人権意識の高さが強く相関していることがわかります。

では、ニューカマーの外国人や在日韓国・朝鮮人、同和地区出身者の場合に比べて、人権意識のありようと接触程度との相関がどうして性的マイノリティで強くあらわれたのでしょうか。性的マイノリティについては、テレビなどで笑いや揶揄の対象として取り上げられることはあっても、人権問題としてマスメディアが取り上げることは長い間ありませんでした。十数年前までは人権教育や人権啓発でも性的マイノリティが人権課題として扱われることが非常に少なかったです。そのため、性的マイノリティに対しては、誤解や偏見をもつ人が少なくありません。

一般に、ある社会的マイノリティに出会ったことがなく、現実の具体像がイメージできない人は、その社会的マイノリティに対して社会的にもたれている誤解や偏見をもちつづけるでしょうが、その社会的マイノリティに出会い、「生身の人間」を知ることにより、誤解や偏見が解けていくことがあります。性的マイノリティの場合、未だに社会がもつ誤解や偏見が非常に強いので、実際に性的マイノリティに出会い、人間関係ができるにつれ、誤解や偏見が大きく解消していくのです。そのため、出会いの有無や接触程度が人権意識の大きな差となって表れやすいと考えられます。

接触程度の問題とは離れますが、ここで性的マイノリティに関する人権教育・啓発の課題について触れておきます。

表 15 は、問 14 の⑥、⑦、⑧と⑨をクロスさせたものです。同性愛者は男性でも女性でも、性的指向（恋愛感情や性的感情がどの性別に向くのか）が同性にあるという点だけが異性愛者と異なるだけで、それ以外の特徴はありません。男性同性愛者に女性的な人が多いわけではなく、女性同性愛者に男性的な人が多いわけでもありません。同性愛者には様々な人がいるのです。それは異性愛者に様々な人がいるのとまったく同様です。

また、性同一性障害（自分は男である、自分は女であるという性自認と身体の性が一致しないことによる持続的な不快感や違和感）のため、戸籍の性別変更を望む人は、トランスジェンダーであり、同性愛者とは次元の異なる概念です。したがって、問 14 の⑥、⑦、⑧は、それぞれ誤解なのですが、それらに対して「そう思わない」と回答した人ほど、同性愛者への忌避意識が弱いことがわかります。すなわち、性的マイノリティに対して正しい知識をもつ人ほど、同性愛者を忌避しないのです。このことからも、人権教育・啓発において、性的マイノリティに関する正しい知識を発信していくことが重要であるといえます。

【表４　ニューカマーの外国人との接触程度別外国人の人権に対する考え】

単位：%

		母数(n)	問6　①外国人だからという理由で、賃貸住宅への入居を断られても仕方がない				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	4.7	14.6	41.0	36.5	3.2
問4　①ニューカマーの外国人	知人などにいる	141	3.5	16.3	36.9	42.6	0.7
	知人にいない	1,074	4.6	14.6	42.1	36.2	2.5

単位：%

		母数(n)	問6　②日本の学校に通う外国人の子どもたちに、自分の国や民族の言葉を学習する機会を保障する必要がある				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	21.0	35.4	31.4	8.7	3.6
問4　①ニューカマーの外国人	知人などにいる	141	29.8	28.4	31.2	9.9	0.7
	知人にいない	1,074	19.9	37.1	31.7	8.5	2.9

単位：%

		母数(n)	問6　③雇用者が外国人従業員に、職場では通称名（日本名）の使用を強制しても問題はない				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	4.8	8.9	31.8	51.0	3.5
問4　①ニューカマーの外国人	知人などにいる	141	4.3	4.3	31.9	58.9	0.7
	知人にいない	1,074	4.8	9.3	32.2	50.9	2.7

単位：%

		母数(n)	問6　④日本に住んでいる以上、日本の文化や生活習慣などに合わせることは当然だ				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	16.8	47.3	22.9	9.8	3.2
問4　①ニューカマーの外国人	知人などにいる	141	14.9	51.8	22.0	11.3	－
	知人にいない	1,074	16.5	47.9	23.3	9.8	2.6

単位：%

		母数(n)	問6　⑤外国籍であっても、自治体の住民であるからには地方参政権を認め、投票できるようにする必要がある				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	23.9	38.2	19.6	14.5	3.8
問4　①ニューカマーの外国人	知人などにいる	141	31.2	34.8	22.0	11.3	0.7
	知人にいない	1,074	23.2	39.6	19.6	14.4	3.2

単位：%

		母数(n)	問6　⑥外国人住民が増えているので、福祉などのｻｰﾋﾞｽを受けやすくするために、多言語による情報提供が必要だ				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	37.8	47.2	8.9	2.6	3.4
問4　①ニューカマーの外国人	知人などにいる	141	48.9	43.3	7.1	0.7	－
	知人にいない	1,074	36.8	48.4	9.1	2.9	2.8

単位：%

		母数(n)	問6　⑦外国人労働者が増えると、治安や風紀が悪くなる				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	11.0	32.3	40.5	12.7	3.6
問4　①ニューカマーの外国人	知人などにいる	141	7.1	33.3	44.0	15.6	－
	知人にいない	1,074	11.3	32.2	41.1	12.5	3.0

単位：%

		母数(n)	問6　⑧共生のためには、地域における交流を積極的に進めるべきである				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	29.5	49.1	14.7	3.0	3.6
問4　①ニューカマーの外国人	知人などにいる	141	43.3	46.8	8.5	0.7	0.7
	知人にいない	1,074	27.8	50.1	15.7	3.4	3.0

【表５　ニューカマーの外国人との接触程度別住宅を選ぶ際の考え】

単位：%

		母数(n)	問18　⑤近隣に外国籍の住民が多く住んでいる 避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	無回答
全体		1,263	17.2	35.2	24.2	18.5	4.9
問4　①ニューカマーの外国人	知人などにいる	141	9.9	39.7	27.7	19.9	2.8
	知人にいない	1,074	18.3	34.7	24.2	18.9	3.8

【表６　在日韓国・朝鮮人との接触程度別外国人の人権に対する考え】

単位：%

		母数(n)	問6　①外国人だからという理由で、賃貸住宅への入居を断られても仕方がない そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	4.7	14.6	41.0	36.5	3.2
問4　②在日韓国・朝鮮人	親しい友人などにいる	83	2.4	18.1	34.9	44.6	－
	知人にいる	347	4.6	12.4	40.3	40.9	1.7
	知人にいない	792	4.5	15.7	42.9	34.1	2.8

単位：%

		母数(n)	問6　②日本の学校に通う外国人の子どもたちに、自分の国や民族の言葉を学習する機会を保障する必要がある そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	21.0	35.4	31.4	8.7	3.6
問4　②在日韓国・朝鮮人	親しい友人などにいる	83	32.5	27.7	34.9	4.8	－
	知人にいる	347	20.5	35.2	32.9	9.8	1.7
	知人にいない	792	20.1	37.2	31.1	8.3	3.3

単位：%

		母数(n)	問6　③雇用者が外国人従業員に、職場では通称名（日本名）の使用を強制しても問題はない そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	4.8	8.9	31.8	51.0	3.5
問4　②在日韓国・朝鮮人	親しい友人などにいる	83	4.8	13.3	26.5	55.4	－
	知人にいる	347	4.3	6.3	27.1	60.2	2.0
	知人にいない	792	4.7	9.6	35.0	48.0	2.8

単位：%

		母数(n)	問6　④日本に住んでいる以上、日本の文化や生活習慣などに合わせることは当然だ そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	16.8	47.3	22.9	9.8	3.2
問4　②在日韓国・朝鮮人	親しい友人などにいる	83	13.3	50.6	24.1	12.0	－
	知人にいる	347	16.7	52.4	20.2	8.6	2.0
	知人にいない	792	16.2	46.2	24.5	10.4	2.8

単位：%

		母数(n)	問6　⑤外国籍であっても、自治体の住民であるからには地方参政権を認め、投票できるようにする必要がある そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	23.9	38.2	19.6	14.5	3.8
問4　②在日韓国・朝鮮人	親しい友人などにいる	83	33.7	36.1	15.7	13.3	1.2
	知人にいる	347	22.2	39.8	18.4	17.6	2.0
	知人にいない	792	24.1	38.5	21.1	13.0	3.3

単位：%

		母数(n)	問6　⑥外国人住民が増えているので、福祉などのｻｰﾋﾞｽを受けやすくするために、多言語による情報提供が必要だ そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	37.8	47.2	8.9	2.6	3.4
問4　②在日韓国・朝鮮人	親しい友人などにいる	83	50.6	38.6	8.4	1.2	1.2
	知人にいる	347	40.1	46.4	9.5	2.3	1.7
	知人にいない	792	36.0	49.2	9.1	2.9	2.8

単位：%

		母数(n)	問6 ⑦外国人労働者が増えると、治安や風紀が悪くなる そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	11.0	32.3	40.5	12.7	3.6
問4 ②在日韓国・朝鮮人	親しい友人などにいる	83	7.2	31.3	39.8	20.5	1.2
	知人にいる	347	11.0	32.3	40.6	14.4	1.7
	知人にいない	792	11.1	33.1	41.3	11.4	3.2

単位：%

		母数(n)	問6 ⑧共生のためには、地域における交流を積極的に進めるべきである そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	29.5	49.1	14.7	3.0	3.6
問4 ②在日韓国・朝鮮人	親しい友人などにいる	83	31.3	51.8	14.5	1.2	1.2
	知人にいる	347	36.3	48.1	10.7	2.9	2.0
	知人にいない	792	26.3	50.4	17.0	3.3	3.0

【表７　在日韓国・朝鮮人との接触程度別住宅を選ぶ際の考え】

単位：%

		母数(n)	問18 ⑤近隣に外国籍の住民が多く住んでいる 避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	無回答
全体		1,263	17.2	35.2	24.2	18.5	4.9
問4 ②在日韓国・朝鮮人	親しい友人などにいる	83	15.7	37.3	20.5	21.7	4.8
	知人にいる	347	15.3	36.0	26.5	19.0	3.2
	知人にいない	792	18.6	35.1	24.2	18.4	3.7

【表８　同和地区出身者との接触程度別人権に対する考え】

単位：%

		母数(n)	問3 ⑨結婚に際して、相手が同和地区出身者かどうか調べるほうがいい そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	6.2	17.7	33.4	40.3	2.5
問4 ③同和地区出身者	親しい友人などにいる	44	6.8	13.6	20.5	59.1	－
	知人にいる	184	7.1	18.5	30.4	44.0	－
	知人にいない	980	5.9	18.2	35.7	39.0	1.2

単位：%

		母数(n)	問3 ⑬同和問題は、そっとしておけば自然となくなる問題だから、教育や啓発はしないほうがいい そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	11.3	20.7	33.7	31.6	2.7
問4 ③同和地区出身者	親しい友人などにいる	44	18.2	27.3	15.9	38.6	－
	知人にいる	184	11.4	15.2	34.2	38.0	1.1
	知人にいない	980	10.5	21.9	35.3	30.8	1.4

【表９　同和地区出身者との接触程度別同和地区出身者との結婚の相談への対応】

単位：%

		母数(n)	問11 結婚相手が同和地区の人であるということを理由に、家族から結婚を反対されている親戚がいるとします。あなたがその方から相談を受けた場合、どのような態度をとると思いますか。 反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う	迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う	慎重に考えなさいと言う	あきらめるように言う	どう言えばよいのかわからない	その他	無回答
全体		1,263	15.1	22.2	24.1	2.0	27.5	2.3	6.8
問4 ③同和地区出身者	親しい友人などにいる	44	22.7	36.4	15.9	2.3	9.1	2.3	11.4
	知人にいる	184	19.0	25.5	27.7	2.2	20.7	1.6	3.3
	知人にいない	980	14.5	21.2	24.5	2.0	29.8	2.1	5.8

【表 10　同和地区出身者との接触程度別住宅を選ぶ際の考え】

単位：%

		母数(n)	問18 ⑦近隣に同和地区がある 避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	無回答
全体		1,263	17.7	30.3	26.9	19.7	5.3
問4 ③同和地区出身者	親しい友人などにいる	44	13.6	13.6	29.5	36.4	6.8
	知人にいる	184	17.4	33.7	25.0	22.8	1.1
	知人にいない	980	18.5	31.1	27.7	18.8	4.0

単位：%

		母数(n)	問18 ⑧同和地区の地域内である 避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	無回答
全体		1,263	37.7	27.2	15.6	14.4	5.1
問4 ③同和地区出身者	親しい友人などにいる	44	25.0	25.0	20.5	25.0	4.5
	知人にいる	184	42.9	25.5	14.7	15.8	1.1
	知人にいない	980	38.5	28.0	15.7	13.9	4.0

【表 11　障害者との接触程度別人権に対する考え】

単位：%

		母数(n)	問3 ⑪介護や介助を受ける高齢者や障害者が、あまりあれこれ自己主張するのはよくない そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	9.6	23.4	36.7	28.2	2.1
問4 ④障害者	自分自身がそうである	46	28.3	15.2	19.6	28.3	8.7
	家族がそうである	171	10.5	19.3	29.2	40.4	0.6
	親しい友人にいる	79	8.9	21.5	39.2	30.4	－
	知人にいる	383	6.0	23.5	41.8	28.2	0.5
	知人にいない	543	10.3	26.7	37.8	24.5	0.7

単位：%

		母数(n)	問3 ⑫社会福祉を含め、行政が実施する様々な支援策に頼るより、個人がもっと努力する必要がある そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	11.3	37.2	33.6	15.4	2.5
問4 ④障害者	自分自身がそうである	46	30.4	19.6	23.9	21.7	4.3
	家族がそうである	171	11.1	35.1	29.8	21.1	2.9
	親しい友人にいる	79	11.4	38.0	32.9	17.7	－
	知人にいる	383	7.6	36.6	39.4	15.7	0.8
	知人にいない	543	12.7	40.5	33.5	12.5	0.7

【表 12　障害者との接触程度別障害者の人権に対する考え】

単位：%

		母数(n)	問5 ①障害があることを理由に、乗り物への乗車や入店を断られるのは問題だ そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	62.2	27.1	5.7	2.6	2.5
問4 ④障害者	自分自身がそうである	46	63.0	19.6	13.0	2.2	2.2
	家族がそうである	171	66.1	23.4	5.8	2.9	1.8
	親しい友人にいる	79	63.3	24.1	7.6	3.8	1.3
	知人にいる	383	64.5	25.8	5.2	1.3	3.1
	知人にいない	543	59.3	31.3	5.5	2.8	1.1

単位：%

		母数(n)	問5 ②企業には障害者の法定雇用率が定められているが、利益が第一なのだから、雇用が進まなくても仕方がない そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	3.7	17.2	39.0	36.4	3.6
問4 ④障害者	自分自身がそうである	46	8.7	10.9	32.6	41.3	6.5
	家族がそうである	171	5.8	13.5	31.0	46.8	2.9
	親しい友人にいる	79	1.3	15.2	38.0	44.3	1.3
	知人にいる	383	1.8	16.4	39.4	38.6	3.7
	知人にいない	543	3.9	19.7	43.5	30.9	2.0

単位：%

		母数(n)	問5 ③災害などの緊急時に、障害のある人の対応があとまわしになるのは問題だ そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	57.9	29.9	6.4	2.6	3.2
問4 ④障害者	自分自身がそうである	46	71.7	4.3	15.2	4.3	4.3
	家族がそうである	171	65.5	21.6	6.4	4.1	2.3
	親しい友人にいる	79	65.8	25.3	7.6	－	1.3
	知人にいる	383	57.7	31.3	5.5	1.3	4.2
	知人にいない	543	54.3	34.8	6.4	2.9	1.5

単位：%

		母数(n)	問5 ④職場環境や勤務条件などを障害に合わせて働きやすくするための配慮は当然だ そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	51.6	39.7	4.5	1.3	2.9
問4 ④障害者	自分自身がそうである	46	56.5	28.3	10.9	2.2	2.2
	家族がそうである	171	59.6	34.5	1.8	2.3	1.8
	親しい友人にいる	79	53.2	40.5	2.5	1.3	2.5
	知人にいる	383	52.5	40.2	3.7	0.5	3.1
	知人にいない	543	48.6	42.4	5.9	1.5	1.7

単位：%

		母数(n)	問5 ⑤障害のある人が結婚したり、子どもを育てることに周囲が反対するのは問題だ そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	39.9	37.1	15.3	4.6	3.1
問4 ④障害者	自分自身がそうである	46	50.0	26.1	15.2	6.5	2.2
	家族がそうである	171	42.7	38.6	9.9	6.4	2.3
	親しい友人にいる	79	41.8	39.2	11.4	5.1	2.5
	知人にいる	383	43.3	35.5	14.9	2.6	3.7
	知人にいない	543	35.7	38.9	18.4	5.5	1.5

単位：%

		母数(n)	問5 ⑥自宅近くに障害者の作業所やグループホームの建設計画が持ち上がったら、それに反対する そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	1.7	6.2	35.0	53.3	3.9
問4 ④障害者	自分自身がそうである	46	－	8.7	15.2	73.9	2.2
	家族がそうである	171	1.2	2.3	26.3	67.3	2.9
	親しい友人にいる	79	2.5	2.5	35.4	58.2	1.3
	知人にいる	383	1.0	5.2	34.7	55.1	3.9
	知人にいない	543	2.4	8.5	40.1	45.9	3.1

単位：%

		母数(n)	問5 ⑦障害のある人が地域で生活することについて、周囲の理解が得られないのは問題だ そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	49.8	37.5	6.7	2.3	3.8
問4 ④障害者	自分自身がそうである	46	56.5	28.3	8.7	4.3	2.2
	家族がそうである	171	61.4	29.8	3.5	2.3	2.9
	親しい友人にいる	79	58.2	31.6	7.6	1.3	1.3
	知人にいる	383	50.7	39.7	3.9	1.8	3.9
	知人にいない	543	44.8	40.3	9.4	2.8	2.8

単位：%

		母数(n)	問5 ⑧障害者施設では、本人の意思に反して行動を制限することも必要だ そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	11.2	45.0	26.5	13.2	4.0
問4 ④障害者	自分自身がそうである	46	15.2	45.7	15.2	21.7	2.2
	家族がそうである	171	10.5	45.0	21.6	19.9	2.9
	親しい友人にいる	79	13.9	46.8	19.0	16.5	3.8
	知人にいる	383	7.6	46.2	30.0	12.5	3.7
	知人にいない	543	12.9	45.5	28.0	10.7	2.9

【表 13　障害者との接触程度別住宅を選ぶ際の考え】

単位：%

		母数(n)	問18 ③近隣に精神科の病院がある 避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	無回答
全体		1,263	18.4	34.8	20.3	21.7	4.7
問4 ④障害者	自分自身がそうである	46	19.6	21.7	17.4	32.6	8.7
	家族がそうである	171	12.9	35.1	18.7	28.1	5.3
	親しい友人にいる	79	21.5	30.4	22.8	24.1	1.3
	知人にいる	383	16.2	38.1	19.8	24.3	1.6
	知人にいない	543	22.1	34.8	21.5	17.3	4.2

単位：%

		母数(n)	問18 ④近隣に障害者施設がある 避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	無回答
全体		1,263	6.1	19.7	34.7	34.4	5.1
問4 ④障害者	自分自身がそうである	46	6.5	15.2	26.1	43.5	8.7
	家族がそうである	171	4.1	15.8	29.2	46.2	4.7
	親しい友人にいる	79	2.5	13.9	41.8	40.5	1.3
	知人にいる	383	4.2	21.4	37.3	33.9	3.1
	知人にいない	543	8.8	21.5	35.2	29.7	4.8

【表 14　性的マイノリティとの接触程度別性的マイノリティの人権に対する考え】

単位：%

		母数(n)	問14 ①同性同士の結婚も認められるのは当然だ そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	25.2	36.3	20.5	13.1	4.9
問4 ⑤性的マイノリティ（少数者）	親しい友人などにいる	38	65.8	23.7	2.6	7.9	－
	知人にいる	111	42.3	41.4	12.6	3.6	－
	知人にいない	1,049	23.1	37.4	22.0	13.6	3.9

単位：%

		母数(n)	問14 ②同性愛者や性同一性障害のある人がいる職場では働きたくない そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	2.8	7.8	33.3	51.9	4.2
問4 ⑤性的マイノリティ（少数者）	親しい友人などにいる	38	－	2.6	2.6	94.7	－
	知人にいる	111	0.9	1.8	18.0	79.3	－
	知人にいない	1,049	3.1	8.8	36.5	48.6	3.1

単位：%

		母数(n)	問14 ③もし、自分の子どもが同性愛者であっても、親として子どもの側に立ち、力になる				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	35.7	40.2	13.2	5.4	5.5
問4 ⑤性的マイノリティ（少数者）	親しい友人などにいる	38	76.3	18.4	2.6	2.6	－
	知人にいる	111	69.4	22.5	5.4	1.8	0.9
	知人にいない	1,049	31.6	43.7	14.7	5.6	4.4

単位：%

		母数(n)	問14 ④企業は、社員のパートナーが同性であっても、配偶者として処遇する必要がある				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	29.8	39.2	17.1	7.0	6.8
問4 ⑤性的マイノリティ（少数者）	親しい友人などにいる	38	71.1	18.4	－	10.5	－
	知人にいる	111	50.5	36.9	9.9	2.7	－
	知人にいない	1,049	27.3	41.5	18.8	7.1	5.4

単位：%

		母数(n)	問14 ⑤学生の制服は性別に関係なくスカート、ズボン（パンツ）を自由に選べる方がいい				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	38.4	28.0	19.0	10.3	4.3
問4 ⑤性的マイノリティ（少数者）	親しい友人などにいる	38	68.4	15.8	2.6	13.2	－
	知人にいる	111	64.9	20.7	9.0	5.4	－
	知人にいない	1,049	35.5	30.0	21.1	10.3	3.1

単位：%

		母数(n)	問14 ⑥男性同性愛者には女性的な人が多い				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	8.6	25.3	33.4	25.2	7.6
問4 ⑤性的マイノリティ（少数者）	親しい友人などにいる	38	7.9	23.7	26.3	39.5	2.6
	知人にいる	111	9.9	18.0	40.5	30.6	0.9
	知人にいない	1,049	8.4	26.7	34.2	24.6	6.1

単位：%

		母数(n)	問14 ⑦女性同性愛者には男性的な人が多い				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	6.6	21.9	37.3	26.7	7.6
問4 ⑤性的マイノリティ（少数者）	親しい友人などにいる	38	7.9	15.8	34.2	39.5	2.6
	知人にいる	111	7.2	16.2	44.1	31.5	0.9
	知人にいない	1,049	6.5	23.5	37.8	26.1	6.0

単位：%

		母数(n)	問14 ⑧性同一性障害のために戸籍の性別変更を望む人は、同性愛者である				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	6.6	17.0	32.9	35.0	8.5
問4 ⑤性的マイノリティ（少数者）	親しい友人などにいる	38	15.8	15.8	21.1	44.7	2.6
	知人にいる	111	3.6	14.4	30.6	49.5	1.8
	知人にいない	1,049	6.7	17.3	35.2	33.9	6.9

単位：%

		母数(n)	問14 ⑨自分の身内には同性愛者はいてほしくない				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	19.3	26.6	27.1	22.0	5.0
問4 ⑤性的マイノリティ（少数者）	親しい友人などにいる	38	5.3	13.2	26.3	52.6	2.6
	知人にいる	111	3.6	20.7	24.3	51.4	－
	知人にいない	1,049	20.9	28.4	28.2	18.7	3.8

【表 15　性的マイノリティに対する理解別性的マイノリティへの忌避意識】

単位：%

		母数(n)	問14 ⑨自分の身内には同性愛者はいてほしくない				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	19.3	26.6	27.1	22.0	5.0
問14 ⑥男性同性愛者には女性的な人が多い	そう思う	108	52.8	15.7	11.1	20.4	－
	どちらかといえばそう思う	319	18.8	36.4	28.8	15.0	0.9
	あまりそう思わない	422	11.1	32.2	37.7	18.7	0.2
	そう思わない	318	19.5	18.2	22.3	39.9	－

単位：%

		母数(n)	問14 ⑨自分の身内には同性愛者はいてほしくない				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	19.3	26.6	27.1	22.0	5.0
問14 ⑦女性同性愛者には男性的な人が多い	そう思う	83	48.2	16.9	9.6	25.3	－
	どちらかといえばそう思う	276	18.1	35.9	30.4	14.9	0.7
	あまりそう思わない	471	12.5	33.1	35.7	18.5	0.2
	そう思わない	337	22.3	17.8	22.0	38.0	－

単位：%

		母数(n)	問14 ⑨自分の身内には同性愛者はいてほしくない				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,263	19.3	26.6	27.1	22.0	5.0
問14 ⑧性同一性障害のために戸籍の性別変更を望む人は、同性愛者である	そう思う	83	55.4	14.5	8.4	21.7	－
	どちらかといえばそう思う	215	20.9	39.5	28.8	10.2	0.5
	あまりそう思わない	416	13.0	31.7	40.4	14.7	0.2
	そう思わない	442	17.2	20.8	22.6	39.1	0.2

調査結果に見る人権意識

上杉孝實（京都大学名誉教授）

１．人権のとらえ方

2020 年に行われた岸和田市の「人権問題に関する市民意識調査」は、20 年ぶりに行われたものであり、前回との比較よりも、今日的状況の把握に重点を置いて、新たに設定された設問が多くなっています。その中でも、あらためて人権のとらえ方について問うた結果には、注目すべきものがあります。人権は、人間として当然に認められるべき権利ですが、回答を見ると、労働組合の結成を権利としてとらえる人が少なく、義務である納税を権利とみている人が少なくありません。権利を正確にとらえているかどうかが、各項目の人権意識に影響していることが明らかになっていて、権利学習の重要性が示されています。

「人権には必ず義務がともなう」といった考え方も、多くの人が採っています。子どもが教育を受ける権利を持っているからといって、子どもが教育を受ける義務を負っているのではありません。親が子どもに教育を受けさせる義務を持つのであり、またそれを可能にすることが国や地方公共団体の責務となるという関係にあります。この意味も含めて肯定した人もあると思われますが、答えの選択肢では「必ず義務がともなう」ということで人権の無条件性を示しています。集会や結社の権利が集会や結社をしなければならない義務を伴っているわけではないのです。「思いやりややさしさをみんなが持てば人権問題は解決する」についても肯定者が多く見られます。思いやりややさしさが大事であるとしても、人権は権利の問題であり、その観点に立って社会的に仕組みを変えるなどの取組が必要になります。

２．人権問題についての意識

世間のしきたりの中には、人権にそぐわないものもあります。「だんじりに女性（子ども以外）が乗るのはいけないことだ」という意見についても、否定する人が多いとはいえ肯定する人も少なくないのですが、それは「今の日本では、女性差別はもはや深刻な問題ではない」ととらえている人に多い回答です。危険だからと言う人もあるかと思われますが、それは女性に限定してのことではないでしょうし、まして止まっているときにも乗れないとなればなぜかということになります。かつて大相撲の表彰式で、女性の知事が土俵に上がることができなかったことがありますが、これに関連する質問に対する答えでも意見が半々に分かれました。伝統も時代とともに変えることによって存続が可能となっている例は、数多くあります。「子どもが３歳になるまでは、母親は育児に専念するほうがいい」を肯定する人も半数あり、性別役割分業の考えは少数になりつつあっても、まだ現実にはそうでない面のあることがうかがわれます。そこには保育体制の十分でないことや収入の男女差なども関係しています。

「企業には障害者の法定雇用率が定められているが、利益が第一なのだから、雇用が進まなくても仕方がない」に対しては、否定する人が多いのですが、30 歳未満で３割の人が肯定していて、他の年代より多く、現状に流される傾向が強まっていないか懸念されるところです。在日外国人について地方参政権を認めようという人が多い半面、日本の文化や生活習慣に合わせることを肯定する人も多くあり、それが同化を強いることにならないよう留意することも重要です。ヘイトスピーチでも、「表現や言論の自由があるので許さざるを得ないが、共感はしない」が多く見られ

ます。人権を侵害する表現や言論の自由が認められるかどうかが問われているところです。

「同和問題は、そっとしておけば自然となくなる問題だから、教育や啓発はしないほうがいい」に３割の人が肯定の回答をしている一方、他の箇所で「そっとしておけば自然になくなる」には14.6％の人が肯定しているというように、数値が異なります。もっとも後の方の考えは、「自分には関係がない」とか「なりゆきにまかせる」といった選択肢もあるなかでの回答であり、これらを合わせると４割になります。解決法について「わからない」が 35.6％と多いのも気になります。そっとしておくということでは問題が解決しなかったことは歴史が示すところで、みんなで考え、取り組む機会を多く持つことが求められます。今日では、同和地区出身者とそれ以外の人との結婚が多数になっていますが、「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」とか「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」という人が 37.3％で、「慎重に考えなさいと言う」が 24.1％、さらに「どう言えばよいのかわからない」が 27.5％あって、まだまだ部落差別があり、女性にためらいが多く見受けられます。居住においても、同和地区内が６割、近くに精神病院、近くに外国人がそれぞれ５割台、近くに低所得者、近くに同和地区がそれぞれ５割弱、避けられる対象になっていて、ここにも差別が影を落としています。

３．人権教育・啓発の課題

人権教育や啓発について、今回は市の施策として行われている「人権を考える市民の集い」、「人権を守る作品展」、「校区別人権問題研修会『なるほど！　人権セミナー』」などについて尋ねたところ、それぞれ数パーセントから１割に満たない参加状況でした。ここには職場や地域団体等で行われている講座や研修会等は含まれないこともあって、低い値になっていることから、他市町のように統計的に参加の有無と人権意識との関連を見ることは難しいのですが、参加した人の６割は「利用（参加）して役に立った」という人であるものの、参加しなかった８割を超える人の内、半数近くが「必要がないので利用（参加）しない」と答えています。この人たちは、「機会があれば利用（参加）したい」と言う人に比べて、各項目において人権意識が乏しいという結果が出ているのですが、それでも必要を感じていない人が多いことになります。これらの人の学習機会をどのように整えるかが大きな課題であり、いろいろな催しの中で人権への気づきがもたらされるような工夫が必要です。マイノリティの人が身近である場合は、人権意識も高くなる可能性があることからも、これらの人びととの交流を進めることが大事です。

総じて、人権意識の高い人は少なくないものの、人権についての的確な把握がなされているとは言えない状況があります。そこには、人権学習への参加が少ないことが関係しています。学ぶ必要がないと思っている人の多くが理解不十分で、自分の人権を守ることもできなくなりやすいのです。自分ではわかっているつもりでも、学べば学ぶほど、気づきが多くなり、認識が深まって、自信をもって行動につなぐことができるようになるのです。従来多くの調査で、若い人ほど人権について理解しているとの調査結果が見られましたが、最近は必ずしもそうでなく、現状追随の反応が若い人に結構見られます。時代の風潮の反映かもしれませんが、人権教育としての広がりがありながらも、同和教育が盛んであったころに比べて、内容が深まらず理解が浅くなっていることが懸念されます。同和問題が学校の教科書で扱われるようになったのは、1970 年代で、今の 60 歳代前半の人が児童・生徒であったころです。同和教育では、同和問題だけでなく、様々な人権問題を取り上げていました。それ以後、現在の中年の人は、学校教育や社会教育で同和教育を中心に人権教育を経験したことが多い世代で、調査結果から多少ともその影響を見ることが

できます。

基本的人権は、それを守ろうとする努力があってこそ保たれるのであり、これまでの人々の人権確立の営みによって、生活の中に根を下すようになってきました。性別や家庭的背景、出身等を問わず就職できるようにし、障害をもたらしている環境を変えるなどの努力がはらわれていて、その成果も見られますが、まだまだ人権尊重社会の実現は途上にあります。これまでの歴史と成果を振り返りながら、さらに取組を進めることが課題です。国や地方公共団体は、その推進の責務を持つのであり、一層住民の学習と活動の条件を整備することが求められます。

４．資料編

調査票

人権問題に関する市民意識調査

【調査ご協力のお願い】

市民の皆さまには、日頃から市政にご協力をいただき、ありがとうございます。

岸和田市では、一人ひとりの人権が守られる「人権尊重のまちづくり」をすすめているところです。

この調査は、様々な人権問題について皆さまのご意見をおうかがいし、これからのまちづくりに生かすために実施します。そこで、令和2年10月23日現在、18歳以上の市民3,000名を無作為に選んだところ、あなたにお送りすることになりました。

調査は無記名で行い、個人名や回答内容の特定など、個人情報の観点からご迷惑をおかけすることはありません。率直なご意見をお聞かせくださいますようお願いします。

ご記入にあたってのお願い

○お送りした宛名のご本人がお答えください。お名前の記入は不要です。

○ご本人が記入できない場合には、ご本人の意思を反映してご家族の方などが記入してくださると幸いです。

○ご記入いただいた「調査票」は、同封の返信用封筒に入れて、**令和２年11月25日（水）までに**郵便ポストに投函してください（切手不要です）。

○集計結果は市のホームページなどで公表する予定です。

○この調査に関するお問い合わせは、下記へお願いいたします。

サポートが必要な方へ

大きな文字の調査票、ふりがながある調査票が必要な方やサポートが必要な方は、

人権・男女共同参画課（　電話 072-423-9562　　ＦＡＸ 072-423-0108

メール　jinkens@city.kishiwada.osaka.jp　）へご連絡ください。

［　お問い合わせ先　］

岸和田市 市民環境部　人権・男女共同参画課

電　　話：072-423-9562（直通）

ＦＡＸ：072-423-0108

〒596-8510　岸和田市岸城町7番1号

メ　ー　ル：jinkens@city.kishiwada.osaka.jp

人権に関する考え方について

問１　あなたは憲法によって、義務ではなく、国民の権利と決められているのはどれだと思いますか。（○はいくつでも）

１　思っていることを世間に発表する	２　税金を納める
３　目上の人に従う	４　道路の右側を歩く
５　人間らしい暮らしをする	６　労働組合をつくる
７　わからない	

問２　次のような意見について、あなたはどう思いますか。それぞれについて、１から４のいずれかであなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
①　葬儀の際の「清め塩」は必要だ	1	2	3	4
②　女性が土俵にあがれないのは、しきたりだから仕方がない	1	2	3	4
③　運気をよくするために、占いや方角は参考にするほうがいい	1	2	3	4
④　結婚相手を決める時は、本人本位でなく、やはり家のことを考えて決めたほうがよい	1	2	3	4
⑤　皆が集まりやすければ、仏滅に結婚式をしてもかまわない	1	2	3	4
⑥　だんじりに女性（子ども以外）が乗るのはいけないことだ	1	2	3	4

問３　人権について、いろいろな考え方がありますが、あなたはどう思いますか。それぞれについて、１から４のいずれかであなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
① 権利ばかり主張して、がまんすることのできない人が増えている	1	2	3	4
② 人権問題とは、差別を受けている人の問題であって、自分とは関係がない	1	2	3	4
③ 思いやりややさしさをみんなが持てば人権問題は解決する	1	2	3	4
④ 人権には必ず義務がともなう	1	2	3	4
⑤ 子どものしつけのために、時には保護者の体罰も必要だ	1	2	3	4
⑥ 教師が児童・生徒を指導するために、ときには体罰を加えることも必要だ	1	2	3	4
⑦ 個人の権利より、地域のみんなの利益を優先することが大切だ	1	2	3	4
⑧ 差別する人だけでなく、差別される人にも問題がある	1	2	3	4
⑨ 結婚に際して、相手が同和地区【 注１ 】（※）出身者かどうか調べるほうがいい	1	2	3	4
⑩ 差別をなくすには、差別を禁止する法律が必要だ	1	2	3	4
⑪ 介護や介助を受ける高齢者や障害者が、あまりあれこれ自己主張するのはよくない	1	2	3	4
⑫ 社会福祉を含め、行政が実施する様々な支援策に頼るより、個人がもっと努力する必要がある	1	2	3	4
⑬ 同和問題は、そっとしておけば自然となくなる問題だから、教育や啓発はしないほうがいい	1	2	3	4
⑭ 差別されている人の話をきちんと聴く必要がある	1	2	3	4
⑮ 今の日本では、女性差別はもはや深刻な問題ではない	1	2	3	4

※注は、この調査票の最後のページに記載しています。

問４　あなたのまわりには次のような人がいますか。（○はそれぞれ１つ）

	自分自身がそうである	家族がそうである	親しい友人にいる	知人にいる	出会ったことはあるが関わったことがない	出会ったことがない
① ニューカマー【 注２ 】の外国人	1	2	3	4	5	6
② 在日韓国・朝鮮人	1	2	3	4	5	6
③ 同和地区出身者	1	2	3	4	5	6
④ 障害者	1	2	3	4	5	6
⑤ 性的マイノリティ（少数者）【注３】	1	2	3	4	5	6

障害のある人の人権について

問5　障害のある人の人権に関して、次のような意見があります。それぞれについて、１から４のいずれかであなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。

		そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
①	障害があることを理由に、乗り物への乗車や入店を断られるのは問題だ	1	2	3	4
②	企業には障害者の法定雇用率が定められているが、利益が第一なのだから、雇用が進まなくても仕方がない	1	2	3	4
③	災害などの緊急時に、障害のある人の対応があとまわしになるのは問題だ	1	2	3	4
④	職場環境や勤務条件などを障害に合わせて働きやすくするための配慮は当然だ	1	2	3	4
⑤	障害のある人が結婚したり、子どもを育てることに周囲が反対するのは問題だ	1	2	3	4
⑥	自宅近くに障害者の作業所やグループホームの建設計画が持ち上がったら、それに反対する	1	2	3	4
⑦	障害のある人が地域で生活することについて、周囲の理解が得られないのは問題だ	1	2	3	4
⑧	障害者施設では、本人の意思に反して行動を制限することも必要だ	1	2	3	4
⑨	障害のある人とない人が生活のあらゆる場面で、互いに分かり合おうとすることで、共に生きる社会づくりが進んでいく	1	2	3	4

地域で暮らす外国籍の人の人権について

問6　日本における外国人の人権に関して、次のような意見があります。それぞれについて、1から4のいずれかであなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。

		そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
①	外国人だからという理由で、賃貸住宅への入居を断られても仕方がない	1	2	3	4
②	日本の学校に通う外国人の子どもたちに、自分の国や民族の言葉を学習する機会を保障する必要がある	1	2	3	4
③	雇用者が外国人従業員に、職場では通称名(日本名)の使用を強制しても問題はない	1	2	3	4
④	日本に住んでいる以上、日本の文化や生活習慣などに合わせることは当然だ	1	2	3	4
⑤	外国籍であっても、自治体の住民であるからには地方参政権を認め、投票できるようにする必要がある	1	2	3	4
⑥	外国人住民が増えているので、福祉などのｻｰﾋﾞｽを受けやすくするために、多言語による情報提供が必要だ	1	2	3	4
⑦	外国人労働者が増えると、治安や風紀が悪くなる	1	2	3	4
⑧	共生のためには、地域における交流を積極的に進めるべきである	1	2	3	4

問7　日本で暮らす外国籍の人へのヘイトスピーチ【 注4 】というと、あなたはどのようなものがあてはまると思いますか。（○はいくつでも）

1．公共の場やデモ行進で、差別的な発言や演説をすること
2．仲間うちの集まりや不特定多数の人が集まる集会で差別的な発言や演説をすること
3．インターネットを使って差別的な言動を発信したり、他者の差別的言動をインターネット上で拡散すること
4．職場や地域で、特定の国籍や民族の人がいるのに、その人が置かれる社会的立場や背景を無視して不適切な言動をすること
5．その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
6．わからない

問7-2　ヘイトスピーチについて、あなたはどう思いますか。（○はいずれか1つ）

1．問題であり許されないと思う
2．表現や言論の自由があるので許さざるを得ないが、共感はしない
3．問題はない
4．その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

被差別部落（同和地区）出身者の人権について

問８　一般的に、世間ではどのようなことで同和地区出身者と判断していると思いますか。（○はいくつでも）

１．本人が現在、同和地区に住んでいる
２．本人が過去に同和地区に住んでいたことがある
３．本人の本籍地が同和地区である
４．本人の出生地が同和地区である
５．父母あるいは祖父母が同和地区に住んでいる
６．父母あるいは祖父母の本籍地が同和地区にある
７．父母あるいは祖父母の出生地が同和地区である
８．職業によって判断している
９．その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
10．わからない

問９　あなたは、同和地区や同和地区の人に対する差別意識が、今でも残っていると思いますか。あなたのお考えに近いものを選んでください。（○はいずれか１つ）

１．差別意識は現在もあまり変わらず残っている
２．差別意識はさらに強くなっている
３．差別意識は薄まりつつあるが、まだ残っている
４．差別意識はもはや残っていない
５．わからない

問10　同和問題（部落差別）の解決についてどう思いますか。あなたのお考えに近いものを選んでください。（○はいずれか１つ）

１．これは、同和地区の人の問題だから、自分には関係がない
２．自分ではどうしようもない問題だから、なりゆきにまかせる
３．人権に関わる問題だから、自分も解決に向けて、何らかの努力をする
４．そっとしておけば自然になくなる
５．わからない

問11　結婚相手が同和地区の人であるということを理由に、家族から結婚を反対されている親戚がいるとします。あなたがその方から相談を受けた場合、どのような態度をとると思いますか。最もお考えに近いものを選んでください。（○は１つ）

１．反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う
２．迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う
３．慎重に考えなさいと言う
４．あきらめるように言う
５．どう言えばよいのかわからない
６．その他（具体的に：　　）

問12　あなたは、ここ５年くらいの間に同和問題に関して、次のような発言を直接聞いたことがありますか。複数ある場合は、強く印象に残っているものを選んでください。（○は１つ）

１．　同和地区の人（子ども）とは、付き合っては（遊んでは）いけない
２．　同和地区の人とは、結婚してはいけない
３．　同和地区の人はこわい
４．　同和地区の人は無理難題を言う
５．　同和地区は治安が悪い
６．　住宅を購入する際、同和地区内の物件を避けた方がいい
７．　聞いたことはない →問13へ

問12-２～問12-３は、問12で「１」～「６」を選んだ人にお聞きします。
問12-２　それは誰から聞きましたか。主なものを選んでください。（○は１つ）

１．家族
２．親戚
３．近所の人
４．友人
５．職場の人
６．知らない人
７．その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

問12-３　それを聞いたとき、どう感じましたか。また、どうしましたか。（○は１つ）

１．そのとおりと思った
２．そういう見方もあるのかと思った
３．反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった
４．反発・疑問を感じ、相手にその気持ちを伝えた
５．とくに何も思わなかった

問13　あなたが、同和問題について初めて知ったきっかけは何からですか。（○は１つ）

１．家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）から聞いた	２．親戚から聞いた
３．近所の人から聞いた	４．職場の人から聞いた
５．学校の友だちから聞いた	６．学校の授業で教わった
７．テレビ、ラジオ、新聞、本などで知った	８．インターネットで知った
９．人権に関する講演会、研修会などで聞いた	10．府県、市町村の広報紙で読んだ
11．おぼえていない	12．同和問題を知らない
13．その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）	

性的マイノリティ（少数者）の人権について

問14　性的マイノリティ（少数者）の人権に関して、次のような意見があります。それぞれについて、１から４のいずれかであなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
① 同性同士の結婚も認められるのは当然だ	1	2	3	4
② 同性愛者や性同一性障害のある人がいる職場では働きたくない	1	2	3	4
③ もし、自分の子どもが同性愛者であっても、親として子どもの側に立ち、力になる	1	2	3	4
④ 企業は、社員のパートナーが同性であっても、配偶者として処遇する必要がある	1	2	3	4
⑤ 学生の制服は性別に関係なくスカート、ズボン（パンツ）を自由に選べる方がいい	1	2	3	4
⑥ 男性同性愛者には女性的な人が多い	1	2	3	4
⑦ 女性同性愛者には男性的な人が多い	1	2	3	4
⑧ 性同一性障害のために戸籍の性別変更を望む人は、同性愛者である	1	2	3	4
⑨ 自分の身内には同性愛者はいてほしくない	1	2	3	4

インターネットによる人権侵害について

問15　インターネットによる人権侵害に関して、次のような意見があります。それぞれについて、１から４のいずれかであなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。

		そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
①	表現の自由を守るよりも、ＳＮＳ上での誹謗中傷の書き込みや拡散行為をなくす方が大切だ	1	2	3	4
②	インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、プロバイダーへの情報停止・削除を求めるべきだ	1	2	3	4
③	インターネット上に同和地区の所在地リストを載せることは、部落差別を助長する深刻な問題行為だ	1	2	3	4
④	差別や誹謗中傷など、人権侵害を扇動するような書き込みを行った人に対しては、処罰をする法整備が必要だ	1	2	3	4

問16　パソコン、スマートフォン、タブレットなどインターネット端末で、次のような書き込みや内容を見かけたことはありますか。（いちばん印象に残っているものに１つ○をつけてください）

1. 個人を特定して、悪口や名誉をおとしめるような内容
2. 特定の地域に住む人について、悪口や名誉をおとしめるような内容
3. 差別を助長させるような内容（○○（地名）地区はこわいなど）
4. 名前、住所、電話番号など個人を特定できる情報
5. 他人の私生活の公開などプライバシーを侵害する内容
6. 未成年者の犯罪について実名や写真を掲載
7. 児童ポルノ（子どもを被写体としたわいせつな画像など）
8. 援助交際（児童買春）などの相手を探している内容
9. 見たことがない　→　問18へお進みください

問17　問16で「１～８」と答えた方にお聞きします。あなたはその書き込みや内容を見た後、どうしましたか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 何もしなかった
2. 情報を拡散した（「いいね！」や「リツイート」をした）
3. 同調するコメントを書き込んだ
4. 反論するコメントを書き込んだ
5. 家族や友人・知人などと話題にした
6. プロバイダーや警察に知らせた
7. その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

住まいを選ぶときの考え方について

問18　あなたが、住宅を購入したり、借りたりするなど、住まいを選ぶ際に、価格や立地条件が希望にあっていても、次のような条件の物件の場合、避けることがあると思いますか。
次にあげる①～⑧のすべてについてお答えください。（○はそれぞれ１つ）

	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない
① 近隣に保育所（園）や幼稚園がある	1	2	3	4
② 近隣に老人ホームなどの高齢者施設がある	1	2	3	4
③ 近隣に精神科の病院がある	1	2	3	4
④ 近隣に障害者施設がある	1	2	3	4
⑤ 近隣に外国籍の住民が多く住んでいる	1	2	3	4
⑥ 近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる	1	2	3	4
⑦ 近隣に同和地区がある	1	2	3	4
⑧ 同和地区の地域内である	1	2	3	4

様々な人権について

問19　様々な人権に関して、次のような意見があります。それぞれについて、１から４のいずれかであなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。

		そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
①	夫婦間やﾊﾟｰﾄﾅｰ間での暴力の問題は、家庭内または本人同士で解決すればよい	1	2	3	4
②	同じ働きぶりでも男女で昇進に差があることや、高い地位につく人に男性が多いことは問題だ	1	2	3	4
③	子どもが３歳になるまでは、母親は育児に専念するほうがいい	1	2	3	4
④	いじめ問題は、いじめを受ける子どもにも原因がある	1	2	3	4
⑤	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ上において、子どもだけで通信・交流することは禁止した方がよい	1	2	3	4
⑥	収入の低い家庭の子どもが大学に進学できないのはやむを得ないことだ	1	2	3	4
⑦	高齢者がひとり暮らしを理由に、ｱﾊﾟｰﾄやﾏﾝｼｮﾝなどへの入居を拒まれても仕方がない	1	2	3	4
⑧	高齢者施設では、本人の意思に反して行動を制限することも必要だ	1	2	3	4
⑨	高齢者が恋愛や結婚をしたいと思うのは本人の自由だ	1	2	3	4
⑩	ニートやひきこもりは、本人自身に責任があると考えるのはよくないことだ	1	2	3	4
⑪	ホームレスの状態を続けているのは、本人の責任が大きい	1	2	3	4

あなた自身の体験・経験をお聞きします

問20　この５年位の間に、あなたは、人権を侵害されたことがありますか。（○はいずれか１つ）

１　ある　　２　ない　→　問21へお進みください

１に○をつけた人のみ、問20－４までお答えください。

問20－２　どのような言動を受けましたか。（○はいくつでも）

1．結婚や就職の際に差別を受けた
2．あらぬ噂をされたり、他人から悪口を言われたりした
3．仲間はずれや嫌がらせをされた
4．暴力や虐待を受けた
5．職場において能力が正当に評価されず不当な扱いを受けた
6．プライバシーを侵害された
7．セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）を受けた
8．痴漢行為やストーカー（つきまとい）行為をされた
9．就職の面接で、家族構成や家族の仕事などを聞かれた
10．その他（具体的に　　）
11．覚えていない

問20－３　どのように対応しましたか。（○はいくつでも）
そのうち、相談して解決したものに◎をつけてください。

1．家族や友人に相談した
2．職場の上司や同僚に相談した
3．近所や地域の人に相談した
4．市役所で相談した
5．法務局や人権擁護委員に相談した
6．弁護士に相談した
7．学校の先生に相談した
8．警察に相談した
9．市民団体に相談した
10．民生委員児童委員に相談した
11．相手に抗議した
12．何もしないでそのままにした
13．その他（具体的に　　）
14．覚えていない

問20－４　あなたが相談しても、解決しなかったのはどのような問題でしたか。

人権に関する市の取り組みについて

問21　あなたは、人権問題の解決に向けた次のような本市の施策を知っていますか。
１または２のいずれかに○をつけてください。

	知っている	知らない
①広報きしわだ「人権の窓」	1	2
②広報きしわだに様々な相談窓口の案内が掲載されていること	1	2
③人の輪【　注５　】	1	2
④人権を考える市民の集い【　注６　】	1	2
⑤人権を守る作品展【　注７　】	1	2
⑥校区別人権問題研修会「なるほど！　人権セミナー」【　注８　】	1	2

問21-2　それぞれの施策について、どのように感じましたか。１から４のいずれかに○をつけてください。

	利用(参加)して役に立った	利用(参加)したが役に立たなかった	必要がないので利用(参加)しない	機会があれば利用(参加)したい
①広報きしわだ「人権の窓」	1	2	3	4
②市の様々な相談窓口	1	2	3	4
③人の輪	1	2	3	4
④人権を考える市民の集い	1	2	3	4
⑤人権を守る作品展	1	2	3	4
⑥校区別人権問題研修会「なるほど！　人権セミナー」	1	2	3	4

あなた自身のことについて

問22　あなたご自身のことについておたずねします。①、②について、あてはまるところに○をつけてください。○をつけにくい場合は、ご記入ください。

①性別　　男　・　女　・　その他

②年齢　　10 歳代　20 歳代　30 歳代　40 歳代　50 歳代　60 歳代　70 歳代以上

岸和田市の人権施策・人権教育に関するご意見、ご要望等がありましたらご記入ください。

ご協力くださいまして、どうもありがとうございました。

この調査で使用している用語について

■【注１　同和地区】

同和問題とは、日本社会の歴史的発展の過程で形づくられた身分階層構造により、日本国民の一部の人々が長い間、経済的、社会的、文化的に低位の状態を強いられ、現在でも日常生活の上で差別を受けるなどの日本固有の人権問題です。

同和問題の解決に向け、平成 14（2002）年３月に「地域改善対策特定事業にかかる国の財政上の特別措置に関する法律」が失効するまでの間、同和地区の環境改善や同和教育・人権啓発などの取組みが積極的に進められてきました。その際、取り組みを進める対象地域として、法に基づき一定の地域が指定されており、この調査の中で「同和地区」という用語を使う場合、この法律によって指定されていた対象地域を示しています。

■【注２　ニューカマー】

1980 年代以降に、様々な目的を持って新たに来日し定住した外国人を、他の定住外国人と区別してニューカマーと表現するようになりました。

労働権の保障や安心・安全な生活の保障など、ニューカマーには多くの課題があります。

日本による朝鮮植民地支配に、直接的、間接的に歴史的なルーツをもつ人やその子孫（オールドカマー）とは来日の背景や定住に至るまでの経緯が異なるため、抱える課題にも違いがあります。

■【注３　性的マイノリティ（少数者）】

性には、生物学的な性（からだの性）、性自認（こころの性。自分の性をどのように認識しているか）、性的指向（恋愛感情や性的な関心がどの性別に向いているか）の３つの要素があります。

性自認や性的指向は、本人の意思で選んだり、変えたりできるものではありません。

生物学的な性と性自認が一致している人や、性的指向が異性に向いている人が多数派とされ、これらにあてはまらない人がマイノリティ（少数者）とされています。

■【注４　ヘイトスピーチ】

特定の民族・国籍の人々を排斥する差別的言動のことです。「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」では、本邦外出身者を地域社会から排除することを煽動する不当な差別的言動の解消を国や地方公共団体の責務としています。

なお、職場で行われる、特定の人種、民族、国籍に係わる嫌がらせや「不適切で配慮に欠ける言動」はレイシャルハラスメントと言われ、身近に起こりうる人権問題の１つとなっています。

■【注５　人の輪】

毎年３月の第３日曜日の新聞折込で配布している人権啓発紙です。

■【注６　人権を考える市民の集い】

毎年 12 月４日から 10 日までの人権週間に、マドカホールで講演会などを開催します。

■【注７　人権を守る作品展】

毎年 12 月４日から 10 日までの人権週間に、マドカホールで人権尊重をテーマにしたポスターや標語の入選作品などを展示します。

■【注８　校区別人権問題研修会「なるほど！　人権セミナー」】

毎年 10～11 月に市内 20 ヵ所で開催する、ドラマの視聴などによる研修会です。

人権問題に関する市民意識調査

調査結果報告書

令和３年（2021 年）３月

発行　岸和田市市民環境部人権・男女共同参画課
〒596-8510 大阪府岸和田市岸城町７番１号
電話　072-423-9562　　FAX　072-423-0108
E-mail　jinkens@city.kishiwada.osaka.jp

詳細は市のホームページでご覧いただけます